# 令和8年度第1回札幌市雪対策審議会

1　開催日時
令和８年８月５日（水）　18時30分～20時30分

2　開催場所
ホテルモントレエーデルホフ札幌（札幌市中央区北２条西１丁目）
12階「ルセルナホール」

3　配席図
別紙１のとおり

4　次第
(1)　開会あいさつ

(2)　審議会委員の委嘱・紹介

(3)　議事
①　除排雪手法小委員会からの報告【資料１】
１－（１）　令和７年度大雪対応の報告
１－（２）　生活道路の除排雪【短期課題】
１－（３）　活用すべき先進技術や制度等の検討【短期・長期課題】
１－（４）　雪対策審議会への報告

②　除排雪手法小委員会及び予算規模小委員会からの報告を踏まえた
今後の除排雪の方向性【資料２】
２－（１）　前回までの議論の振り返り
２－（２）　市民アンケート等の結果
２－（３）　予算規模小委員会からの報告内容（参考）

③　雪との共生に向けた方向性【資料３】
３－（１）　雪との共生に関する考え方
３－（２）　市民アンケート等の結果
３－（３）　項目ごとの現状
３－（４）　参考情報

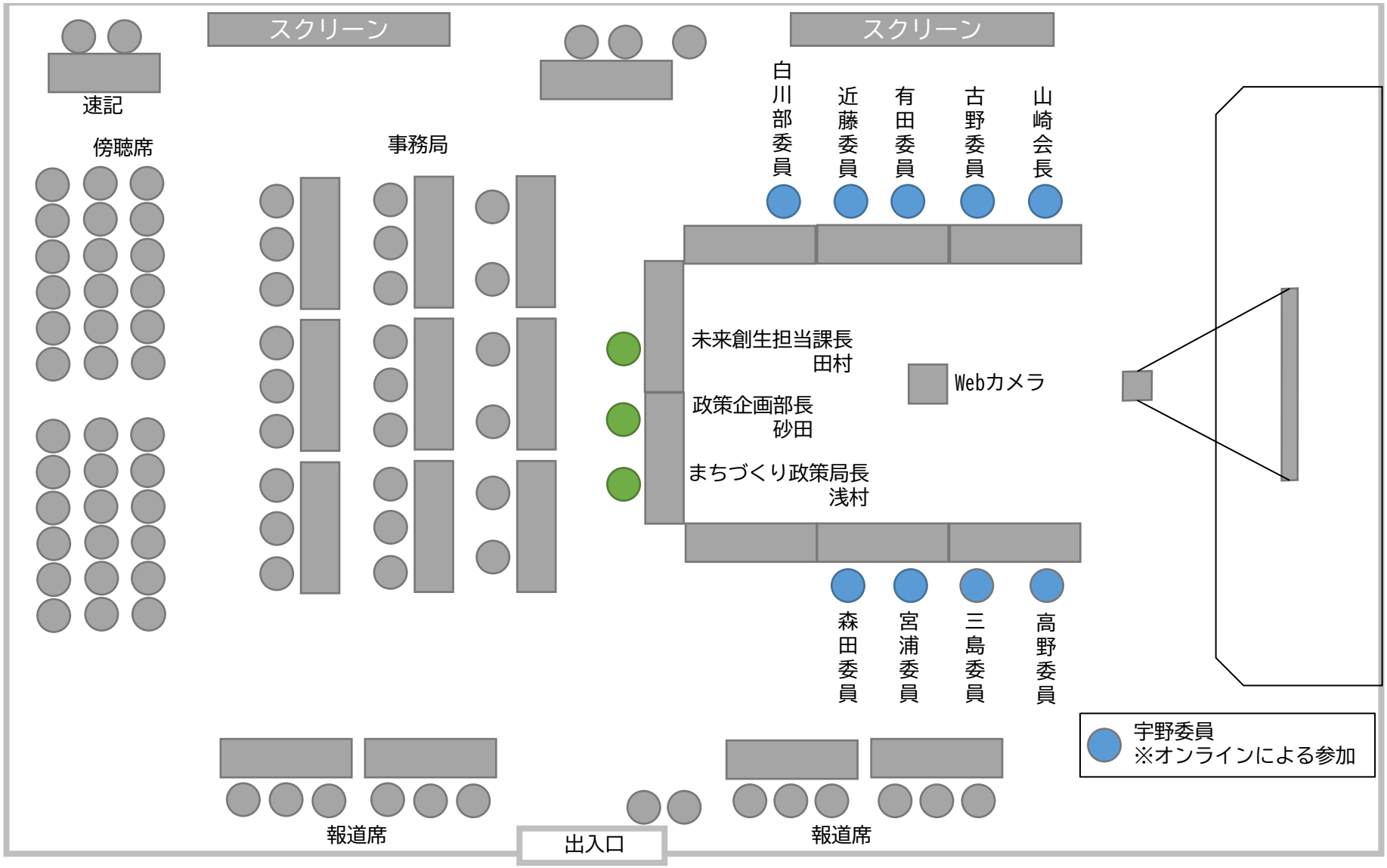
(4)　事務局連絡事項

配布資料
- 別紙１：配席図
- 別紙２：委員名簿
- 資料１：除排雪手法小委員会からの報告
- 資料２：除排雪手法小委員会及び予算規模小委員会からの報告を踏まえた今後の除排雪の方向性
- 資料３：雪との共生に向けた方向性について
- 別添資料：持続可能な雪対策に関する市民アンケートの結果（令和８年度）

別紙1

# 配席図

**令和８年度 第１回札幌市雪対策審議会**
日時：令和８年８月５日（水）18時30分～20時30分
場所：ホテルモントレエーデルホフ札幌（札幌市中央区北２条西１丁目）12階「ルセルナホール」



別紙2

# 札幌市雪対策審議会委員名簿

（五十音順、敬称略）　　令和８年（2026年）８月５日時点

| | 分野 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|---|
| 1 | スマート | 朝倉　由紀子 | 北海道ＩＴ推進協会　副会長 |
| 2 | 地域 | 有田　京史 | 豊平区東月寒地区町内会連合会　会長 |
| 3 | 財政 | 宇野　二朗 | 北海道大学公共政策大学院　教授 |
| 4 | ユニバーサル | 近藤　久江 | 札幌市身体障害者福祉協会　副会長 |
| 5 | 市民参加 | 白川部　慶太 | 公募委員 |
| 6 | 情報発信 | 菅井　貴子 | フリーキャスター、気象予報士 |
| 7 | 土木 | 高野 伸栄 | 一般社団法人地域社会<br>資本マネジメント研究所　理事長 |
| 8 | 経済 | 古野　重幸<br>（副会長） | 札幌商工会議所　副会頭 |
| 9 | 文化<br>・<br>マーケティング | 三島　敬子 | ＮＰＯ法人Ｆｉｔ北海道会議　代表 |
| 10 | 除雪事業者 | 宮浦 征宏 | 札幌市除雪事業協会　会長 |
| 11 | 市民参加 | 森田　久芳 | 公募委員 |
| 12 | 公共政策 | 山崎　幹根<br>（会 長） | 北海道大学公共政策大学院　教授 |

# 【資料1】

# 除排雪手法小委員会からの報告

# 第３回除排雪手法小委員会の概要



## １　日時・場所

・令和８年６月15日（月）　13時30分～16時00分

・ホテルモントレエーデルホフ札幌　12階「ベルクホール」

## ２　出席者

・12名出席（委員9名、オブザーバー3名）



## ３　議題

（１）　開会・建設局長あいさつ

（２）　議事

（３）　事務局連絡事項

## ４　事務局説明

１　第２回手法小委員会の振り返り・おさらい

２　令和７年度大雪対応の報告

３　第３回手法小委員会での議論テーマ

（１）生活道路の除排雪【短期課題】

（２）活用すべき先進技術や制度等の検討【短期・長期課題】

４　意見交換やご議論いただきたい内容

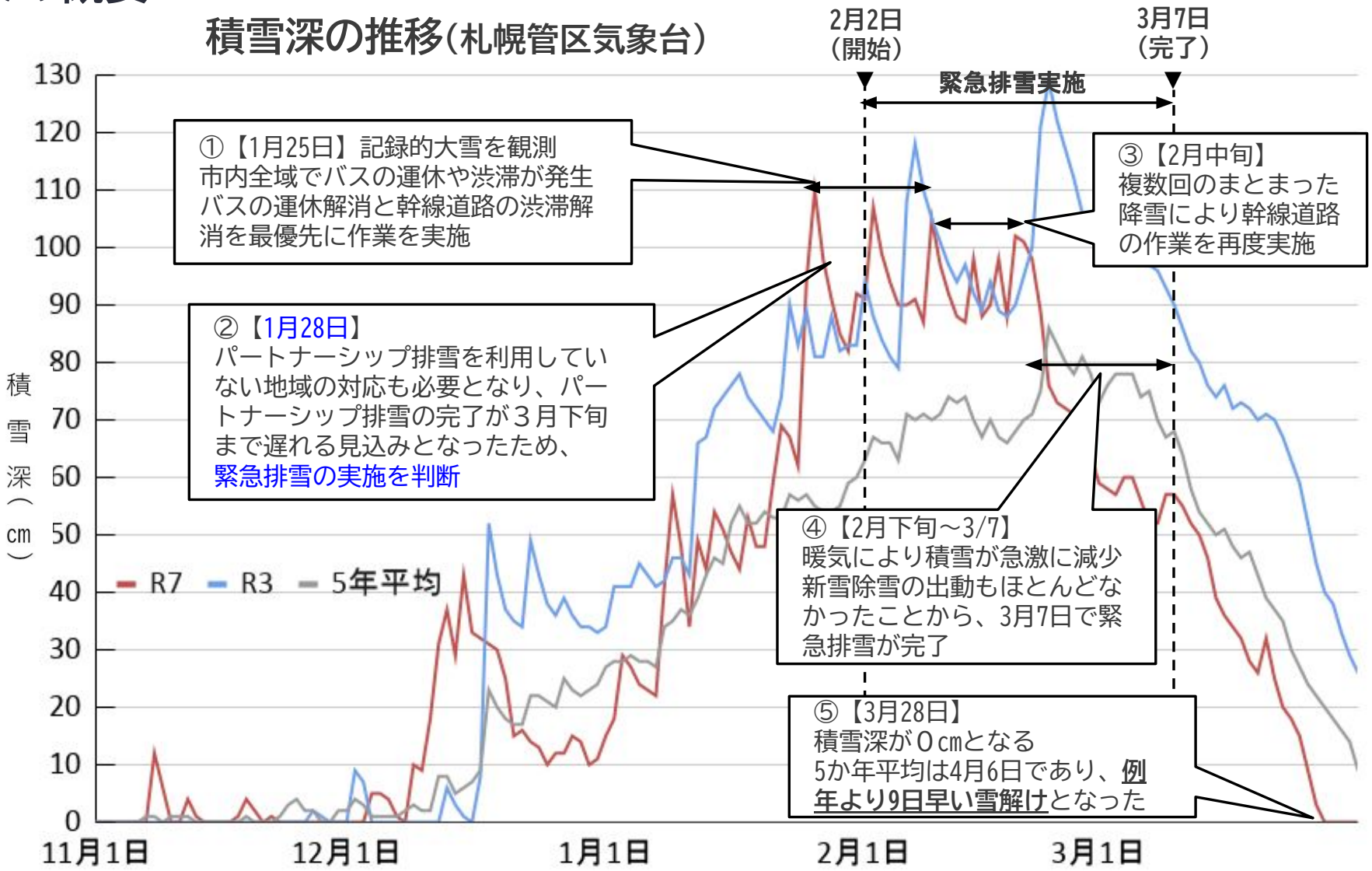
※小委員会の資料については、右記のホームページ（ＱＲコード）からご覧いただけます。

札幌市雪対策審議会
除排雪小委員会
（開催状況）

# 資料1-(1)　令和7年度大雪対応の報告

# （１） 令和７年度の大雪対応

## ■気象の概要




| 日付 | 札幌市の対応 |
|---|---|
| 令和8年1月25日 | 第1回札幌市緊急除排雪実施本部会議 |
| 令和8年1月26日 | 札幌市雪害対策本部を設置 |
| 令和8年1月28日 | 第2回札幌市緊急除排雪実施本部会議 |

# （１） 令和７年度の大雪対応

## ■緊急排雪への切り替えに伴う特別措置

- 地域支払額を不要とし、全額市負担で実施
- 緊急排雪に係る追加予算を補正（約27億円）
- 関係機関（北海道開発局・財務局・北海道）による支援
  （１） ダンプトラック等の支援（延べ1,428台）
  （２） 緊急用雪堆積場用地等の提供（４箇所）
  （３） 河川敷地雪堆積場のかさ上げの承認（26箇所）
  （４） 北海道開発局との連携によるスクラム除雪



### 【参考】緊急排雪とパートナーシップ排雪の比較

| | 対象延長 | 気象 | 令和７年度予算 | 体　制（ピーク時） | 作業水準 |
|---|---|---|---|---|---|
| 緊急排雪 | 3,800km | 大雪（フェーズ３） | 65億円（行政38億＋補正27億） | 約110班＋応援（ダンプトラックや堆積場の増強） | 必要最低限（バラつきあり） |
| ＰＳ排雪 | 2,600km | 平年並み | 48億円（行政38億＋*地域10億*） | 約110班（各区のPS利用率による） | 幅６ｍ程度 厚さ10cm以下 |

※　緊急排雪の決算額は、補正予算額27億円から４～５割減の見込み

# （１） 令和７年度の大雪対応

## ■緊急排雪の内容

| 考え方・方針 | 主な対応 |
|---|---|
| ①　交通機能の確保を最優先<br>②　必要最低限（道路幅・圧雪厚）の除排雪作業<br>③　現場判断・効率を重視<br>④　各関係機関との連携 | 町内会との日程調整を省略（②・③）<br>幹線道路・主要運搬ルートを優先（①）<br>夜間作業の活用（①・③）<br>パートナーシップ排雪未実施地域も状況に応じて対応（①・②）<br>ダンプトラックの支援、雪堆積場の嵩上げや緊急開設（④） |

【得られた効果】

- 町内会の区域にとらわれず、路線として切れ目のない連続的な作業により作業効率が向上
- 対応可能な地域では、現場判断による夜間作業の実施などにより更に効率が向上
- 各関係機関とのスムーズな連携や援助により、大雪時における対応能力が向上

**⇒令和３年度の大雪対応を踏まえて改定した「大雪時の対応指針」に基づき、関係機関との連携や作業効率化を図りながら、生活道路における緊急排雪を実施したことにより、市民生活への影響を最小限に留めることができたのではないか**

# （１） 令和７年度の大雪対応

## ■緊急排雪の課題

### ○体制・作業面に係る課題

- パートナーシップ排雪の実施率が低いマルチゾーン（地区）では、緊急排雪への切り替えにより、総作業延長が当初計画よりも増加したため、急な体制変更・確保に苦慮

一方で、

- 厚別区・清田区では、全ての生活道路を対象とした試験施工を予定していたため、体制(人員・機械)を事前に整えており、緊急排雪へスムーズに移行できた
- 緊急排雪のため、一定の作業水準(道路の幅・路面の雪の厚さ)を設けない形となったが、緊急排雪後に実施した両区の除雪連絡協議会では、町内会からも一定の評価をいただいた

**⇒平時から突発的な気象の変化にも対応し得る体制を検討する必要性**

### ○市民周知に係る課題

- 緊急作業のため、作業順序は市が決定し非公開としたが、作業予定日・完了日に関する問い合わせが多数寄せられた

一方で、

- 除雪事業者からは、申請団体ごとの日程調整を省略したことにより効率的に作業を行えたという声や、日程を非公開にしたことで、排雪作業に合わせた民有地から道路上への雪出しが減ったという声が寄せられた

**⇒適切な内容・タイミングでの情報提供が必要**

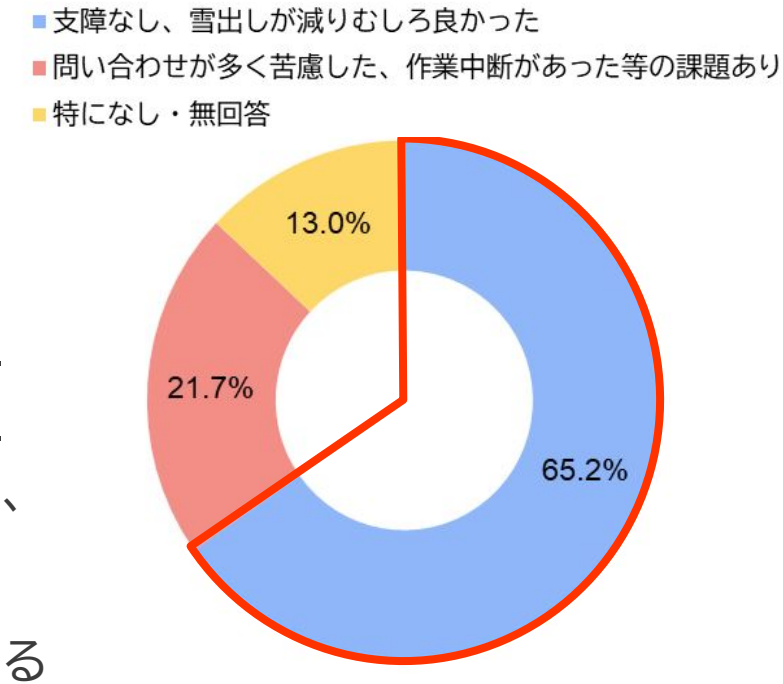
# 資料1-（2） 生活道路の除排雪【短期課題】

# （２） 生活道路の除排雪

## ■緊急排雪に関する除雪事業者へのヒアリング結果

- 地域との日程調整を省略したことにより、調整手間が短縮されたほか、地域に制限されず路線ごとに作業を行えたため、効率がよかったと答えた地区が65%

【日程周知を行わなかったことについて】




【自由記載より抜粋】

- 地域により降雪・積雪量が違うため、雪の置き場所がある路線では、排雪まで必要なく除雪で対応した場合もあったので、緊急排雪ではなく「緊急除排雪」という名称の方が、誤解を招かないのではないか
- 緊急排雪を実施しても全市一斉に短期間で作業を終わらせることは困難で、１か月以上の期間をかけながら順番に行うしかないのだが、期間や時期に関する問い合わせが多く寄せられたため、市民の理解促進に向けて広報に力を入れてほしい
- 大雪時には、近場の雪堆積場や地域内の雪置き場が利用できると更に効率は上がるが、人員配置などの現場管理上、普段から準備・調整をしておかなければ、急に開設することは難しい

# （２） 生活道路の除排雪

## ■これまでの課題の整理

| | 市民 | 民間事業者<br>（宅配、訪問介護等） | 除雪事業者・札幌市 |
|---|---|---|---|
| 課題 | ● 費用負担の有無による不公平感<br>● パートナーシップ排雪の利用可否による不公平感<br>● 物価上昇に伴う地域支払額の高騰 | ● 生活道路内でのスタック等による輸送障害、効率の低下 | ● 将来的な担い手不足<br>● 将来的な財政負担の増加<br>● 異常気象（急な降雨等）によるザクザク路面対策 |

- パートナーシップ排雪による場合は、地域の費用負担の有無や利用可否に関する不公平感を解消することは困難
- 将来的な担い手不足の課題を考慮すると、現場の効率性を重視した作業で行うことが必要であり、併せて申請団体との日程調整といった事務的な手続きの削減も図っていくことが求められる
- パートナーシップ排雪の場合は、利用率の違い等により除雪事業者の体制に差異があることから、今後すべての生活道路を対象とした場合、急な大雪や暖気への臨機な対応が難しい地区が生じてしまう

**⇒市民や除雪事業者などが生活道路の除排雪に抱える課題を踏まえると、現行のパートナーシップ排雪ではすべてを解決するのは難しいのではないか**

# （２） 生活道路の除排雪

## ■Ｒ８試験施工の地域選定（調整中）

- 生活道路の除排雪に関する市民ニーズや社会情勢の変化などへの対応に向けて、様々な地域特性や道路状況にて検証を進める

  例：降雪量が多い、山坂が多い、狭い道路が多い、パートナーシップ排雪の利用率が低い地域など



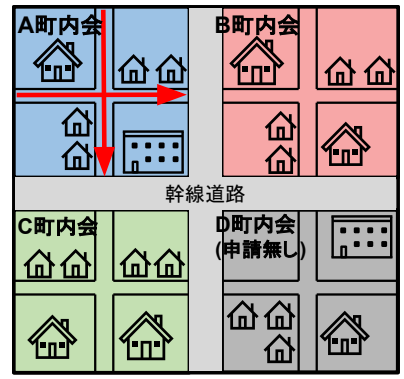

## ■Ｒ８試験施工の実施内容

### ① 地域負担や不公平感の解消

- ＰＳ排雪のような地域支払額や申請手続きは不要
- これまで排雪が行われていなかった地域も含めて作業

### ② 除排雪作業の効率化

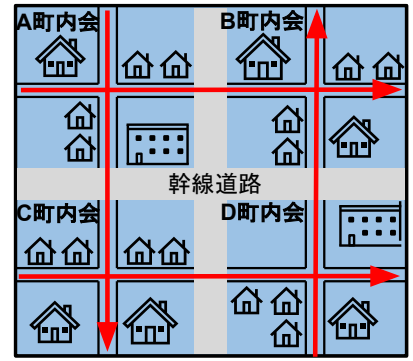
- 町内会のエリアにとらわれず、降雪や道路状況などに応じて、現場ごとに効率的な作業ルートや作業時間などを設定
- パートナーシップ排雪と比較し全体の排雪量を抑制しつつ、通行に必要な幅員は確保




**申請団体毎の作業イメージ**

A町内会 完了
↓
B町内会 完了
↓
C町内会 完了

D町内会は作業無し




**道路毎の作業イメージ**

A→B町内会
A→C町内会
C→D町内会
D→B町内会
完了

# （２） 生活道路の除排雪

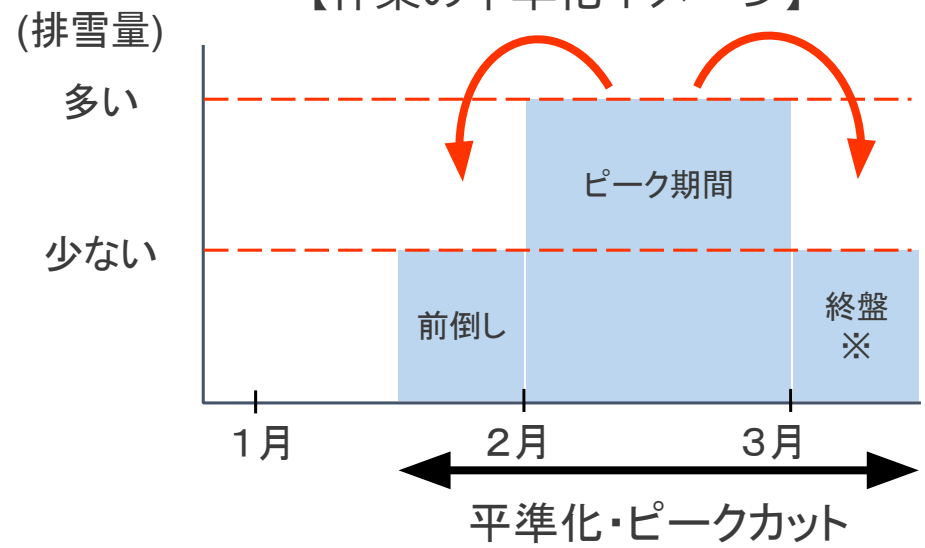
## ■試験施工の実施内容

### ③ シーズンを通した良好な冬季道路環境の確保

- 排雪作業の開始時期を１月中旬頃に前倒し作業期間を拡大することで、作業の平準化やピークカットを図る
- 前倒した地域などでは降雪や道路状況等により、作業回数は１回に限らない場合も想定（※）
- 降雪状況などに応じて、作業の優先順位を臨機に変更して対応
- 排雪作業により、除雪作業時の雪置き場を確保し、路面整正と組み合わせ、その後のザクザク路面を軽減

**⇒①～③について検証を深めるべく、シーズン後に地域や事業者へのアンケート調査等を実施予定**

【作業の平準化イメージ】




（パートナーシップ排雪：約35日間 → 試験施工：**約50日間**）

# 資料1-（3） 活用すべき先進技術や制度等の検討【短期・長期課題】

# （３） 活用すべき先進技術や制度等の検討



## ■取組や検討事項の整理

| 取組や検討事項 | 期待される効果 | | | コスト縮減効果（想定） | 効果発現までの期間 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 担い手不足対応 | 現場作業の効率化 | 労働環境改善 | | | |
| １人乗り作業が可能な除雪機械の導入 | ○ | ○ | | 中 | 短期 | 一部導入済み |
| 除雪作業日報作成支援システム | ○ | | ○ | 小 | 短期 | 一部導入済み |
| 雪対策施設車両集計システム | ○ | ○ | ○ | 小 | 短期 | 導入済み |
| ＡＩを活用した道路状況判定システム | | ○ | ○ | ― | 短期 | 共同研究（防災科研） |
| ロータリー除雪車の自動投雪システム | ○ | ○ | | ― | 短期 | 北海道開発局 |
| 凍結防止剤散布作業支援システム | | ○ | | ― | 中長期 | 寒地土木研究所 |
| 定点カメラ画像を用いた冬期歩道の路面状態推定可能性の検討 | | ○ | | ― | 中長期 | 寒地土木研究所 |
| 除雪センター運営の見直し | ○ | | ○ | 小 | 短期 | Ｒ７試行 |
| 雪堆積場の運用見直し | ○ | ○ | | 中 | 短期 | |

**⇒短期的には、現状の取組は継続しつつ、国や道で導入されている技術の本市への転用を検討**
**長期的には、雪対策全体の効率化に向けた、各種取組の横断的な連携等の検討を開始すべき**

# （３） 活用すべき先進技術や制度等の検討

## ■除雪センター運営の見直しに向けた対応【Ｒ７試行】

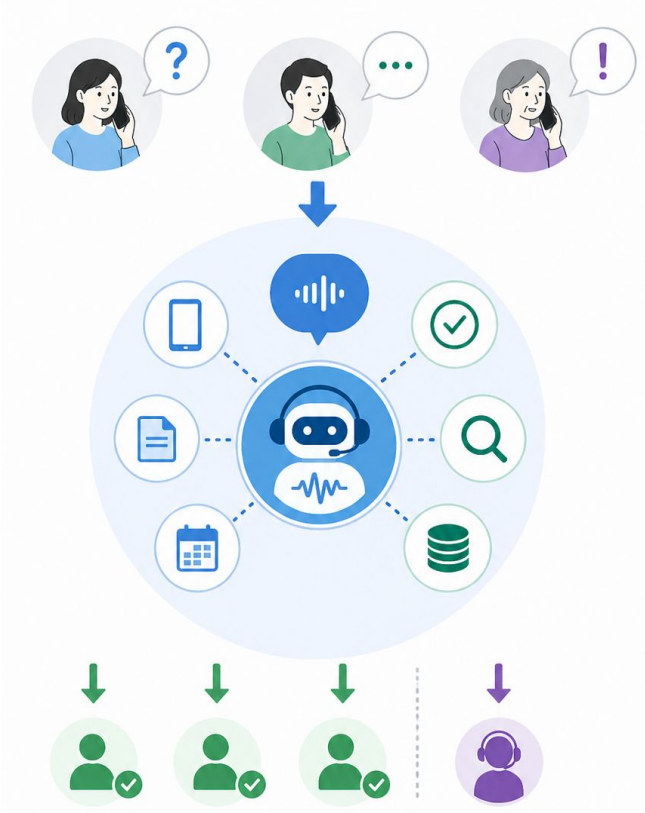
労働環境改善

将来的な担い手不足への対応

- 冬期間に開設している除雪センターは、24時間市民からの問い合わせを受け付けており、深夜の電話応対など従事者の負担が大きい
- 労働環境改善等を目的に、自動音声受付及びＡＩによる内容聞き取りを行う自動応答システムを試験導入

○令和７年度の試行内容

- 対象地区：西区南地区及び西区北地区除雪センター
- 対象期間：12/10～3/20
  平日及び土曜日・祝日 ⇒21：00～翌5：00まで
  日曜日及び年末年始 ⇒終日



○除雪事業者へのヒアリング結果

- 過度な要求や苦情への対応が減り、精神的負担が軽減された
- 夜間の出勤が少なくなり、身体的負担が軽減された
- 寄せられた案件に対して、システムで受け付けたことによる支障はほぼなかった

○令和８年度の予定

- 市民への広報を行いつつ、対象範囲の拡大に向け調整

# （３） 活用すべき先進技術や制度等の検討

## ■雪堆積場の運用見直しに向けた検討【短期課題】

将来的な担い手不足への対応　作業の効率化

- 市内81箇所の雪堆積場のうち、31箇所を一般受け入れも可能な堆積場として無料開放している
- 将来的な担い手不足を見据えると、現状の排雪作業の水準を維持するためには、運搬作業の更なる効率化が求められる

**⇒一般受入雪堆積場についても、公共排雪の受け入れを優先するなど、より効果的な運用方法へ転換していくことについて検討が必要**

【上篠路地区雪堆積場】



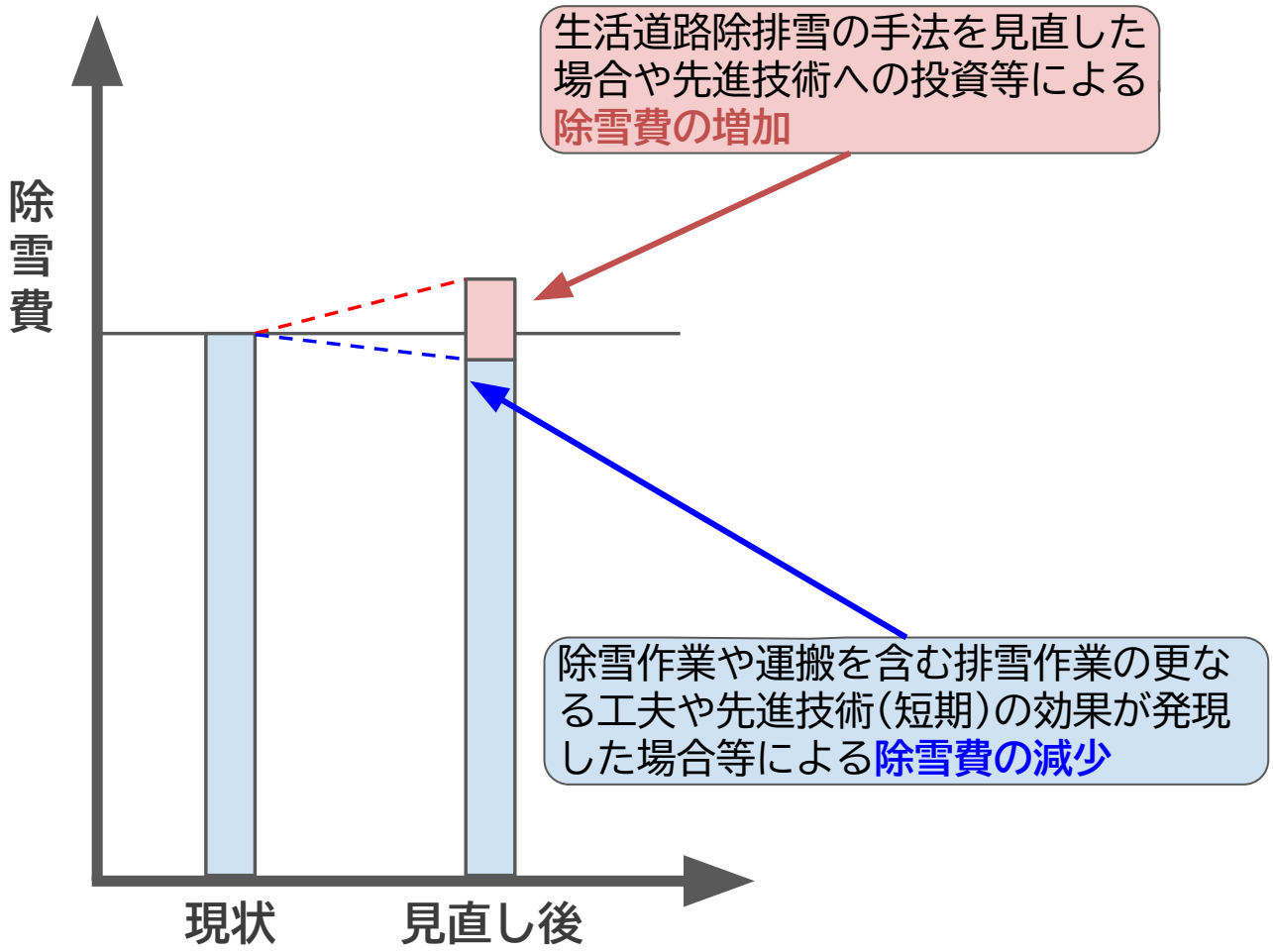
〇実施イメージ
- 基本は一般受入とするが、一定の期間においては、公共排雪のみを受け入れる等

〇想定効果
- 排雪ダンプトラックの回転率が向上し、幹線道路及び生活道路の道路環境の早期改善に寄与
- 運搬距離低減に伴う排雪費用の減

〇課題
- 民間で独自に排雪している事業者等については、運搬距離の増加により効率が悪化
- 一部の民間排雪事業者からは、雪堆積場における週休日の見直しなどについて要望書の提出あり

# （３） 活用すべき先進技術や制度等の検討

## ■生活道路除排雪の手法を見直した場合等における除雪費の見込み




生活道路除排雪の手法を見直した場合、除雪費は増加する見込みではあるものの、除雪作業や運搬を含む排雪作業の更なる工夫や先進技術の効果が発現した場合等により、中長期的には除雪費が減少するよう様々な取り組みを進めていく

# 意見交換やご議論いただいた内容



## 【短期課題】生活道路除排雪の在り方について

【議論のポイント】

- 市民や除雪事業者などが生活道路の除排雪に抱える課題を踏まえた対応の方向性
- 現行のパートナーシップ排雪の枠組みで対応可能な範囲と、見直しが必要となる事項

## 【長期課題】活用すべき先進技術や制度等の検討について

【議論のポイント】

- 導入コストや効果を踏まえた、雪対策に関する先進技術・制度の活用の方向性
- 国や道で導入されている技術の本市への適用可能性
- 雪対策全体の効率化に向けた、各種取組間の連携の在り方
- 中長期的な費用対効果を踏まえた取組推進の考え方

# 主なご意見

**◆生活道路の除排雪について**

- 市民の多くは公共排雪を望んでいる。パートナーシップ排雪から次のステップに移行すべき
- 23地区(マルチゾーン)で除排雪体制(人員・機械)などの事情は異なるので、公共排雪へ移行することになったとしても、事業者の体制を整える時間が必要
- 令和７年度の緊急排雪では、市民への情報提供が少なかったので改善して欲しいが、効率性のためには市民の理解・協力・意識変容も必要
- 試験施工に近い形であった緊急排雪の検証は重要。令和７年度の補正予算額は、公共排雪に移行した場合の増額分に近しいものになるのではないか

**◆活用すべき先進技術や制度等の検討について**

- 先進技術の導入には、少ない人員でも効率的に作業ができる仕組み作りが必要
- 除雪センターにおけるAIによる自動応答は、職員の負担軽減のためにも是非進めていくべき
- 雪を運ばなくて済む道路幅員、大雪時は出勤しないなど、ハード・ソフト両面で雪に強い札幌市オリジナルのまちづくりを、将来を見据えて取り組んでほしい
- 民間排雪の実態把握も今後進めるべきとは思うが、雪堆積場の公共排雪の受け入れ優先は、作業の効率化のためにも進めていく必要がある

# 資料1-（4） 雪対策審議会への報告

# 除排雪手法小委員会から雪対策審議会への報告



## 【短期課題】生活道路の除排雪

- 地域内の不公平感や将来的な担い手不足等の課題を踏まえると、これまで地域と行政が協働で行ってきたパートナーシップ排雪などの生活道路除排雪のあり方を見直し、排雪支援制度を利用していない地域も含め、行政主体による作業への移行を基本的な方向性として、整理を進めるべき。
- なお、行政主体による作業へ移行する場合の除排雪費用については、R7年度の緊急排雪における補正予算程度の増額が一つの目安となる。
- 持続可能な生活道路除排雪の実現に向け、冬季間の道路環境を維持しながら効率的な作業手法の導入や排雪量を抑制するなどにより、できる限り除排雪費用の増額を抑えつつ持続可能な体制を構築するべき。
- 移行に向けては、地域への周知や除雪事業者との調整に一定の期間を要することから、移行年度の決定後は速やかに地域・除雪事業者など関係者へ明示するべき。また、地域と行政が共通認識を持てるよう、分かりやすく、適切なタイミングでの情報発信について、戦略を構築するべき。
- 生活道路除排雪の検討にあたっては、移動に配慮が必要な障がい者や高齢者などへの福祉的視点を十分に考慮するべき。
- 幹線道路の除排雪作業については、都市機能としての交通への影響が大きいことから、引き続き現行水準を維持して実施するべき。あわせて、生活道路においても通勤・通学など市民生活に直結するバス路線等については、幹線道路に準じた対応を取るべき。

## 【短期～長期課題】除排雪作業の効率化・省力化

- 気象観測システムや道路状況判定システムなど、将来に向けた導入も含め目的別に分散した各種システムを横断的に連携・統合し、除排雪作業全体の効率化・省力化が図れる仕組みの構築に向けて検討するべき。その際、除雪従事者の労働環境にも十分に配慮するとともに、将来的な担い手確保につながる取組についても検討するべき。
- 先進技術の活用にとどまらず、既存の施設の効率的な運用への見直しについても、併せて検討するべき。
- 行政のみならず、地域や民間事業者との協働、ならびに国や北海道など関係機関との連携を強化し、雪対策全体の効率化を図ることができるよう、必要な制度等の検討を進めるべき。

【資料2】

除排雪手法小委員会・予算規模小委員会の報告を踏まえた

# 今後の除排雪の方向性

# 資料2-(1) 前回までの議論の振り返り

# 前回の議論の振り返り

**森田委員**：作業員の確保やプロの育成は今後大きな課題になる。札幌市も人口が減り、オペレーターや技術者も減っていく不安がある。この審議会で、どのようなイノベーションを構築すれば除雪を完結させていけるのか、しっかり調べていきたい。他都市の事例として、留萌市ではGPS連動の除雪日報作成システムを導入し、年間約50時間の事務作業を削減できたという調査結果もある。札幌市としてもこうした事例を積極的に取り入れ、検討してほしい。

**白川部委員**：予算規模小委員会でも発言したが、ロードヒーティングや融雪槽に代わる「新たな熱源」の確保について伺いたい。例えばイギリスではデータセンターの排熱を利用した暖房システムの実験が行われている。札幌市でもこうした排熱を融雪に応用できる可能性はないか。

入澤委員：イノベーションは、ある日突然芽吹くものではない。除雪予算の一部でも良いので、数千万円単位で「新技術検討枠」を設け、専門家を入れて海外の事例などを調査し、成果を出していくスタートを切るべきではないか。

**山崎会長**：今回の除排雪手法小委員会の報告は、試験施工前段階の報告であることから、引き続き、試験施工を踏まえた検討・議論を実施していただき、安全安心な市民生活を確保するためにどのような作業が必要か、また、そのために必要な予算はどのくらいかかるかといった所を整理いただき、改めてご報告をいただきたいと思います。

**宇野委員**：予算規模小委員会からの報告では、市税収入が減る中でのコスト抑制が重要視されている。特に運搬排雪費の抑制が鍵となるが、中長期的な観点で将来的な担い手不足を見据え、現時点で考えられる除排雪手法の工夫や見直しについて、どの程度検討されているのか。それらの工夫がどの程度の効果（コスト削減）を生むのか、また市民生活にどのような影響があるのか、整理して示していただきたい。

高野委員：札幌市の除雪だけでなく、国が管理する国道、民間（スーパーの駐車場等）の除雪・排雪、町内会が民間業者に依頼している排雪など、市内の除雪システム全体を俯瞰する必要がある。長期的には、国とのコラボレーションや民間の力をより効率的に取り込むなど、視野を広げてシステムを再構築していくことが、人口減少社会における効率的な除雪につながる。

**白川部委員**：除雪・雪対策の財源として「ふるさと納税」の活用を提案したい。金額の多寡に関わらず、札幌出身者や札幌の冬の環境を応援したい方々の思いを形にする手段として、これまで検討されたことはあるか。制度上・運用上の課題も含め、市の見解を伺いたい。

# 【宿題事項1】雪対策イノベーションに向けた検討

## 視点1：作業データを活用した作業の効率化

将来の従事者不足への備えとして、作業データやAIを活用したシミュレーションにより、除排雪体制全体の最適化を図る。

（想定するシミュレーション）
- 除雪機械1台ごとの稼働
- 全市視点での作業計画（全体最適化）
- 融雪施設活用

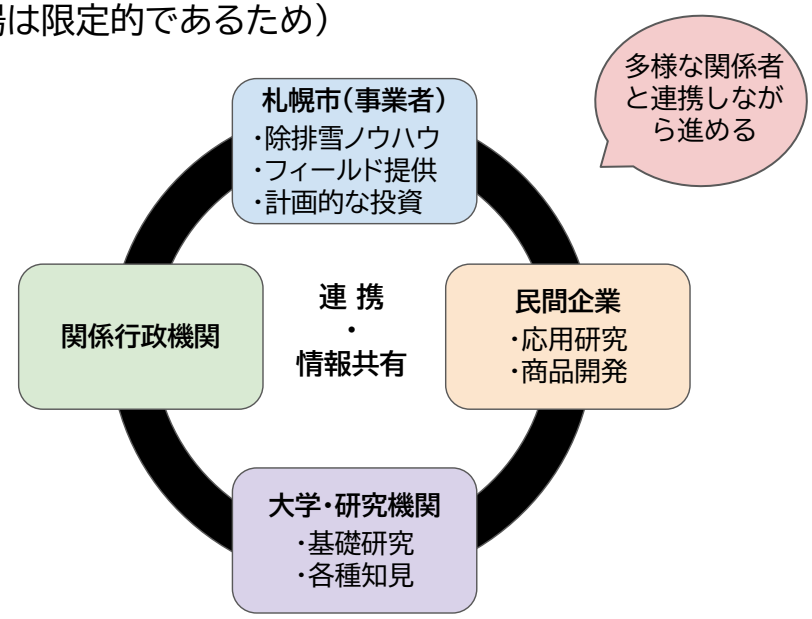



シミュレーションの進め方（想定）

## 視点2：新たな融雪技術の研究・開発

労力やコストが大きくかかっている排雪作業の省力化や市民の雪処理に関する負担軽減に向け、活用可能な熱源や新たな融雪技術の研究・開発を検討する。

（研究・開発に向けた課題）
- 融雪施設に利用可能な熱源の検討（無償かつ容易に活用できる熱源がないため）
- 民間企業などの参画を促す事業スキームの検討（除排雪市場は限定的であるため）




- 長期（今後10～30年程度）的な視点を持ちながら、更なる作業の省力化・効率化に向けた雪対策イノベーションについて検討を進めていく考え。

# 【宿題事項2】ふるさと納税の活用の検討

## ◆寄付の種類

| 種類 | 寄付の対象者 | 寄付の選択基準 | 寄付金の使い方 | その他の特徴など |
|---|---|---|---|---|
| ①通常のふるさと納税 | 市外の方<br>※返礼品がない場合は、市民も対象にできる。 | 主に「返礼品」を選択<br>※●●市を応援したいという人も中には存在 | 大まかなジャンルから寄付者が指定<br>※札幌市は26ジャンル | ● 寄付者の興味を引く「雪」を使った返礼品を考えることが必要。 |
| ②ガバメントクラウドファンディング（GCF） | 市外の方<br>※返礼品がない場合は、市民も対象にできる。 | 対象プロジェクトに賛同できるかどうか<br>例）動物園の改修、被災地支援など | 対象プロジェクトで活用 | ● 寄付者から賛同が得られるプロジェクトを考えることが必要<br>● 募集期間と目標金額が設定されている。 |
| ③企業版ふるさと納税<br>※厳密にはふるさと納税ではない。 | 市外企業 | 地域再生計画に基づく「地方創生プロジェクト」に賛同できるかどうか | 対象プロジェクトで活用 | ● 減税効果が高いため、多くの企業の活用が望める一方で、寄附を契機とした質的又は量的な事業変化が求められる。 |

- ②や③については、募集期間や使用用途などの条件があることから、まずは①の活用について、寄付者の興味を引く返礼品を検討していく考え。

# 資料2-（2） 市民アンケートの結果

# 市民アンケートの実施内容

周知方法：市公式LINE、広報さっぽろ（6月号）、広報番組など

調査方法：WEBによる回答、紙での回答

質 問 数 ：1. 持続可能な雪対策への考え（6問）
2. 昨冬の大雪の対応（5問）
3. 生活道路除排雪の考え（2問）

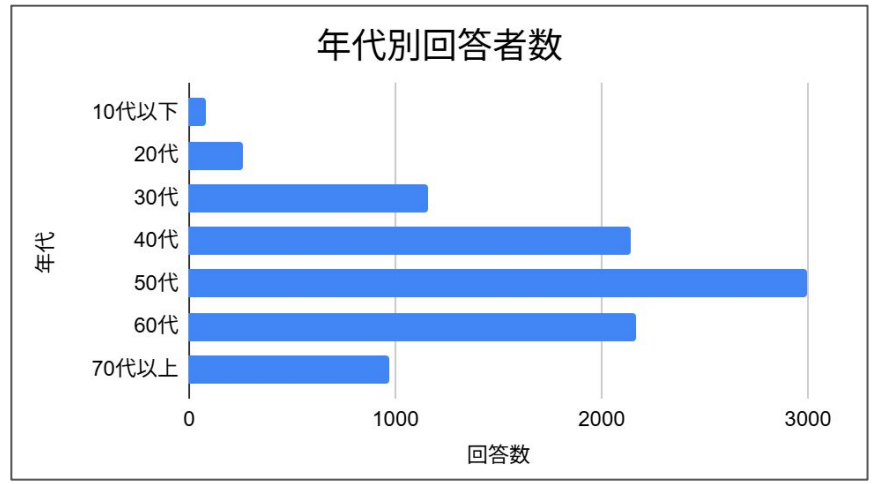
調査期間：2026年6月1日（月）～6月30日（火）

回 答 数 ：9,778件



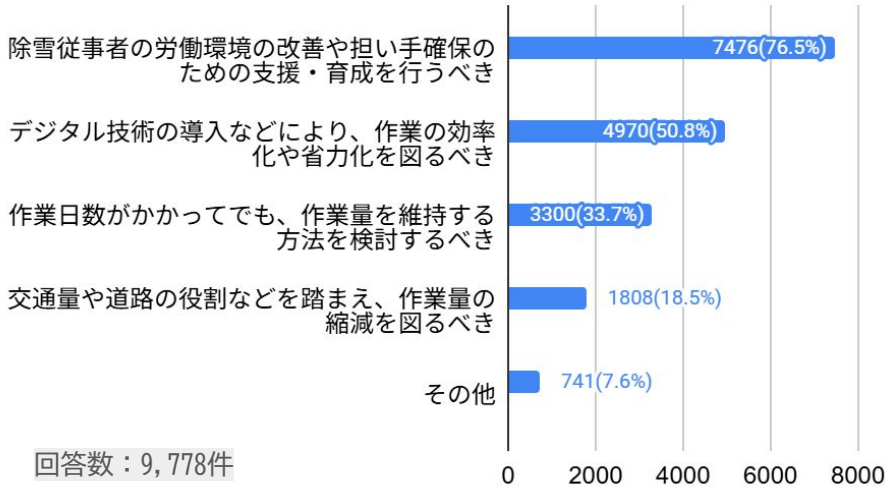

広報さっぽろ（6月号）

| 年代 | 回答数 |
|---|---|
| 10代以下 | 80 |
| 20代 | 263 |
| 30代 | 1,158 |
| 40代 | 2,142 |
| 50代 | 2,998 |
| 60代 | 2,164 |
| 70代以上 | 973 |



# ◆除排雪体制に関する市民アンケートの結果

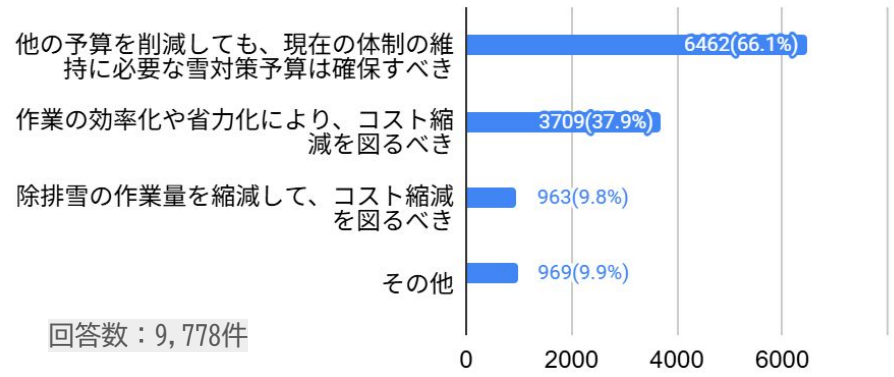
## （1-1）将来の除雪従事者の担い手不足への対応として、市はどのように対応すべきと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり




**【その他意見について（741件）】**

**1. 先進技術の活用に向けた意見**
「AIによる無人除雪機の開発を急ぐ」「作業の効率化もさることながら、ロボット化（自動化）も早めに進めるべきだと考えます」
**2. 労働環境・待遇の改善に関する意見**
「お給料、手当の増額」「除雪従事者へ給与と安全面の保障を充実させてほしい、労働条件が良くなければ担い手は確保できません」
**3. インフラ整備（融雪槽等）に関する意見**
「お金がかかっても道路に融雪槽つくるべき」「一部で導入されている融雪溝を増やして、除排雪する大型機械の作業負担を減らせる」
**4. 市民・地域の協力に関する意見**
「ボランティアの活用や町内会、地域での助け合いが行えるように、年配の方でも動ける方はいるので親睦を深めていくような活動の場があると良いと思う」
**5. 多様な人材の確保に関する意見**
「札幌市職員の中で大型作業免許や運転免許を持つ人を募り、特別給与を与えて繁忙期に限り除雪に従事させる」「冬季に仕事のない職種の人に従事してもらう」

## （1-2）持続可能な雪対策予算のあり方として、市はどのように対応すべきと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり



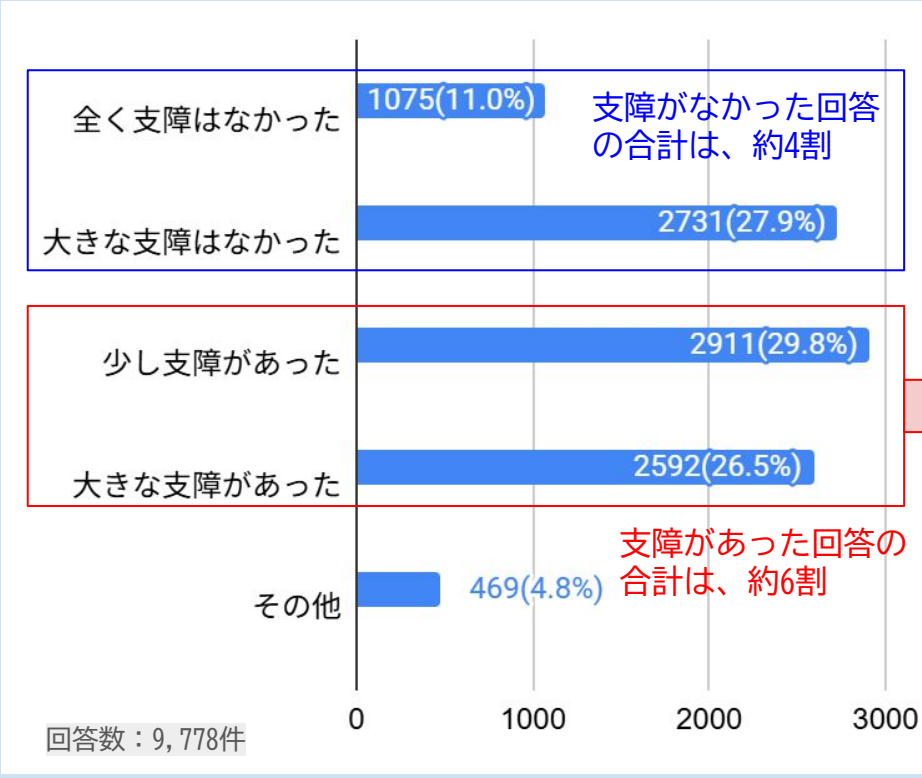

**【その他意見について（969件）】**

**1. 予算の見直し・確保に関する意見**
「他の予算を見直して無駄を削減し、雪対策に予算に当てて現在の体制を維持していく」「オリンピック誘致や箱物建設をやめて除雪の予算を確保する」
**2. 新たな財源確保・税制に関する意見**
「除排雪税を新設し、市民や冬期観光客から徴収する」「ふるさと納税などによりほかの予算への影響を減らしつつ現状維持程度の予算を確保すべき」
**3. 効率化・インフラ整備に関する意見**
「デジタル技術を活用して効率よくかつ合理的に除雪をしっかりと行うべき」「雪をエネルギー源として再利用する仕組みを作り予算を効率化」
**4. 市民・民間連携・補助金に関する意見**
「民間の除排雪業者を利用してる顧客に補助金を出し、その分市の除排雪作業を軽減した方がいいと思う」「融雪槽などの設置に対する補助金制度を設ける」
**5. 除排雪体制の維持・強化を求める意見**
「コスト削減という考えが出てくる意味がわからない。除雪対策は札幌の生命線です」「コスト削減ではなく除雪の充実を優先させた方が良い」

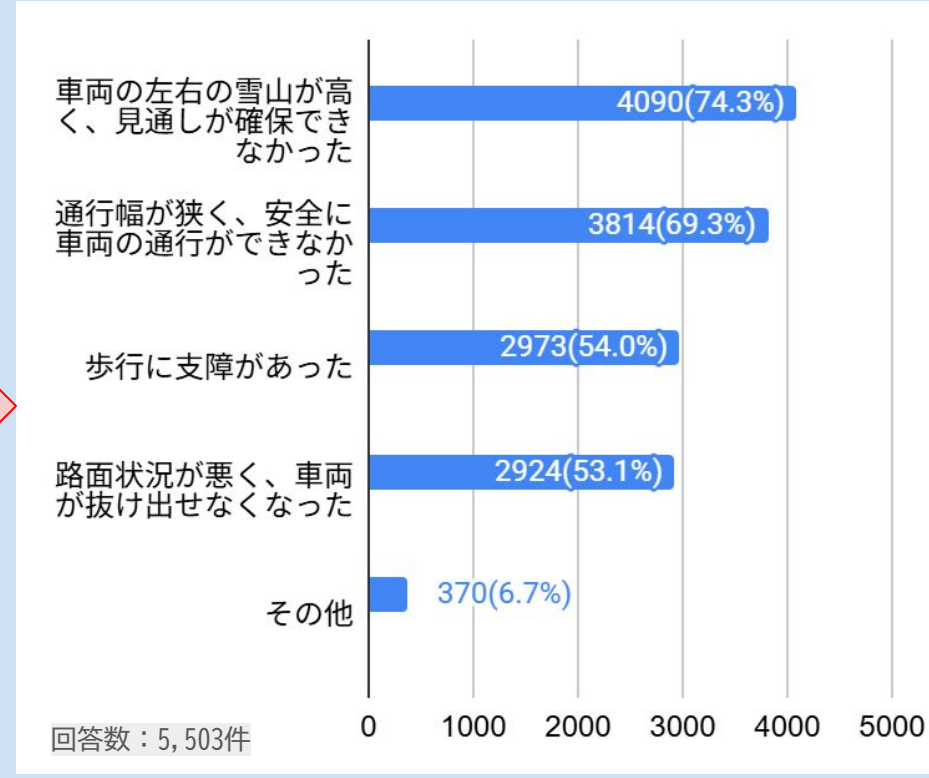
※ その他意見については、寄せられた意見を傾向別に分類し、傾向ごとの意見を抽出して掲載。

# ◆緊急排雪後の道路状況に関する市民アンケートの結果

（2-4）令和８年１月下旬の大雪を踏まえ、市が実施した「生活道路の緊急排雪」後の家の前の道路状況として、車両通行や歩行に支障はありましたか。

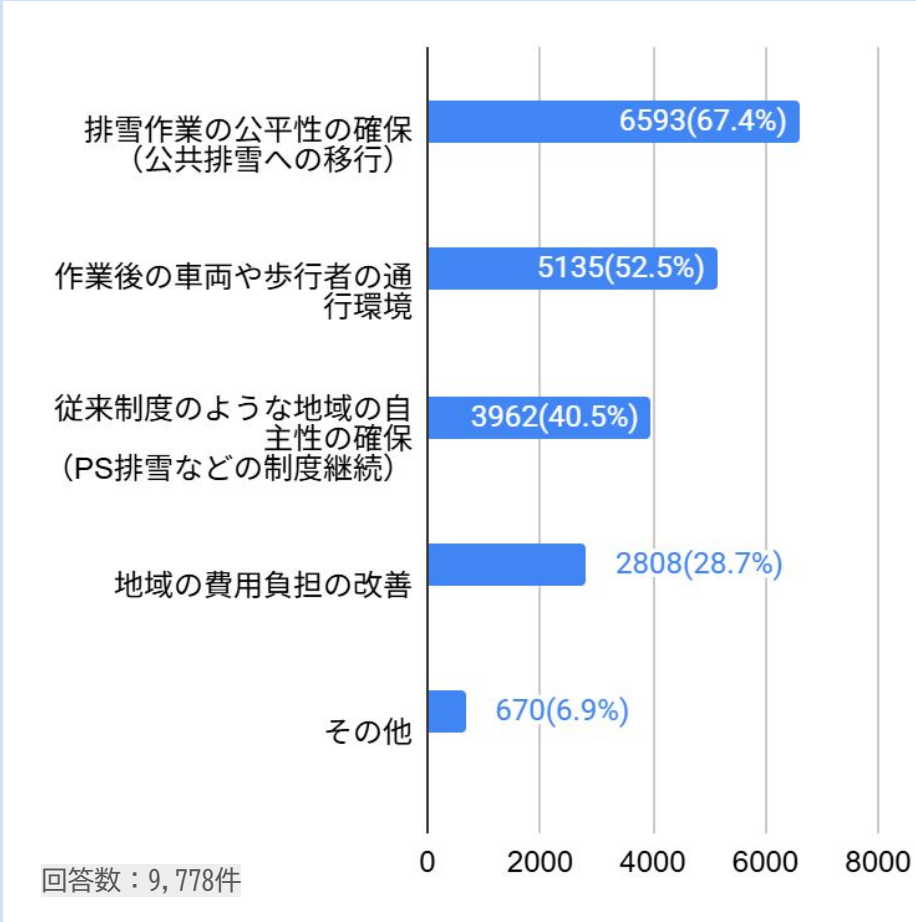



（2-5）（2-4）で「支障があった」と回答した方にお伺いします。どのような支障がありましたか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり

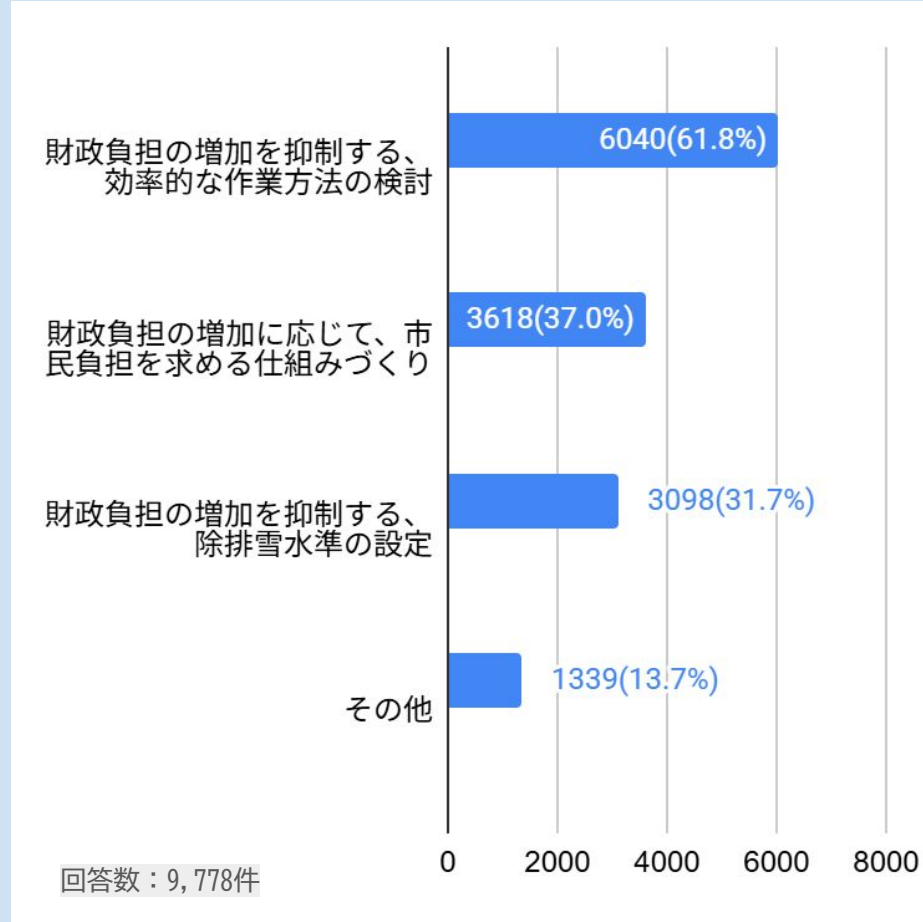


# ◆生活道路の除排雪に関する市民アンケートの結果

（3-1）生活道路除排雪の検討にあたって重要と考えるものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり




（3-2）作業可能な全ての生活道路の排雪を行う場合には、市の財政負担の増加が見込まれます。その対応としてあなたが重要と考えるものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり



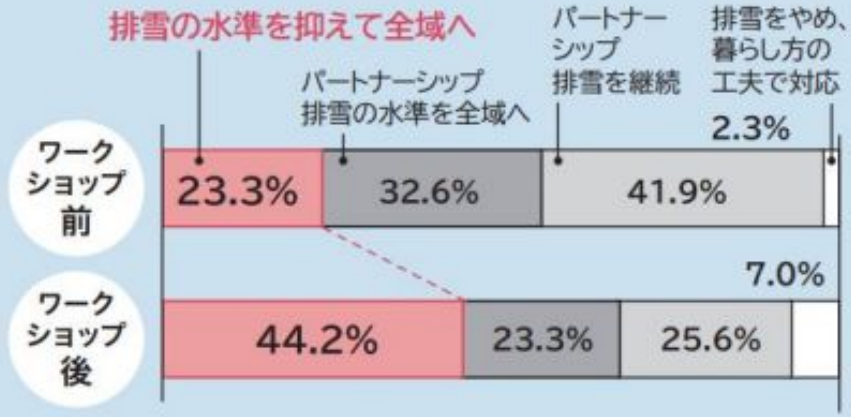
# 市民ワークショップ（令和8年2月28日）の結果

- 持続可能な雪対策の方向性を市民とともに考えるために開催。
- 議論の開始時と、課題や背景を踏まえた議論の後では、生活道路の排雪手法に対する考えや雪対策への協力の意識について参加者の意見に変化が見られた。

【市民ワークショップの結果(広報さっぽろ2026年6月号より抜粋)】

## 支持する生活道路の雪対策の方向性は？

議論を経て、**「排雪の水準を抑えて全域へ（=排雪の水準を抑えて行政が市内全域を排雪する）」**が最も支持される結果に。他と比較し、地域差が生じない公平性と、費用や人員の面でも継続可能なバランスがとれた選択肢であるとして、多くの参加者に受け入れられたと推察されます。

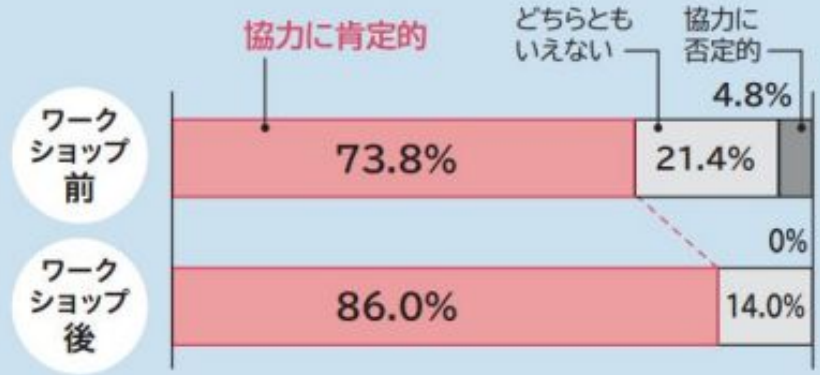



※計数ごとに四捨五入をしているため、合計が100%になっていません

## 生活道路の雪対策に協力したい？

議論を経て、8割以上の方が地域の雪対策への**協力に肯定的**な回答をしました。これは、多くの参加者が担い手不足やお金の制約を知り、市民の協力の必要性を認識したためと推察されます。

※7「ぜひ協力したい」～4「どちらともいえない」～1「全く協力したいと思わない」の7段階で調査



# 資料2-（3） 予算規模小委員会からの報告内容（参考）

P19

# 第1回予算規模小委員会（令和7年8月21日）の概要（1/2）

## 1. 第1回札幌市雪対策審議会（7/2開催）の概要

別添資料5 P.3～9

## 2. 札幌市の財政状況

別添資料5 P.11～15

- 市予算のうち扶助費・公債費・職員費の義務的経費が占める割合は5割を超えており、年々増加
- 建設費も上昇トレンドのため、収支不足を補完する基金残高は減少の見込み
- 将来世代に過度の負担を残さない「選択と集中」による財政運営が必要

## 3. 第1回札幌市雪対策審議会における委員からのご提案

### （1） 除排雪費用の推移

別添資料5 P.19～23

- R6年度の予算額が10年間で278億円まで97億円（1.54倍）増加
- 労務費や燃料費の高騰、作業水準のレベルアップも影響

P20

# 第1回予算規模小委員会（令和7年8月21日）の概要 （2/2）

## 3. 第1回札幌市雪対策審議会における委員からのご提案

⑵ 税収の見通し（アクションプラン2023時点） 別添資料5 P.25

⑶ ガソリン税暫定税率分の活用可能性 別添資料5 P.27

⑷ 宿泊税の除排雪費用への活用可能性 別添資料5 P.29

⑸ 財源確保に活用可能な税制度 別添資料5 P.31～34

- 法定外税の新設は、除排雪についての課税客体を特定することが困難
- 超過課税の新規実施は、例えば個人市民税均等割に500円を上乗せした場合の税収は約4．9億円で少額、また、固定資産税は、土地・家屋・償却資産のうち土地のみに実施することができないと解釈されている、

など

P21

# 第2回予算規模小委員会（令和7年11月26日）の概要（1/2）

1. 第1回予算規模小委員会（8/21）におけるご質問への回答　別添資料6 P.2～4

(1) 除排雪の効率化の取組による財政的な効果額

(2) 市街地のコンパクト化の考え方

2. 事務局からの報告

(1) （参考）令和6年度決算の概要　別添資料6 P.5～10

- 令和6年度決算と令和7年度現計予算の反映後、令和9年度末の基金残高の推計値は、アクションプラン2023策定時の見通しを206億円下回る583億円となる見込み
- 除排雪経費における一般財源所要額に対して、地方交付税の基準財政需要額の割合は、近年、5割前後。基準財政需要額を上回る経費は、主に市税で賄っている。

# 予算規模小委員会からの報告内容（振り返り）

P22

## 第2回予算規模小委員会（令和7年11月26日）の概要（2/2）

### 2. 事務局からの報告

#### (2) 除排雪費用の他自治体との比較　別添資料6 P.11～13

- 札幌市は、他の4市と比較して人口1人当たりの除排雪関連決算額には極端な差は見られないが、車道除雪延長1km当たりの除排雪関連決算額が他市よりも高い。
- 札幌市の運搬排雪関係費の除排雪関連決算額に占める割合は他市に比べて高い。

#### (3) 今後30年の税収推計（概算）　別添資料6 P.14～16

- 市作成の将来推計人口を始め、一定の前提条件のもと推計したところ、30年後（令和37年度）の市税収入は、令和7年度比10.7%減少する見込み

#### (4) 人口減少、税収減による影響（試算）　別添資料6 P.17～18

- 令和7年度予算と同額の除排雪経費を維持した場合、税収減により、裁量性のある経費の一般財源額に占める除排雪経費の割合が結果的に上昇し、他の行政サービスを圧迫する懸念

### 3. 雪対策審議会への報告に向けた意見交換　別添資料6 P.19～20

23

## 予算規模小委員会から札幌市雪対策審議会への報告

P26

これまでの議論を踏まえ予算規模小委員会としては、以下のとおり札幌市雪対策審議会に報告する。

・除雪水準のレベルアップや労務単価、物価、燃料費の高騰などにより、除排雪経費が年々増加（予算額は10年間で97億円増加）している状況。
・税制度について検討したが、法定外税については、課税客体を特定すること、また、超過課税については、多額の税収を期待することが難しい。ただし、宿泊税やふるさと納税の活用も検討すべき。
・今後30年間、札幌市においては、人口減少と税収の減少が見込まれる中、除排雪費用を増加させることは厳しい見通しであり、財政的な観点から考えると、短期的には現状維持程度にとどめ、中長期的には税収の減少に合わせて抑えていく努力が必要。その際には、多額の経費を要している運搬排雪関係費の抑制の観点が重要。
・併せて、市民の理解を得ながら事業を進めていくための情報発信、創意工夫も求められる。

【考え方、理由】
・除排雪経費の性質、特徴として、除排雪経費に充てられる一般財源に対して地方交付税措置はここ数年5割台であり、残る5割程度は自前の一般財源である市税収入によって賄われている。
・中長期的に市税収入が減少し、減少分を補う収入が得られないならば、除排雪経費の予算規模は、税収減に見合うものとなるよう一定の抑制を視野に入れる必要がある。

27

# ご議論いただきたい内容

以下の観点について、除排雪手法小委員会・予算規模小委員会の報告等を踏まえて、**今後の除排雪に関する短期・長期の方向性**をご議論いただきたい。

**課題1：持続可能な除排雪体制の構築**
**課題2：市民ニーズや気象の変化に対応した除排雪方法の見直し**

**観点1：行政の除排雪により確保すべき冬期道路環境**
（幹線道路及び生活道路の除雪水準など）

**観点2：排雪支援制度の扱いを含む生活道路除排雪の作業のあり方**
※排雪支援制度は、パートナーシップ排雪制度及び市民助成トラック制度の2種類の制度

**観点3：除排雪作業の省力化・効率化に向けた対応**
（市民理解を要する取組や将来を見据えた先進技術の導入・開発など）

**課題3：健全な財政運営の見地から考える雪対策予算規模のあり方**

**観点4：安全・安心に必要な除排雪と健全な市財政のバランスが取れる予算規模**

※上記の課題は、令和７年度第１回審議会で設定したもの。

# 【資料3】

# 雪との共生に向けた方向性

# 資料3-(1)雪との共生に関する考え方

# 雪との共生に関する考え方（想定）

持続可能な雪対策の実現に向けては、これまで多くの労力やコストをかけた行政中心の除排雪により快適な道路環境を確保してきたが、**今後はより一層行政・市民・地域・企業が連携し、雪がある中でも安全・安心な冬の生活環境を確保する、雪と共生したまちづくりへ意識を変えていくことが必要**

## これまでの雪対策

多くの労力やコストをかけた行政中心の除排雪により快適な道路環境を確保。




## 今後の雪対策

行政・市民・地域・企業の連携により、安全・安心な冬の生活環境を確保。



# 雪との共生に向けた行政と市民の役割（想定）

**（1）行政の役割**

札幌市は、冬の市民生活や経済活動の確保に必要な除排雪を行うとともに、市民・地域・企業などが行う雪との共生に向けた取組への支援などを行う。

**（2）市民・地域・企業の役割**

市民・地域・企業は、気象の変化や人口減少に伴う社会環境の変化に合わせた「冬の行動」「冬のルール・マナー遵守」「冬の助け合い」に取り組む。

**市民・地域・企業の役割の具体例**

① **除排雪への理解**・・・・・家の前に寄せられた雪の処理や除排雪で対応できることの限界など

② **大雪など冬の気象に合わせた行動**・・・・・余裕を持った行動（平常時）や大雪時などの外出抑制など

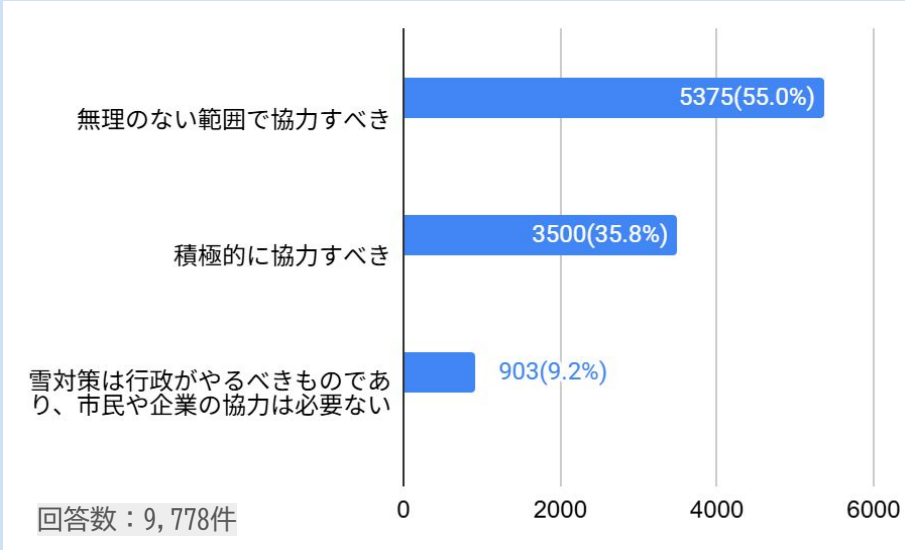
③ **冬のルール・マナー遵守**・・・・・「雪出し」「路上駐車」「夜のゴミ出し」をしないなど

④ **冬の助け合い（雪の魅力の活用）**・・・・・雪の魅力を活用した地域活動や除雪ボランティアなど

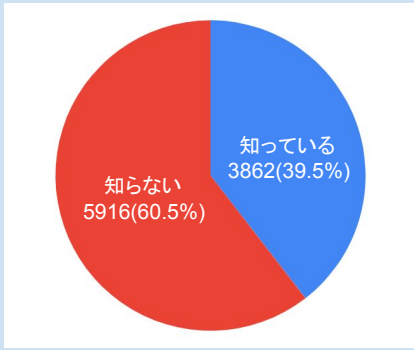
# 資料3-（2）市民アンケートの結果

# ◆雪との共生に関する市民アンケートの結果

## （1-3）持続可能な雪対策に向けた市民や企業の関わり方についてあなたはどうあるべきだと思いますか。

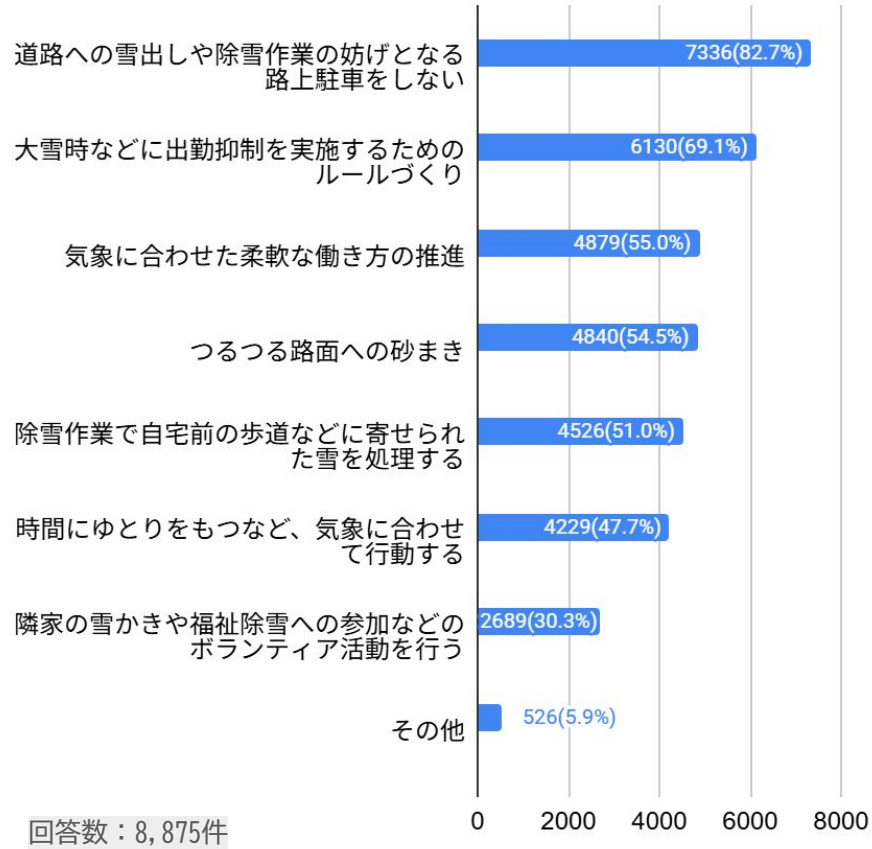



## （1-5）現在、札幌市雪対策審議会を設置して、持続可能な雪対策のあり方についての検討を進めていることを知っていますか。




回答数：9, 778件

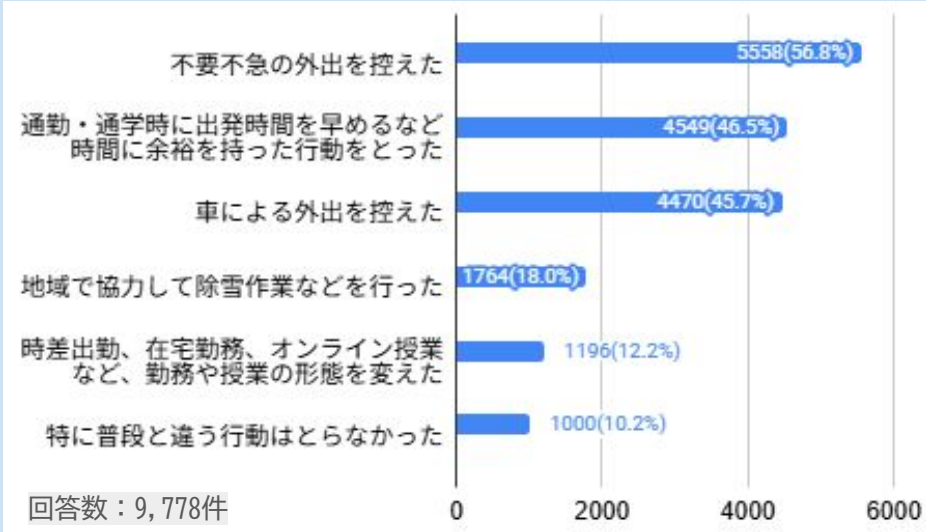
## （1-4）市民や企業ができると考えられる対応は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり



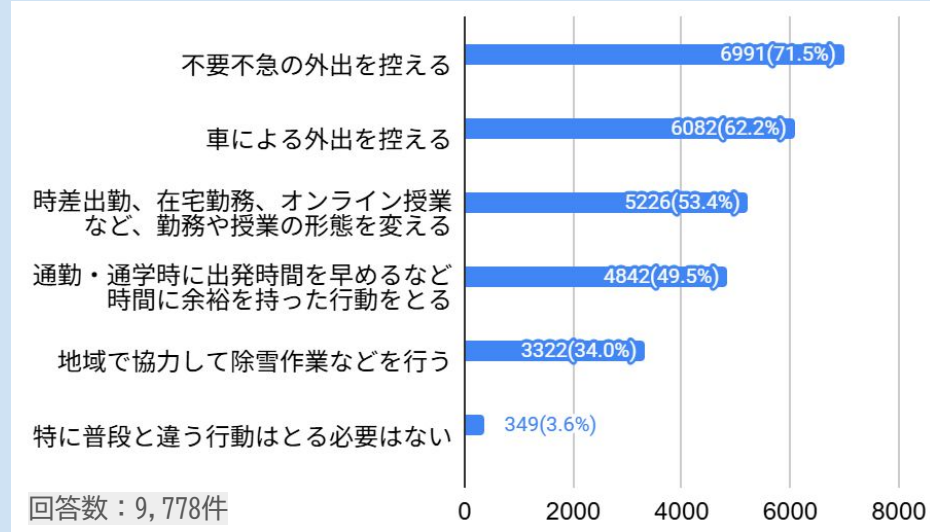

回答数：8, 875件

# ◆市民アンケートの結果（続き）

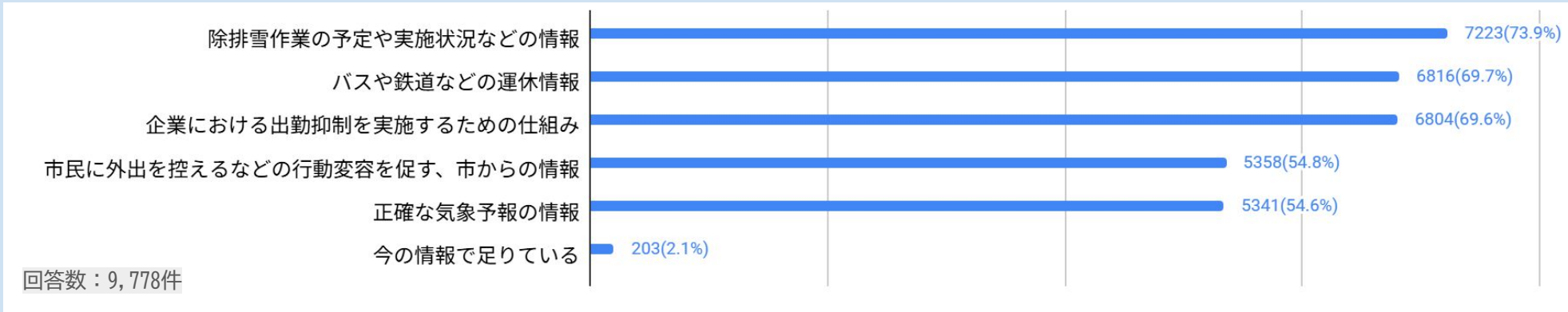
（2-1）令和８年１月下旬の大雪の際に、あなたがとった行動は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。 ※複数選択あり




（2-2）今後、今回（令和８年１月下旬）のような大雪となった際、どのような行動をとるべきだと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。※複数選択あり




（2-3）大雪時などに行動を変えるためにはどのような情報や仕組みが必要ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。
※複数選択あり



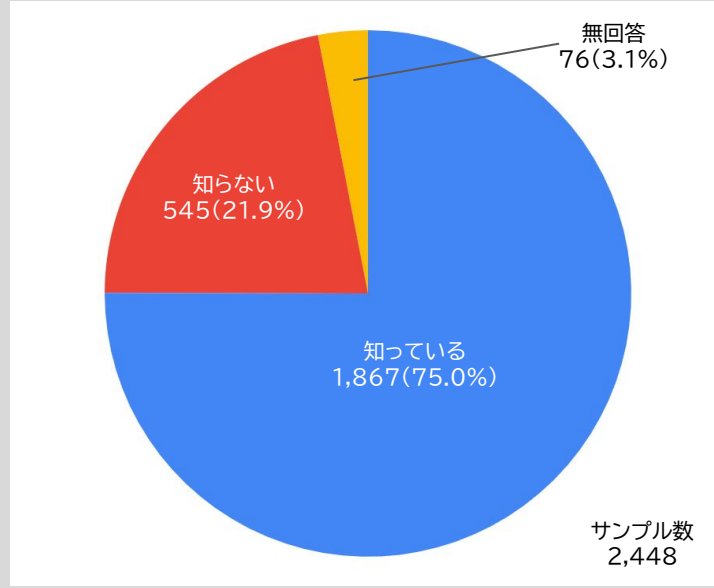
# 資料3-(3)項目ごとの現状

# ①「除排雪への理解」に関する現状

## 現状

- 除雪作業で寄せられた雪の処理に対する市民認識は75%と高い状況（右図）
- 一方で、市民からの苦情は、「家の前に寄せられた雪」が毎年多数（R5約9千件）

質問：あなたは、札幌市の新雪除雪により、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理（道路部分の雪かき）を各世帯に行っていただいていることを知っていますか。




市民意識調査R7第1回

### 主な取組

◆情報発信
- 冬のくらしガイドの全戸配布
- 生活道路除雪の作業情報（HP,LINE,データ放送）
- 雪学習や雪体験授業

◆雪処理に対する支援
- 融雪施設設置資金融資あっせん制度
- 公園の雪置き場としての利用




## 想定要因

- 雪かきに関する実際の作業負担が大きい（雪質や作業内容によっては、重たい雪の処理が必要）
- 行政の除排雪について正確な情報が伝わっていない

# ②「冬の気象に合わせた行動」に関する現状

## 現状

- 大雪時に不要不急の車による外出を控えている市民は45.7%（右図）
- R7大雪時には2日間でJAFの出動件数が7000件以上　※UHBニュースR8.1.31より

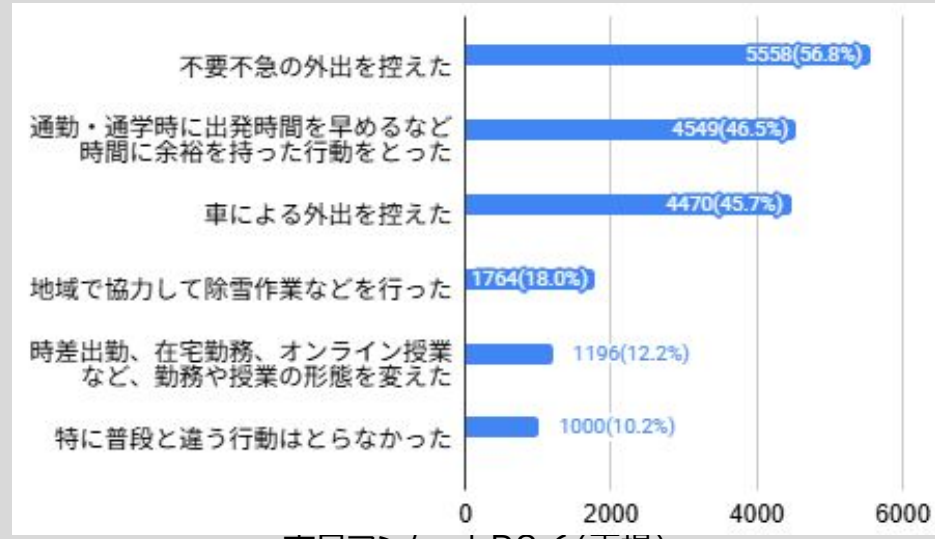
### 主な取組

◆情報発信
- 「大雪時のリスクなど」に関する冬のくらしガイド（全戸配布）への掲載
- 「大雪時の協力」に関する動画
- LINE等を活用した警報発令時の情報発信

周知動画




（2-1）令和８年１月下旬の大雪の際に、あなたがとった行動は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。　※複数選択あり




市民アンケートR8.6（再掲）

## 想定要因

- 市民一人ひとり（個人）での会社や学校に行かない判断が難しい可能性
- 気象に合わせた行動に必要な情報が足りていない
- 業務を止めることへの企業側のリスクがある

# ③「冬のルール・マナー遵守」に関する現状

## 現状

- 守っていると回答した市民は、「雪出し」は90.5%（右図）、「路上駐車」は92.7%
- 道路への雪出しや除雪作業の妨げとなる路上駐車は、未だに一部で存在

### 主な取組

◆情報発信
- 冬のルール・マナーに関する動画
- 冬のくらしガイド（全戸配布）への掲載

◆指導・啓発活動
- 地域や警察との合同パトロール
- 各区における雪出し注意・啓発活動

冬のルール・マナー動画

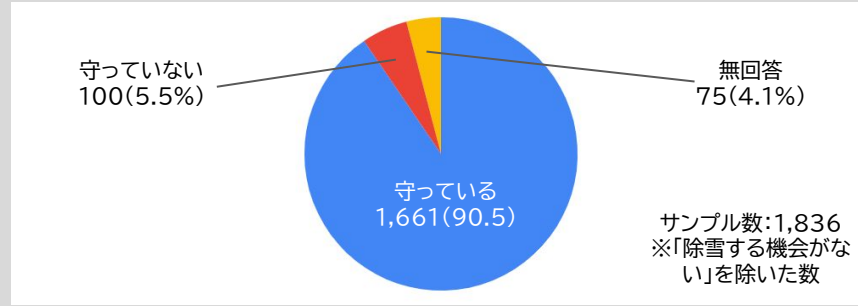



合同パトロール（路上駐車）

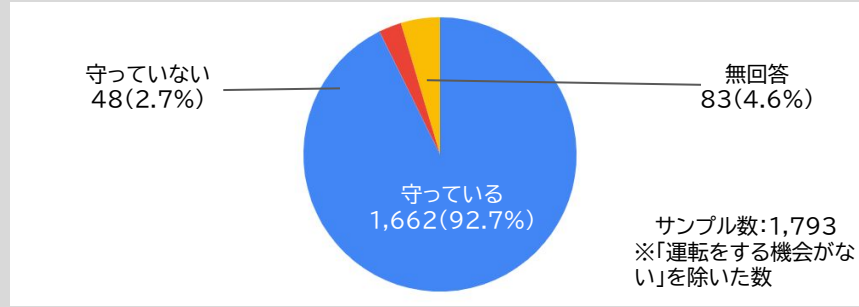


市民意識調査R5第1回

質問：あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。




質問：あなたは、「路上駐車をしてはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。




## 想定要因

- ルールを知っていても対応しない（できない）市民が存在する可能性

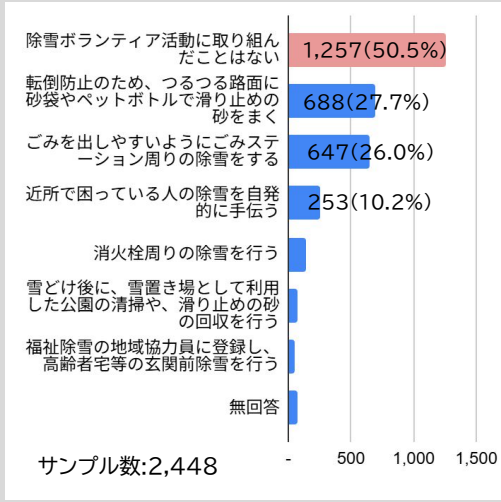
# ④「冬の助け合い（雪の魅力の活用）」に関する現状

## 現状

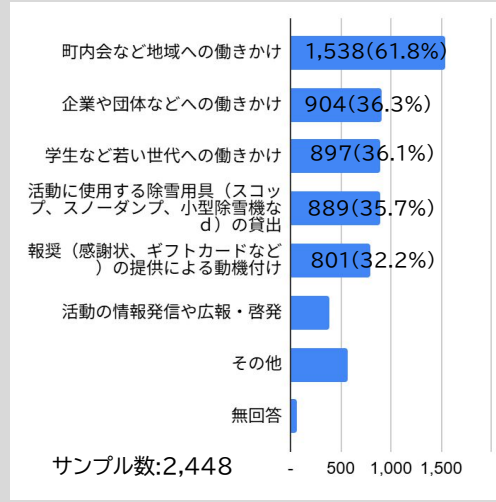
- 除雪ボランティア活動に取り組んだことがない市民は50.5%（右図左）
- 除雪ボランティア活動の推進に向けて重要な取組は、「町内会など地域への働きかけ」が61.8%、「報奨などの動機付け」が32.2%（右図右）
- 地域活動に参加したことがある市民は40.2%、ないと答えた市民は56.1%。

【市民意識調査R7第1回】

質問：
札幌市では、市民の皆さまに「除雪ボランティア」への協力を呼び掛けています。以下のうち、あなたがこれまでに取り組んだことがある除雪ボランティア活動について、あてはまるものにいくつでも〇をつけてください。




質問：
あなたは、札幌市が各種除雪ボランティア活動を推進するため、どのような取組が重要になると思いますか。あてはまるものにいくつでも〇をつけてください。




### 主な取組

◆活動支援
- 除雪用具や小型除雪機の貸出
- 小型除雪機購入費の補助

◆マッチング支援
- 福祉除雪事業（社会福祉協議会）
- 学生や企業の除雪ボランティアに対する支援

学生の除雪活動



## 想定要因

- 地域活動へ参加するきっかけがない（年代や立場を超えて参加したいと思う活動が必要）
- 地域活動に参加する時間がない（参加しやすい仕組み作りが必要）

# 資料3-(4)参考情報

# 市民理解醸成に関する取組（参考）

## 市民議論の取組

① R7.10.19
市民ワークショップ
「雪対策の未来を考える」

② R8.2.28
市民ワークショップ
「札幌の冬の暮らしをみんなで考える」



③ R8.8.1, 8.8
市民会議
（ミニ・パブリックス）

④ R8.9.5-6, 9.12-13
オープンハウス
（チカホ、商業施設にて開催）




## 情報発信

①



気になる！さっぽろ（uhb）（テレビ）
「雪対策の”これから”を考える」
（R８年６月21日（日）8：25～8：30）

②



スマイルさっぽろリターンズ（HBC）（ラジオ）
「みんなで考える冬のさっぽろ」
（R８年６月８日（月）　9:30～9:40）

③




広報さっぽろ「雪対策に関する特集」
R７：５月号・８月号
R８：１月号・３月号・６月号・７月号

④




検討状況をまとめたホームページ
「持続可能な雪対策の概要～私たちの冬の暮らしはどうなる？」

持続可能な雪対策に向けて市民と一緒に考えていくため、今後も審議会の議論や札幌市の除排雪に関する正しい情報などを様々な機会やツールを活用して伝えていく

# 市民理解醸成に関する取組（参考）

## 大学でのワークショップ

雪対策の現状と課題について市の職員から説明を行った後、行政・企業・市民それぞれの立場でできる解決策を学生同士で話し合いました。

**（各校における主な意見）**

**① 北海道大学**

- 行政は、除雪作業を担える人材を把握し、人手の確保に取り組む
- 行政は、SNSやテレビなどで財政状況と雪対策の現状を丁寧に説明する
- 企業は、従業員が家の除雪をする時間を確保できる勤務体制をつくる
- 集合住宅と一戸建て住宅の住民が協力して、生活道路を除雪する

**② 北海商科大学**

- 雪かきができる若者と、雪かきが必要な方がマッチングするアプリを開発する
- 発電のためのエネルギーや冷房に雪を活用する取り組みを今よりも進める

**③ 北星学園大学**

- 雪かきを短時間、単発の仕事として、気軽に頼める仕組みを作る
- 自動運転の除雪車の開発や雪をエネルギーに変えるなどの技術に投資する
- 地域内で除雪機の貸し借りを行うことで地域交流も活性化させる



ワークショップの様子

## 子どもの提案

子どもから市政やまちづくりについて提案や意見を募集する取組において、雪と共生するまちづくり」について意見を募集しました。

**（主な意見）**

- 学校のボランティア活動として地域の雪かき
- 誰の家とか関係なく人の通る道を雪かきする
- 除雪車の体験を通して将来の担い手を増やす
- 雪かきアルバイトサイトでアルバイト募集！



## 今後の取組予定

「雪との共生」の実現に向けた社会デザインについて、札幌市立大学と連携した検討を進める予定。



オープンキャンパスにおける授業
「札幌市の道路除雪をリ・デザイン！」

# 大雪時の対応や市民の行動変容に向けた先行取組について（参考）

昨冬の大雪を踏まえた対応として、「情報発信の強化」や「市民の行動変容につながる環境整備の検討」などについて令和8年度中に実施予定。また、下記の取組を組み合わせた対応訓練を、関係者と連携して実施予定。

## 昨冬の大雪を踏まえた対応

### ① 大雪時等の臨機な除排雪体制

大雪時の対応指針に基づく
臨機な除排雪

- 地区を超えた応援体制の確保
- 国や北海道など関係機関との連携体制の確保　など

大雪の臨機な除排雪作業

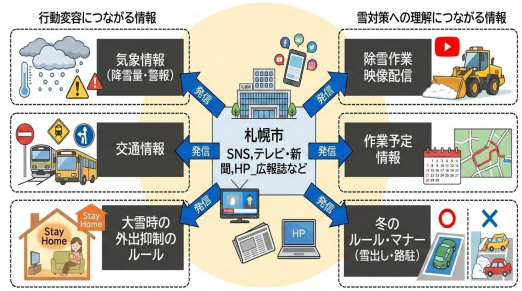


### ② 庁内連携による情報発信の強化

大雪に関する事前情報など

- 除雪作業に関する情報
- 市民の行動変容につながる事前の注意喚起の検討　など

市民理解に向けた情報発信

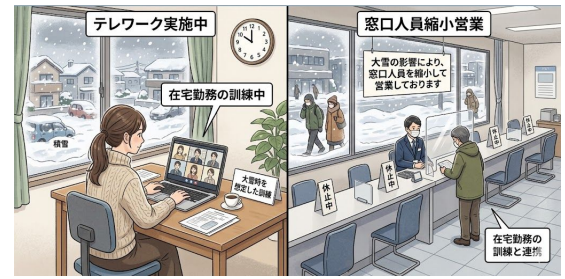



### ③ 行動変容に向けた社会環境の整備

札幌商工会議所と連携して
大雪時の柔軟な働き方を検討

- 大雪を想定した勤務体制　など

大雪を想定した柔軟な働き方




**上記の取組を組み合わせた対応について、冬のシーズン前に関係者と連携した訓練を実施予定**

# ご議論いただきたい内容

## 雪との共生に関する今後の方向性

雪との共生に関する「考え方」や「行政と市民の役割」及び「その実現に向けた方向性」についてご議論いただきたい。

**市民・地域・企業の役割の具体例（再掲）**

① **除排雪への理解**・・・・家の前に寄せられた雪の処理や除排雪で対応できることの限界など

② **大雪など冬の気象に合わせた行動**・・・・余裕を持った行動（平常時）や大雪時などの外出抑制など

③ **冬のルール・マナー遵守**・・・・「雪出し」「路上駐車」「夜のゴミ出し」をしないなど

④ **冬の助け合い（雪の魅力の活用）**・・・・雪の魅力を活用した地域活動や除雪ボランティアなど

【別添資料】

# 札幌市
# 「持続可能な雪対策の実現に向けた」
# アンケート集計表

# 1　調査の概要

## (1) 目的

札幌の冬の暮らしに欠かせない雪対策は、人口減少による将来的な除雪従事者の担い手不足や、物価高騰等による雪対策費用の増加といった課題に直面しています。安全安心な冬の暮らしを将来も支えていくためには、今のうちからこれら課題への対応を検討する必要があります。

札幌市ではこれまで、有識者や除雪従事者、市民委員などで構成される「雪対策審議会」や市民ワークショップを開催するなど様々な議論・検討を行っています。

本アンケートは、さらに多くの皆さんとこれからの雪対策について一緒に考えていくために実施しました。

## (2) 項目

### １．持続可能な雪対策への考え（回答に応じて４～６問）

(1-1) 将来の除雪従事者の担い手不足への対応として、市はどのように対応すべきと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ４～５）

(1-2) 持続可能な雪対策予算のあり方として、市はどのように対応すべきと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ６～７）

(1-3) 持続可能な雪対策に向けた市民や企業の関わり方についてあなたはどうあるべきだと思いますか。（Ｐ８～９）

(1-4) 市民や企業ができると考えられる対応は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ10～11）

(1-5) 現在、札幌市雪対策審議会を設置して、持続可能な雪対策のあり方についての検討を進めていることを知っていますか。（Ｐ12～13）

(1-6) どのような方法で知りましたか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ14～15）

### ２．昨冬の大雪の対応（回答に応じて５～６問）

(2-1) 令和８年１月下旬の大雪の際に、あなたがとった行動は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ16～17）

(2-2) 今後、今回（令和８年１月下旬）のような大雪となった際、どのような行動をとるべきだと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ18～19）

(2-3) 大雪時などに行動を変えるためにはどのような情報や仕組みが必要ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ20～21）

(2-4) 令和８年１月下旬の大雪を踏まえ、市が実施した「生活道路の緊急排雪」後の家の前の道路状況として、車両通行や歩行に支障はありましたか。（Ｐ22～23）

(2-5) どのような支障がありましたか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ24～25）

### ３．生活道路除排雪の考え（２問）

(3-1) 生活道路除排雪の検討にあたって重要と考えるものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ26～27）

(3-2) 作業可能な全ての生活道路の排雪を行う場合には、市の財政負担の増加が見込まれます。その対応としてあなたが重要と考えるものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。（Ｐ28～29）

## （3）調査手法

調査対象　札幌市民（市外の方も回答可能）

調査方法　回答はGoogleformによるｗｅｂ回答、もしくは、各区役所・未来創生担当課（札幌市役所　本庁舎）にて配布する調査票での回答とした。

調査期間　令和８年(2026 年)６月１日(月)～６月30日(火)

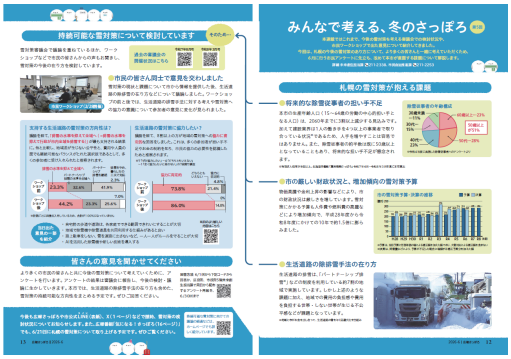
周知方法　広報さっぽろ、公式LINE、Instagram、Xのほか、テレビ・ラジオの本市広報番組等にてアンケートに関する周知を実施。

情報提供　アンケートに御回答いただく前に、札幌市の雪対策が抱える課題や、雪対策審議会での議論について、御理解いただきながら御回答いただくため、以下①または②の情報提供資料をお読みいただけるような設計とした。

【情報提供①】

広報さっぽろ６月号「第５回　みんなで考える、冬のさっぽろ」

https://www.city.sapporo.jp/somu/koho-shi/202606/documents/202606_12~13.pdf




【情報提供②】

札幌市公式ＨＰ「持続可能な雪対策の概要～私たちの冬の暮らしはどうなる？」

https://www.city.sapporo.jp/kikaku/miraisousei/sustainable-yuki-taisaku-lp.html




## （4）回収結果

全体回答数　　9,778人

ｗｅｂによる回答　9,759人（99.8%）

書面による回答　　19人（0.2%）

## （5）回答者の属性

【全体】

| 全体 | 回答数 | 比率 |
|---|---|---|
| | 9,778 | 100% |

【属性詳細】

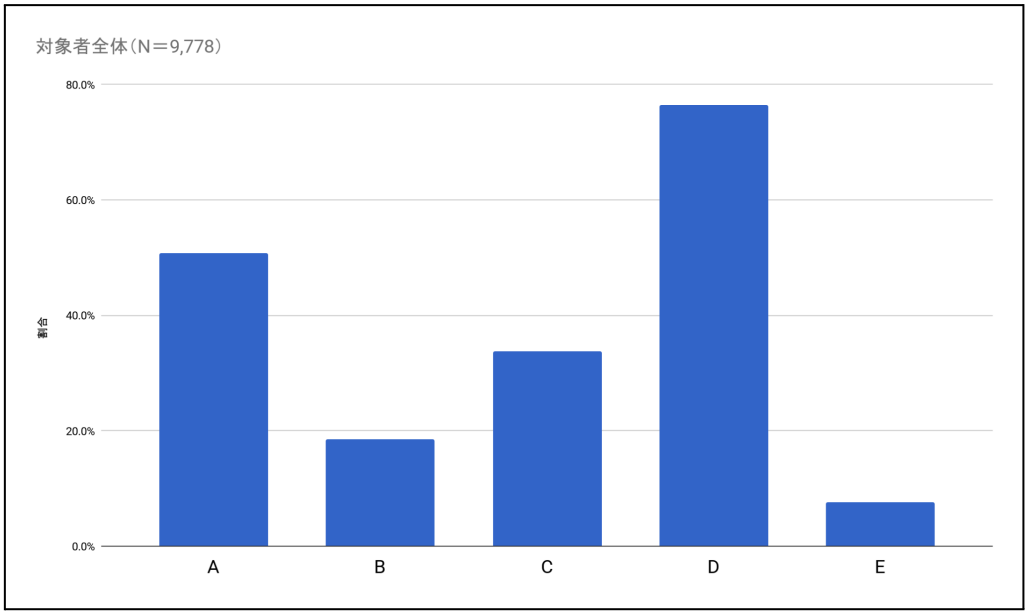
| | | 回答数 | 比率 |
|---|---|---|---|
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 0.6% |
| | １８～１９歳 | 18 | 0.2% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 2.7% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 11.8% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 21.9% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 30.7% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 22.1% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 5.9% |
| | ７５歳以上 | 395 | 4.0% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 12.5% |
| | 北区 | 1,585 | 16.2% |
| | 東区 | 1,332 | 13.6% |
| | 白石区 | 863 | 8.8% |
| | 厚別区 | 479 | 4.9% |
| | 豊平区 | 1,051 | 10.7% |
| | 清田区 | 567 | 5.8% |
| | 南区 | 661 | 6.8% |
| | 西区 | 1,206 | 12.3% |
| | 手稲区 | 782 | 8.0% |
| | 市外 | 34 | 0.3% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 43.2% |
| | 公務員 | 701 | 7.2% |
| | 自営業 | 613 | 6.3% |
| | パート・アルバイト | 1,599 | 16.4% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 10.8% |
| | 学生 | 108 | 1.1% |
| | 無職 | 1,079 | 11.0% |
| | その他 | 393 | 4.0% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 57.3% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 14.8% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 2.4% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 24.6% |
| | その他 | 93 | 1.0% |

| | | 回答数 | 比率 |
|---|---|---|---|
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 83.0% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 1.6% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 12.4% |
| | その他 | 289 | 3.0% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 59.3% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 17.4% |
| | バス | 857 | 8.8% |
| | ＪＲ | 426 | 4.4% |
| | 市電 | 82 | 0.8% |
| | 徒歩 | 901 | 9.2% |
| | 特になし | 11 | 0.1% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 16.1% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 28.3% |
| | バス | 2,028 | 20.7% |
| | ＪＲ | 841 | 8.6% |
| | 市電 | 181 | 1.9% |
| | 徒歩 | 1,627 | 16.6% |
| | 特になし | 430 | 4.4% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 12.9% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 18.6% |
| | バス | 1,484 | 15.2% |
| | ＪＲ | 784 | 8.0% |
| | 市電 | 135 | 1.4% |
| | 徒歩 | 2,299 | 23.5% |
| | 特になし | 1,346 | 13.8% |

## ３　設問集計について

### 【１．持続可能な雪対策への考え】

（1-1）将来の除雪従事者の担い手不足への対応として、市はどのように対応すべきと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。




| | | 対象者数 | A<br>デジタル技術の導入などにより、作業の効率化や省力化を図るべき | B<br>交通量や道路の役割などを踏まえ、作業量の縮減を図るべき | C<br>作業日数がかかってでも、作業量を維持する方法を検討するべき | D<br>除雪従事者の労働環境の改善や担い手確保のための支援・育成を行うべき | E<br>その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象者全体 | | 9,778 | 50.8% | 18.5% | 33.7% | 76.5% | 7.6% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 61.3% | 38.7% | 22.6% | 69.4% | 6.5% |
| | １８～１９歳 | 18 | 66.7% | 27.8% | 38.9% | 61.1% | 5.6% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 57.8% | 12.5% | 33.5% | 76.0% | 5.3% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 53.9% | 16.2% | 36.2% | 78.3% | 9.2% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 52.2% | 16.8% | 34.3% | 77.1% | 9.7% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 46.4% | 15.2% | 33.6% | 77.7% | 7.2% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 49.3% | 19.9% | 33.6% | 75.0% | 7.3% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 55.5% | 28.9% | 33.2% | 74.2% | 5.4% |
| | ７５歳以上 | 395 | 62.0% | 36.7% | 28.4% | 71.4% | 7.6% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 57.2% | 20.4% | 29.1% | 74.1% | 8.7% |
| | 北区 | 1,585 | 48.8% | 16.7% | 33.9% | 76.3% | 7.3% |
| | 東区 | 1,332 | 47.8% | 16.9% | 37.3% | 75.8% | 9.4% |
| | 白石区 | 863 | 46.7% | 19.5% | 32.9% | 79.5% | 8.3% |
| | 厚別区 | 479 | 57.4% | 22.3% | 33.0% | 77.5% | 4.2% |
| | 豊平区 | 1,051 | 52.0% | 20.1% | 30.7% | 76.3% | 8.5% |
| | 清田区 | 567 | 54.0% | 18.5% | 33.3% | 75.7% | 6.3% |
| | 南区 | 661 | 46.0% | 16.5% | 35.4% | 75.5% | 7.0% |
| | 西区 | 1,206 | 51.9% | 19.8% | 36.6% | 77.2% | 7.7% |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 手稲区 | 782 | 48.8% | 15.7% | 34.5% | 78.3% | 7.8% |
| | 市外 | 34 | 58.8% | 26.5% | 32.4% | 73.5% | 8.8% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 51.0% | 15.6% | 33.9% | 77.2% | 8.5% |
| | 公務員 | 701 | 59.1% | 28.4% | 27.5% | 71.6% | 8.0% |
| | 自営業 | 613 | 45.7% | 17.5% | 38.8% | 72.6% | 10.9% |
| | パート・アルバイト | 1,599 | 46.2% | 15.5% | 34.8% | 79.7% | 6.0% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 48.2% | 16.0% | 35.5% | 81.4% | 5.4% |
| | 学生 | 108 | 70.4% | 36.1% | 26.9% | 72.2% | 5.6% |
| | 無職 | 1,079 | 56.5% | 29.0% | 31.4% | 71.3% | 6.7% |
| | その他 | 393 | 47.6% | 18.6% | 35.1% | 72.5% | 13.5% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 50.9% | 18.2% | 34.8% | 76.4% | 8.1% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 56.7% | 23.3% | 28.3% | 74.8% | 6.4% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 43.3% | 18.2% | 36.8% | 76.6% | 8.7% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 48.2% | 16.3% | 34.4% | 77.8% | 7.9% |
| | その他 | 93 | 45.2% | 21.5% | 32.3% | 67.7% | 12.9% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 49.9% | 17.3% | 34.5% | 76.4% | 8.0% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 64.6% | 27.2% | 27.2% | 75.3% | 8.9% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 55.1% | 25.3% | 30.1% | 77.1% | 5.6% |
| | その他 | 289 | 51.6% | 19.4% | 30.8% | 76.5% | 12.1% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 47.3% | 15.9% | 35.5% | 77.3% | 8.6% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 58.2% | 23.0% | 31.1% | 74.0% | 6.8% |
| | バス | 857 | 51.7% | 21.0% | 33.4% | 78.6% | 6.8% |
| | ＪＲ | 426 | 56.3% | 19.2% | 31.9% | 74.4% | 6.3% |
| | 市電 | 82 | 48.8% | 19.5% | 32.9% | 70.7% | 9.8% |
| | 徒歩 | 901 | 56.9% | 23.9% | 28.6% | 74.9% | 6.8% |
| | 特になし | 11 | 36.4% | 18.2% | 36.4% | 63.6% | 0.0% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 52.0% | 18.0% | 35.0% | 75.2% | 7.9% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 50.1% | 19.3% | 33.9% | 76.9% | 7.4% |
| | バス | 2,028 | 51.3% | 18.9% | 34.3% | 77.0% | 8.3% |
| | ＪＲ | 841 | 53.3% | 16.9% | 32.5% | 77.8% | 6.5% |
| | 市電 | 181 | 58.0% | 19.3% | 26.5% | 76.8% | 8.3% |
| | 徒歩 | 1,627 | 52.9% | 20.1% | 32.6% | 75.2% | 7.9% |
| | 特になし | 430 | 40.7% | 13.0% | 35.8% | 78.6% | 8.8% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 51.5% | 19.5% | 35.0% | 73.9% | 8.2% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 52.6% | 18.2% | 35.3% | 77.4% | 8.8% |
| | バス | 1,484 | 50.7% | 18.3% | 35.0% | 76.5% | 6.5% |
| | ＪＲ | 784 | 54.2% | 20.8% | 34.6% | 78.4% | 7.5% |
| | 市電 | 135 | 60.7% | 28.9% | 28.1% | 78.5% | 7.4% |
| | 徒歩 | 2,299 | 52.5% | 19.2% | 32.2% | 77.0% | 7.6% |
| | 特になし | 1,346 | 44.7% | 15.8% | 32.5% | 76.7% | 7.9% |

■ 対象者全体と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【その他意見について（741件）】

先進技術の活用に向けた意見・・・「AIによる無人除雪機の開発を急ぐ」「作業の効率化もさることながら、ロボット化(自動化)も早めに進めるべきだと考えます」

労働環境・待遇の改善に関する意見・・・「お給料、手当の増額」「除雪従事者へ給与と安全面の保障を充実させてほしい、労働条件が良くなければ担い手は確保できません」

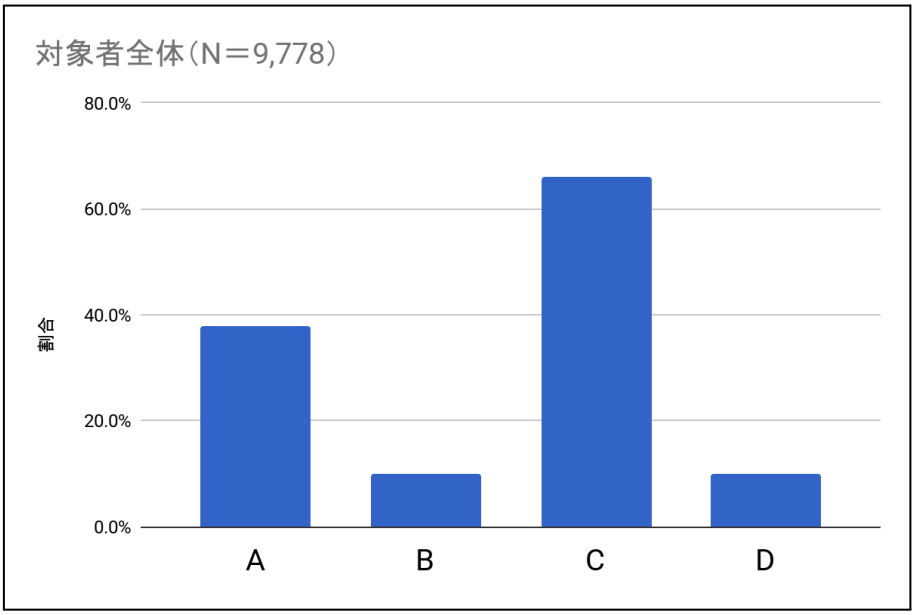
インフラ整備（融雪槽等）に関する意見・・・「お金がかかっても道路に融雪槽つくるべき」「一部で導入されている融雪溝を増やして、除排雪する大型機械の作業負担を減らせる」

市民・地域の協力に関する意見・・・「ボランティアの活用や町内会、地域での助け合いが行えるように、年配の方でも動ける方はいるので親睦を深めていくような活動の場があると良いと思う」

多様な人材の確保に関する意見・・・「札幌市職員の中で大型作業免許や運転免許を持つ人を募り、特別給与を与えて繁忙期に限り除雪に従事させる」「冬季に仕事のない職種の人に従事してもらう」

※　その他意見については、寄せられた意見を傾向別に分類し、傾向ごとの意見を抽出して掲載。以下同じ。

（1-2）持続可能な雪対策予算のあり方として、市はどのように対応すべきと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。




| | | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 作業の効率化や省力化により、コスト縮減を図るべき | 除排雪の作業量を縮減して、コスト縮減を図るべき | 他の予算を削減しても、現在の体制の維持に必要な雪対策予算は確保すべき | その他 |
| 対象者全体 | | 9,778 | 37.9% | 9.8% | 66.1% | 9.9% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 61.3% | 19.4% | 40.3% | 11.3% |
| | １８～１９歳 | 18 | 50.0% | 5.6% | 61.1% | 0.0% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 43.7% | 4.2% | 63.9% | 7.2% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 37.4% | 9.2% | 69.0% | 9.7% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 36.5% | 9.1% | 69.0% | 12.7% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 33.4% | 8.0% | 67.9% | 10.5% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 37.6% | 10.4% | 65.6% | 9.1% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 49.3% | 15.4% | 55.9% | 7.8% |
| | ７５歳以上 | 395 | 59.2% | 21.0% | 51.6% | 7.1% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 42.4% | 10.8% | 58.9% | 11.8% |
| | 北区 | 1,585 | 35.6% | 8.8% | 69.3% | 9.9% |
| | 東区 | 1,332 | 31.5% | 8.3% | 69.5% | 11.0% |
| | 白石区 | 863 | 35.1% | 9.5% | 68.8% | 10.2% |
| | 厚別区 | 479 | 47.8% | 10.6% | 60.1% | 7.5% |
| | 豊平区 | 1,051 | 40.0% | 12.2% | 63.1% | 9.8% |
| | 清田区 | 567 | 43.9% | 10.9% | 62.4% | 8.6% |
| | 南区 | 661 | 37.7% | 9.1% | 66.7% | 10.4% |
| | 西区 | 1,206 | 39.3% | 11.0% | 67.7% | 10.0% |
| | 手稲区 | 782 | 34.3% | 7.7% | 69.8% | 9.7% |
| | 市外 | 34 | 50.0% | 17.6% | 47.1% | 14.7% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 34.9% | 8.2% | 68.9% | 11.7% |
| | 公務員 | 701 | 52.2% | 19.7% | 51.8% | 9.3% |
| | 自営業 | 613 | 32.8% | 10.0% | 66.9% | 12.4% |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | パート・アルバイト | 1,599 | 32.6% | 6.6% | 71.4% | 7.5% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 37.2% | 7.9% | 70.0% | 6.4% |
| | 学生 | 108 | 60.2% | 16.7% | 48.1% | 5.6% |
| | 無職 | 1,079 | 49.7% | 16.0% | 56.0% | 8.3% |
| | その他 | 393 | 38.4% | 9.4% | 60.3% | 18.6% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 37.3% | 9.5% | 67.2% | 10.6% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 45.5% | 13.5% | 57.7% | 8.6% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 34.6% | 10.0% | 67.5% | 10.8% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 35.2% | 8.4% | 68.9% | 9.8% |
| | その他 | 93 | 39.8% | 10.8% | 53.8% | 16.1% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 36.6% | 9.1% | 67.7% | 10.4% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 46.8% | 12.7% | 59.5% | 8.9% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 45.4% | 14.2% | 56.7% | 7.2% |
| | その他 | 289 | 38.8% | 10.4% | 63.7% | 16.6% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 34.2% | 7.8% | 70.3% | 10.7% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 46.0% | 14.2% | 58.6% | 8.6% |
| | バス | 857 | 40.5% | 10.7% | 64.1% | 9.9% |
| | ＪＲ | 426 | 40.4% | 12.4% | 60.1% | 11.0% |
| | 市電 | 82 | 40.2% | 12.2% | 62.2% | 8.5% |
| | 徒歩 | 901 | 43.0% | 12.3% | 57.8% | 9.9% |
| | 特になし | 11 | 18.2% | 9.1% | 72.7% | 9.1% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 37.2% | 10.0% | 66.9% | 10.6% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 38.7% | 9.8% | 65.1% | 10.6% |
| | バス | 2,028 | 39.0% | 10.0% | 65.9% | 10.7% |
| | ＪＲ | 841 | 38.0% | 10.1% | 66.8% | 8.2% |
| | 市電 | 181 | 45.9% | 8.8% | 59.1% | 7.7% |
| | 徒歩 | 1,627 | 39.8% | 11.1% | 64.2% | 9.3% |
| | 特になし | 430 | 28.4% | 5.8% | 74.4% | 10.5% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 37.4% | 11.1% | 65.1% | 10.7% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 37.8% | 8.1% | 68.2% | 10.9% |
| | バス | 1,484 | 36.3% | 11.0% | 67.3% | 8.2% |
| | ＪＲ | 784 | 42.7% | 9.3% | 64.5% | 9.3% |
| | 市電 | 135 | 51.1% | 11.9% | 58.5% | 11.1% |
| | 徒歩 | 2,299 | 41.1% | 10.5% | 63.8% | 10.3% |
| | 特になし | 1,346 | 34.0% | 9.4% | 66.4% | 11.1% |

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【その他意見について（969件）】

予算の見直し・確保に関する意見・・・「他の予算を見直して無駄を削減し、雪対策に予算に当てて現在の体制を維持していく」「オリンピック誘致や箱物建設をやめて除雪の予算を確保する」

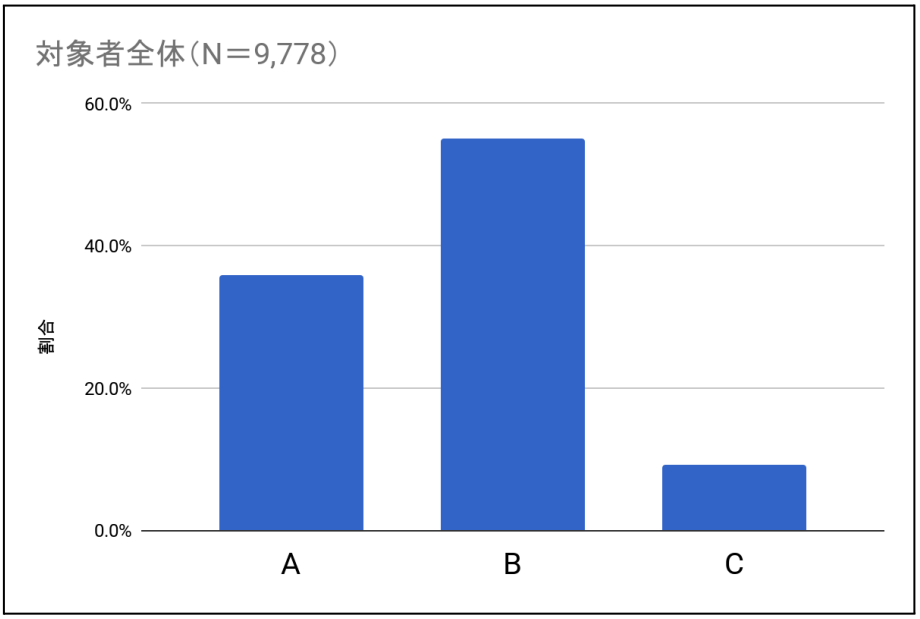
新たな財源確保・税制に関する意見・・・「除排雪税を新設し、市民や冬期観光客から徴収する」「ふるさと納税などによりほかの予算への影響を減らしつつ現状維持程度の予算を確保すべき」

効率化・インフラ整備に関する意見・・・「デジタル技術を活用して効率よくかつ合理的に除雪をしっかりと行うべき」「雪をエネルギー源として再利用する仕組みを作り予算を効率化」

市民・民間連携・補助金に関する意見・・・「民間の除排雪業者を利用してる顧客に補助金を出し、その分市の除排雪作業を軽減した方がいいと思う」「融雪槽などの設置に対する補助金制度を設ける」

除排雪体制の維持・強化を求める意見・・・「コスト削減という考えが出てくる意味がわからない。除雪対策は札幌の生命線です」「コスト削減ではなく除雪の充実を優先させた方が良い」

（1-3）持続可能な雪対策に向けた市民や企業の関わり方についてあなたはどうあるべきだと思いますか。

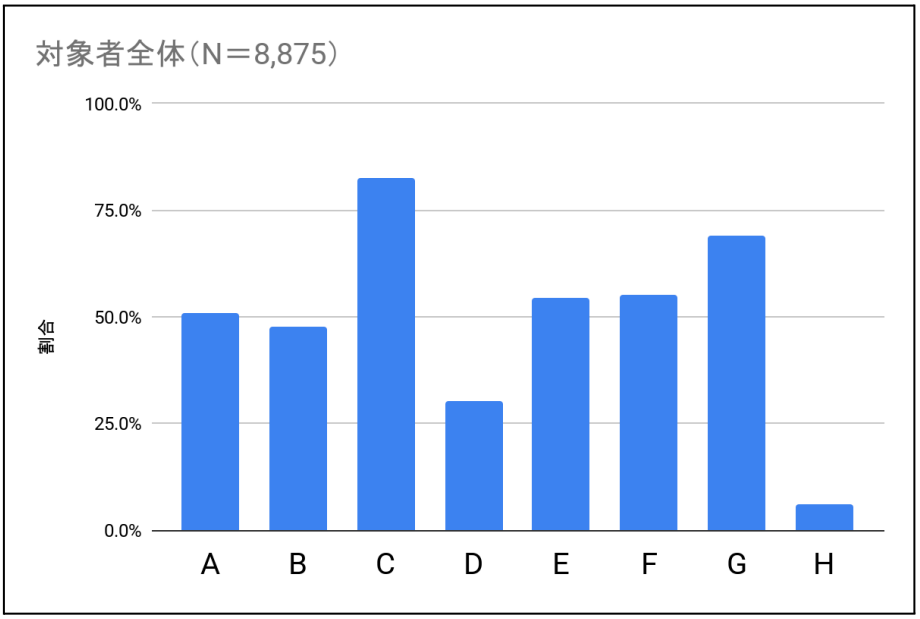



| | | | A | B | C |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 積極的に協力すべき | 無理のない範囲で協力すべき | 雪対策は行政がやるべきものであり、市民や企業の協力は必要ない |
| 対象者全体 | | 9,778 | 35.8% | 55.0% | 9.2% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 37.1% | 61.3% | 1.6% |
| | １８～１９歳 | 18 | 55.6% | 44.4% | 0.0% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 39.9% | 49.4% | 10.6% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 37.7% | 49.8% | 12.5% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 37.8% | 52.1% | 10.1% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 36.0% | 54.6% | 9.5% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 33.6% | 58.0% | 8.4% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 31.1% | 64.2% | 4.7% |
| | ７５歳以上 | 395 | 33.4% | 61.5% | 5.1% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 38.7% | 51.6% | 9.7% |
| | 北区 | 1,585 | 35.4% | 55.1% | 9.5% |
| | 東区 | 1,332 | 34.9% | 55.2% | 9.9% |
| | 白石区 | 863 | 37.2% | 54.1% | 8.7% |
| | 厚別区 | 479 | 34.0% | 59.1% | 6.9% |
| | 豊平区 | 1,051 | 35.6% | 55.6% | 8.8% |
| | 清田区 | 567 | 34.6% | 57.7% | 7.8% |
| | 南区 | 661 | 34.0% | 56.9% | 9.1% |
| | 西区 | 1,206 | 34.8% | 55.5% | 9.7% |
| | 手稲区 | 782 | 36.6% | 53.6% | 9.8% |
| | 市外 | 34 | 52.9% | 38.2% | 8.8% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 37.3% | 52.0% | 10.6% |
| | 公務員 | 701 | 48.9% | 44.8% | 6.3% |
| | 自営業 | 613 | 38.5% | 48.6% | 12.9% |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | パート・アルバイト | 1,599 | 31.4% | 61.7% | 6.9% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 31.0% | 60.6% | 8.3% |
| | 学生 | 108 | 38.0% | 59.3% | 2.8% |
| | 無職 | 1,079 | 32.2% | 61.2% | 6.7% |
| | その他 | 393 | 31.6% | 53.9% | 14.5% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 35.5% | 55.3% | 9.3% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 37.3% | 54.3% | 8.4% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 34.2% | 55.0% | 10.8% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 35.9% | 54.6% | 9.4% |
| | その他 | 93 | 32.3% | 55.9% | 11.8% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 36.3% | 54.2% | 9.6% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 40.5% | 53.8% | 5.7% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 33.6% | 59.5% | 6.8% |
| | その他 | 289 | 29.4% | 58.5% | 12.1% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 36.3% | 53.6% | 10.1% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 35.8% | 55.8% | 8.4% |
| | バス | 857 | 34.2% | 58.5% | 7.4% |
| | ＪＲ | 426 | 37.6% | 53.3% | 9.2% |
| | 市電 | 82 | 32.9% | 58.5% | 8.5% |
| | 徒歩 | 901 | 33.1% | 59.4% | 7.5% |
| | 特になし | 11 | 45.5% | 54.5% | 0.0% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 34.0% | 54.6% | 11.4% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 37.3% | 53.6% | 9.1% |
| | バス | 2,028 | 35.2% | 57.1% | 7.7% |
| | ＪＲ | 841 | 36.6% | 53.7% | 9.6% |
| | 市電 | 181 | 40.9% | 53.6% | 5.5% |
| | 徒歩 | 1,627 | 34.4% | 57.2% | 8.4% |
| | 特になし | 430 | 35.8% | 50.7% | 13.5% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 35.5% | 55.2% | 9.3% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 36.6% | 55.7% | 7.7% |
| | バス | 1,484 | 34.6% | 56.1% | 9.3% |
| | ＪＲ | 784 | 36.4% | 55.5% | 8.2% |
| | 市電 | 135 | 34.8% | 55.6% | 9.6% |
| | 徒歩 | 2,299 | 36.9% | 54.3% | 8.8% |
| | 特になし | 1,346 | 35.1% | 53.2% | 11.7% |

■ 対象者全体と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体と比較し10ポイント以上低い

（1-4）（1-3）で協力すべきと回答した方のうち、市民や企業ができると考えられる対応は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。




| | | | A | B | C | D | E | F | G | H |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 除雪作業で自宅前の歩道などに寄せられた雪を処理する | 時間にゆとりをもつなど、気象に合わせて行動する | 道路への雪出しや除雪作業の妨げとなる路上駐車をしない | 隣家の雪かきや福祉除雪への参加などのボランティア活動を行う | つるつる路面への砂まき | 気象に合わせた柔軟な働き方の推進 | 大雪時などに出勤抑制を実施するためのルールづくり | その他 |
| 対象者全体 | | 8,875 | 51.0% | 47.7% | 82.7% | 30.3% | 54.5% | 55.0% | 69.1% | 5.9% |
| 年齢 | １８歳未満 | 61 | 68.9% | 45.9% | 73.8% | 55.7% | 72.1% | 32.8% | 60.7% | 6.6% |
| | １８～１９歳 | 18 | 50.0% | 61.1% | 55.6% | 33.3% | 44.4% | 55.6% | 61.1% | 0.0% |
| | ２０～２９歳 | 235 | 45.1% | 51.9% | 73.6% | 25.5% | 54.5% | 66.0% | 71.5% | 4.7% |
| | ３０～３９歳 | 1,013 | 45.1% | 50.9% | 76.9% | 23.7% | 52.0% | 67.9% | 74.7% | 7.4% |
| | ４０～４９歳 | 1,925 | 47.7% | 51.4% | 80.8% | 29.7% | 53.6% | 64.2% | 76.1% | 8.1% |
| | ５０～５９歳 | 2,714 | 47.2% | 49.2% | 82.5% | 31.0% | 54.1% | 57.7% | 71.7% | 5.7% |
| | ６０～６９歳 | 1,983 | 55.3% | 45.3% | 86.9% | 31.4% | 57.0% | 47.8% | 62.5% | 4.3% |
| | ７０～７４歳 | 551 | 65.5% | 38.5% | 85.5% | 29.9% | 51.9% | 29.2% | 56.6% | 4.9% |
| | ７５歳以上 | 375 | 67.7% | 31.2% | 90.4% | 39.5% | 57.6% | 25.9% | 52.0% | 3.7% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,100 | 52.6% | 54.1% | 82.6% | 36.2% | 61.8% | 60.3% | 69.0% | 6.4% |
| | 北区 | 1,434 | 49.4% | 43.6% | 82.1% | 27.1% | 49.6% | 53.6% | 69.4% | 5.2% |
| | 東区 | 1,200 | 49.5% | 46.7% | 83.2% | 27.9% | 50.9% | 54.4% | 69.4% | 7.3% |
| | 白石区 | 788 | 52.0% | 48.2% | 82.6% | 31.6% | 56.1% | 57.2% | 66.9% | 5.7% |
| | 厚別区 | 446 | 54.0% | 46.9% | 84.8% | 27.1% | 54.3% | 54.0% | 72.4% | 4.5% |
| | 豊平区 | 958 | 49.4% | 51.8% | 80.8% | 30.7% | 58.1% | 54.1% | 68.7% | 4.7% |
| | 清田区 | 523 | 53.2% | 44.2% | 83.4% | 29.1% | 51.8% | 52.6% | 68.8% | 5.0% |
| | 南区 | 601 | 50.1% | 43.3% | 82.9% | 29.3% | 55.7% | 51.9% | 67.9% | 7.3% |
| | 西区 | 1,089 | 52.9% | 50.3% | 82.9% | 33.2% | 56.3% | 54.3% | 70.0% | 6.2% |
| | 手稲区 | 705 | 49.4% | 43.7% | 83.0% | 28.5% | 51.6% | 54.6% | 68.1% | 6.2% |
| | 市外 | 31 | 58.1% | 54.8% | 87.1% | 38.7% | 45.2% | 67.7% | 80.6% | 9.7% |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 職業 | 会社員 | 3,779 | 47.8% | 47.5% | 80.2% | 29.2% | 52.4% | 57.9% | 71.9% | 7.0% |
| | 公務員 | 657 | 54.2% | 57.7% | 81.1% | 26.3% | 49.6% | 68.9% | 74.7% | 6.5% |
| | 自営業 | 534 | 51.9% | 45.9% | 81.3% | 32.4% | 49.1% | 53.0% | 61.4% | 9.4% |
| | パート・アルバイト | 1,488 | 47.8% | 46.6% | 84.5% | 28.8% | 59.5% | 57.1% | 73.7% | 3.8% |
| | 主婦・主夫 | 969 | 51.7% | 50.7% | 89.2% | 30.3% | 62.5% | 53.7% | 68.6% | 3.3% |
| | 学生 | 105 | 61.0% | 54.3% | 73.3% | 51.4% | 61.0% | 49.5% | 62.9% | 4.8% |
| | 無職 | 1,007 | 63.7% | 41.2% | 86.3% | 35.8% | 52.2% | 36.5% | 55.6% | 4.4% |
| | その他 | 336 | 50.3% | 45.8% | 81.0% | 31.0% | 56.0% | 49.1% | 61.0% | 9.8% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,080 | 52.7% | 44.9% | 83.1% | 28.4% | 51.9% | 53.0% | 68.6% | 6.6% |
| | 持ち家（マンション） | 1,324 | 53.4% | 52.1% | 86.3% | 37.8% | 61.9% | 55.1% | 68.0% | 4.2% |
| | 賃貸（一戸建て） | 206 | 43.7% | 45.6% | 78.6% | 33.0% | 57.3% | 58.7% | 73.3% | 6.8% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,183 | 46.5% | 51.6% | 80.2% | 30.0% | 55.9% | 59.1% | 70.5% | 5.2% |
| | その他 | 82 | 47.6% | 42.7% | 74.4% | 26.8% | 56.1% | 54.9% | 67.1% | 11.0% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 7,339 | 50.5% | 46.6% | 83.1% | 29.3% | 53.2% | 54.2% | 69.1% | 6.0% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 149 | 48.3% | 55.7% | 77.9% | 31.5% | 57.7% | 59.7% | 68.5% | 4.7% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,133 | 53.4% | 52.4% | 80.0% | 35.0% | 61.2% | 59.0% | 68.8% | 4.9% |
| | その他 | 254 | 57.1% | 51.6% | 83.9% | 37.0% | 62.6% | 56.7% | 70.9% | 8.7% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,217 | 49.7% | 44.9% | 83.1% | 28.8% | 51.7% | 52.7% | 68.4% | 6.4% |
| | 地下鉄 | 1,558 | 51.8% | 53.6% | 81.7% | 32.7% | 59.2% | 62.1% | 70.7% | 4.9% |
| | バス | 794 | 52.4% | 45.1% | 81.4% | 26.6% | 53.4% | 51.6% | 70.8% | 5.3% |
| | ＪＲ | 387 | 50.4% | 49.4% | 82.4% | 25.8% | 49.9% | 61.2% | 71.8% | 4.9% |
| | 市電 | 75 | 56.0% | 46.7% | 84.0% | 37.3% | 66.7% | 49.3% | 62.7% | 10.7% |
| | 徒歩 | 833 | 56.4% | 55.5% | 83.3% | 40.7% | 65.8% | 57.3% | 68.1% | 5.4% |
| | 特になし | 11 | 45.5% | 45.5% | 72.7% | 18.2% | 45.5% | 27.3% | 45.5% | 0.0% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,397 | 51.7% | 45.3% | 81.2% | 28.7% | 53.3% | 55.3% | 67.8% | 5.5% |
| | 地下鉄 | 2,519 | 51.3% | 48.4% | 82.7% | 31.6% | 55.2% | 53.3% | 68.9% | 6.4% |
| | バス | 1,871 | 51.8% | 47.2% | 83.4% | 28.9% | 55.2% | 54.1% | 68.8% | 6.1% |
| | ＪＲ | 760 | 51.4% | 48.8% | 82.9% | 30.1% | 54.7% | 55.7% | 69.9% | 4.7% |
| | 市電 | 171 | 54.4% | 49.1% | 87.1% | 40.9% | 59.6% | 59.6% | 68.4% | 5.3% |
| | 徒歩 | 1,491 | 51.0% | 51.8% | 83.6% | 32.9% | 57.2% | 59.6% | 71.4% | 6.2% |
| | 特になし | 372 | 46.5% | 40.6% | 78.2% | 24.2% | 44.4% | 52.2% | 66.7% | 4.3% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,148 | 47.7% | 48.2% | 82.8% | 28.1% | 54.8% | 57.1% | 70.0% | 5.8% |
| | 地下鉄 | 1,681 | 51.7% | 49.0% | 83.8% | 31.4% | 56.6% | 54.8% | 69.1% | 6.6% |
| | バス | 1,346 | 53.8% | 48.0% | 82.6% | 32.7% | 56.2% | 53.9% | 68.2% | 5.3% |
| | ＪＲ | 720 | 56.4% | 50.4% | 82.6% | 33.8% | 55.7% | 60.0% | 72.2% | 5.4% |
| | 市電 | 122 | 50.8% | 55.7% | 87.7% | 40.2% | 62.3% | 63.9% | 71.3% | 5.7% |
| | 徒歩 | 2,097 | 52.0% | 48.3% | 83.5% | 31.0% | 54.8% | 54.9% | 69.1% | 5.6% |
| | 特になし | 1,188 | 47.4% | 45.2% | 80.1% | 26.8% | 50.8% | 52.1% | 68.4% | 5.6% |

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【その他意見について（526件）】

テレワーク・働き方の見直しに関する意見・・・「大雪時にはテレワークの推奨」「サマータイムのようにスノータイムを作り通勤時間をずらしたり用事をまとめて外出を控える」

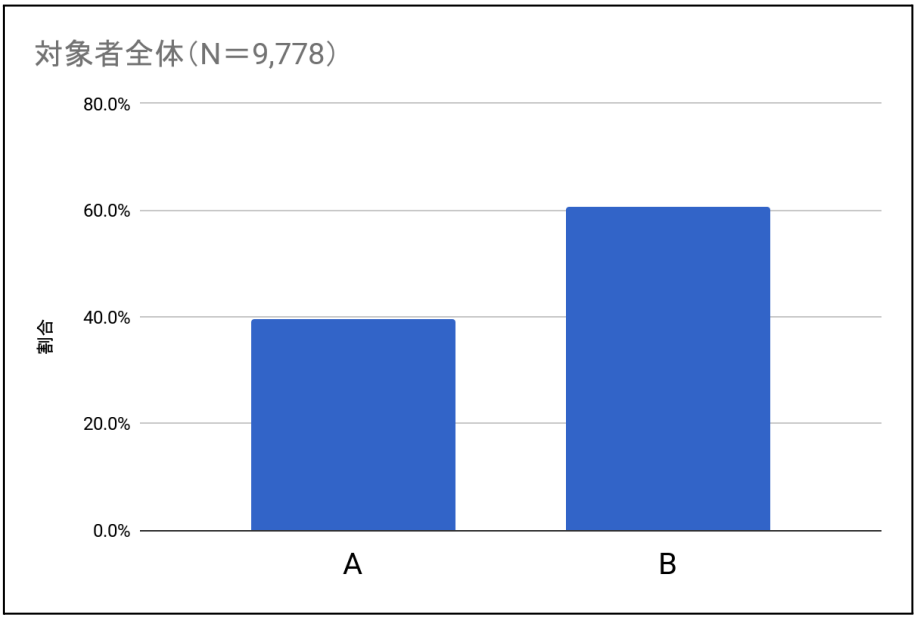
罰則・ルール強化に関する意見・・・「敷地内の雪を路上に排雪した場合に条例で罰金などを課す、特に路面店など事業主には厳しく」「除雪作業の妨げとなる路上駐車などは、警察と連携し厳しく取り締まる」

融雪・排雪インフラの整備に関する意見・・・「融雪槽などを整備して自助努力で雪を減らすインフラを構築する」「空き地や公園など利用して雪捨て場を作り道の雪を少なくする工夫」

ボランティア・地域連携・企業協力に関する意見・・・「地域或いは企業単位で周辺の除雪ボランティアを募り一定時間除雪活動を行う」「町内会のゴミステーション周りなどの除排雪を協力して行う。それに対しての札幌市からの支援があると望ましい」

補助金・費用負担に関する意見・・・「個人や企業の除雪機購入の補助金や安価で軽量化された除雪機を作ってほしい」「ボランティアではなく、有償で依頼する」

（1-5）現在、札幌市雪対策審議会を設置して、持続可能な雪対策のあり方についての検討を進めていることを知っていますか。

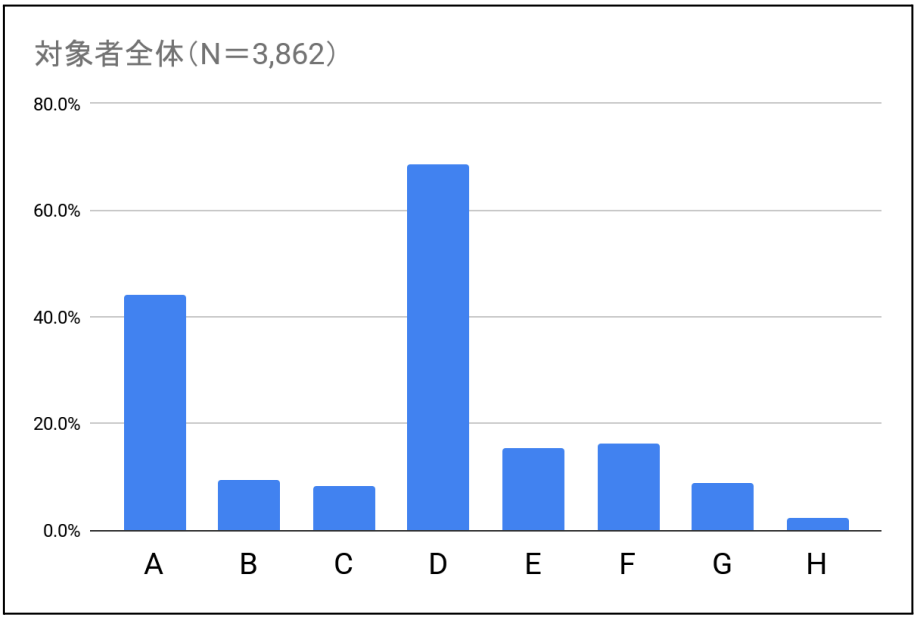



| | | | A | B |
|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 知っている | 知らない |
| 対象者全体 | | 9,778 | 39.5% | 60.5% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 43.5% | 56.5% |
| | １８～１９歳 | 18 | 50.0% | 50.0% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 30.4% | 69.6% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 29.4% | 70.6% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 31.8% | 68.2% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 36.3% | 63.7% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 47.2% | 52.8% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 59.0% | 41.0% |
| | ７５歳以上 | 395 | 68.9% | 31.1% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 37.8% | 62.2% |
| | 北区 | 1,585 | 41.3% | 58.7% |
| | 東区 | 1,332 | 36.5% | 63.5% |
| | 白石区 | 863 | 37.7% | 62.3% |
| | 厚別区 | 479 | 41.8% | 58.2% |
| | 豊平区 | 1,051 | 37.2% | 62.8% |
| | 清田区 | 567 | 45.7% | 54.3% |
| | 南区 | 661 | 40.5% | 59.5% |
| | 西区 | 1,206 | 40.5% | 59.5% |
| | 手稲区 | 782 | 40.2% | 59.8% |
| | 市外 | 34 | 47.1% | 52.9% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 34.8% | 65.2% |
| | 公務員 | 701 | 54.1% | 45.9% |
| | 自営業 | 613 | 40.9% | 59.1% |
| | パート・アルバイト | 1,599 | 30.9% | 69.1% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 40.0% | 60.0% |
| | 学生 | 108 | 38.9% | 61.1% |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 無職 | 1,079 | 58.6% | 41.4% |
| | その他 | 393 | 43.0% | 57.0% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 42.7% | 57.3% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 41.4% | 58.6% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 35.9% | 64.1% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 31.4% | 68.6% |
| | その他 | 93 | 35.5% | 64.5% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 39.8% | 60.2% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 39.2% | 60.8% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 38.8% | 61.2% |
| | その他 | 289 | 34.9% | 65.1% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 38.8% | 61.2% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 40.5% | 59.5% |
| | バス | 857 | 44.2% | 55.8% |
| | ＪＲ | 426 | 38.0% | 62.0% |
| | 市電 | 82 | 41.5% | 58.5% |
| | 徒歩 | 901 | 38.2% | 61.8% |
| | 特になし | 11 | 27.3% | 72.7% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 39.1% | 60.9% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 40.5% | 59.5% |
| | バス | 2,028 | 42.4% | 57.6% |
| | ＪＲ | 841 | 40.4% | 59.6% |
| | 市電 | 181 | 33.7% | 66.3% |
| | 徒歩 | 1,627 | 37.0% | 63.0% |
| | 特になし | 430 | 33.7% | 66.3% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 41.3% | 58.7% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 40.1% | 59.9% |
| | バス | 1,484 | 39.8% | 60.2% |
| | ＪＲ | 784 | 43.2% | 56.8% |
| | 市電 | 135 | 43.0% | 57.0% |
| | 徒歩 | 2,299 | 41.0% | 59.0% |
| | 特になし | 1,346 | 34.0% | 66.0% |

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

（1-6）（1-5）で知っていると回答した方のうち、どのような方法で知りましたか。
あてはまるものをいくつでも選択してください。




| | | | A | B | C | D | E | F | G | H |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 新聞・テレビ | ＳＮＳ広告・投稿（Instagram/X/Facebook/TikTok/LINEなど） | インターネット検索（Google/Yahoo!など） | 広報さっぽろ | 市公式SNS（Instagram/X/LINE） | 市公式ホームページ | 町内会の回覧 | その他 |
| 対象者全体 | | 3,862 | 44.1% | 9.5% | 8.2% | 68.6% | 15.4% | 16.2% | 8.7% | 2.4% |
| 年齢 | １８歳未満 | 27 | 33.3% | 11.1% | 14.8% | 14.8% | 3.7% | 7.4% | 7.4% | 55.6% |
| | １８～１９歳 | 9 | 55.6% | 33.3% | 22.2% | 55.6% | 0.0% | 22.2% | 11.1% | 0.0% |
| | ２０～２９歳 | 80 | 38.8% | 15.0% | 12.5% | 48.8% | 15.0% | 12.5% | 0.0% | 3.8% |
| | ３０～３９歳 | 341 | 37.0% | 17.9% | 12.0% | 52.2% | 16.1% | 11.4% | 2.9% | 2.9% |
| | ４０～４９歳 | 681 | 34.9% | 10.9% | 11.5% | 65.9% | 15.6% | 13.2% | 5.0% | 2.6% |
| | ５０～５９歳 | 1,089 | 42.8% | 10.2% | 7.8% | 65.0% | 16.3% | 13.9% | 7.1% | 2.0% |
| | ６０～６９歳 | 1,022 | 49.2% | 7.4% | 6.6% | 74.2% | 15.4% | 19.2% | 8.8% | 1.5% |
| | ７０～７４歳 | 341 | 52.5% | 4.7% | 5.0% | 80.1% | 12.3% | 21.1% | 19.4% | 0.6% |
| | ７５歳以上 | 272 | 54.4% | 3.7% | 4.8% | 87.1% | 16.5% | 23.5% | 21.0% | 2.6% |
| 住まい（区） | 中央区 | 460 | 40.4% | 9.6% | 9.1% | 70.2% | 14.8% | 17.4% | 2.8% | 2.0% |
| | 北区 | 655 | 45.5% | 9.6% | 8.2% | 68.9% | 16.2% | 15.7% | 8.7% | 1.5% |
| | 東区 | 486 | 42.0% | 8.2% | 8.8% | 67.1% | 14.6% | 13.4% | 9.3% | 1.9% |
| | 白石区 | 325 | 46.5% | 9.5% | 7.4% | 68.3% | 18.5% | 19.1% | 7.4% | 2.8% |
| | 厚別区 | 200 | 50.0% | 9.5% | 6.0% | 72.0% | 14.5% | 14.0% | 13.0% | 1.5% |
| | 豊平区 | 391 | 43.5% | 10.2% | 6.9% | 63.7% | 16.1% | 15.1% | 7.4% | 2.6% |
| | 清田区 | 259 | 44.0% | 9.3% | 6.2% | 69.9% | 16.2% | 17.8% | 14.3% | 1.5% |
| | 南区 | 268 | 45.1% | 9.0% | 8.2% | 75.7% | 12.7% | 20.5% | 10.4% | 2.2% |
| | 西区 | 488 | 41.6% | 8.4% | 9.2% | 68.2% | 13.9% | 15.2% | 8.6% | 5.5% |
| | 手稲区 | 314 | 48.4% | 11.8% | 8.6% | 67.8% | 16.6% | 15.6% | 11.5% | 1.3% |
| | 市外 | 16 | 37.5% | 18.8% | 31.3% | 37.5% | 18.8% | 31.3% | 0.0% | 6.3% |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 職業 | 会社員 | 1,472 | 40.5% | 11.9% | 9.9% | 63.5% | 16.2% | 15.6% | 5.5% | 2.3% |
| | 公務員 | 379 | 44.6% | 7.1% | 9.8% | 65.2% | 16.4% | 20.3% | 5.3% | 2.1% |
| | 自営業 | 251 | 41.0% | 10.0% | 10.4% | 65.7% | 15.5% | 17.5% | 11.2% | 2.8% |
| | パート・アルバイト | 494 | 44.3% | 10.3% | 6.1% | 72.5% | 12.6% | 12.1% | 8.3% | 1.6% |
| | 主婦・主夫 | 423 | 44.4% | 8.5% | 5.0% | 75.4% | 16.8% | 13.0% | 10.9% | 1.4% |
| | 学生 | 42 | 38.1% | 14.3% | 11.9% | 35.7% | 4.8% | 9.5% | 4.8% | 35.7% |
| | 無職 | 632 | 52.2% | 4.7% | 5.5% | 78.0% | 14.2% | 20.4% | 15.3% | 1.3% |
| | その他 | 169 | 49.7% | 9.5% | 10.1% | 70.4% | 18.9% | 16.0% | 13.0% | 3.6% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 2,391 | 47.9% | 8.4% | 7.8% | 67.5% | 14.9% | 16.5% | 11.7% | 2.2% |
| | 持ち家（マンション） | 599 | 40.4% | 9.8% | 7.0% | 76.0% | 15.5% | 16.4% | 5.7% | 2.7% |
| | 賃貸（一戸建て） | 83 | 48.2% | 9.6% | 10.8% | 68.7% | 19.3% | 22.9% | 8.4% | 1.2% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 756 | 35.2% | 12.7% | 9.8% | 66.9% | 17.1% | 13.9% | 1.7% | 2.6% |
| | その他 | 33 | 33.3% | 3.0% | 15.2% | 57.6% | 3.0% | 30.3% | 9.1% | 9.1% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 3,227 | 44.9% | 9.3% | 8.2% | 67.7% | 15.2% | 16.1% | 9.1% | 2.4% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 62 | 32.3% | 4.8% | 8.1% | 72.6% | 19.4% | 27.4% | 1.6% | 3.2% |
| | 利用する機会はほとんどない | 472 | 41.5% | 11.4% | 7.8% | 72.5% | 16.1% | 15.0% | 6.8% | 2.8% |
| | その他 | 101 | 38.6% | 7.9% | 8.9% | 78.2% | 17.8% | 17.8% | 10.9% | 1.0% |
| 冬の主な交通手段について【1つ目】 | 車 | 2,251 | 43.5% | 9.2% | 8.0% | 68.1% | 15.9% | 16.5% | 9.6% | 2.4% |
| | 地下鉄 | 689 | 46.2% | 9.9% | 8.9% | 68.8% | 14.1% | 17.0% | 5.4% | 2.6% |
| | バス | 379 | 47.2% | 8.7% | 5.3% | 68.9% | 16.1% | 15.6% | 12.4% | 1.3% |
| | ＪＲ | 162 | 46.9% | 11.1% | 13.6% | 63.0% | 15.4% | 14.2% | 8.6% | 0.6% |
| | 市電 | 34 | 52.9% | 11.8% | 8.8% | 79.4% | 17.6% | 8.8% | 0.0% | 2.9% |
| | 徒歩 | 344 | 39.0% | 10.5% | 8.7% | 73.5% | 14.5% | 14.8% | 7.0% | 3.8% |
| | 特になし | 3 | 0.0% | 0.0% | 33.3% | 33.3% | 0.0% | 33.3% | 0.0% | 33.3% |
| 冬の主な交通手段について【2つ目】 | 車 | 616 | 47.2% | 10.1% | 10.7% | 64.1% | 13.3% | 14.6% | 5.8% | 2.6% |
| | 地下鉄 | 1,124 | 41.4% | 11.2% | 8.0% | 69.0% | 16.5% | 16.8% | 9.8% | 2.1% |
| | バス | 860 | 47.7% | 8.8% | 7.6% | 72.7% | 16.2% | 16.9% | 11.5% | 1.5% |
| | ＪＲ | 340 | 48.2% | 9.1% | 6.8% | 68.2% | 13.8% | 18.2% | 10.6% | 2.4% |
| | 市電 | 61 | 54.1% | 8.2% | 8.2% | 70.5% | 8.2% | 8.2% | 6.6% | 3.3% |
| | 徒歩 | 602 | 40.2% | 6.3% | 8.1% | 71.4% | 17.6% | 16.3% | 6.3% | 2.8% |
| | 特になし | 145 | 35.9% | 10.3% | 5.5% | 60.7% | 11.7% | 12.4% | 4.8% | 4.1% |
| 冬の主な交通手段について【3つ目】 | 車 | 523 | 44.0% | 9.9% | 8.0% | 65.0% | 17.4% | 17.0% | 8.2% | 1.7% |
| | 地下鉄 | 730 | 44.2% | 7.8% | 6.8% | 73.6% | 15.9% | 17.3% | 10.4% | 1.8% |
| | バス | 590 | 44.1% | 10.2% | 9.3% | 70.7% | 14.7% | 17.6% | 10.7% | 3.6% |
| | ＪＲ | 339 | 43.7% | 10.9% | 8.8% | 73.5% | 19.8% | 15.3% | 10.6% | 0.6% |
| | 市電 | 58 | 41.4% | 8.6% | 8.6% | 69.0% | 15.5% | 17.2% | 1.7% | 0.0% |
| | 徒歩 | 942 | 47.9% | 9.2% | 8.7% | 67.7% | 14.2% | 16.0% | 8.3% | 2.4% |
| | 特になし | 457 | 38.9% | 9.4% | 8.1% | 65.0% | 14.0% | 12.5% | 6.3% | 3.9% |

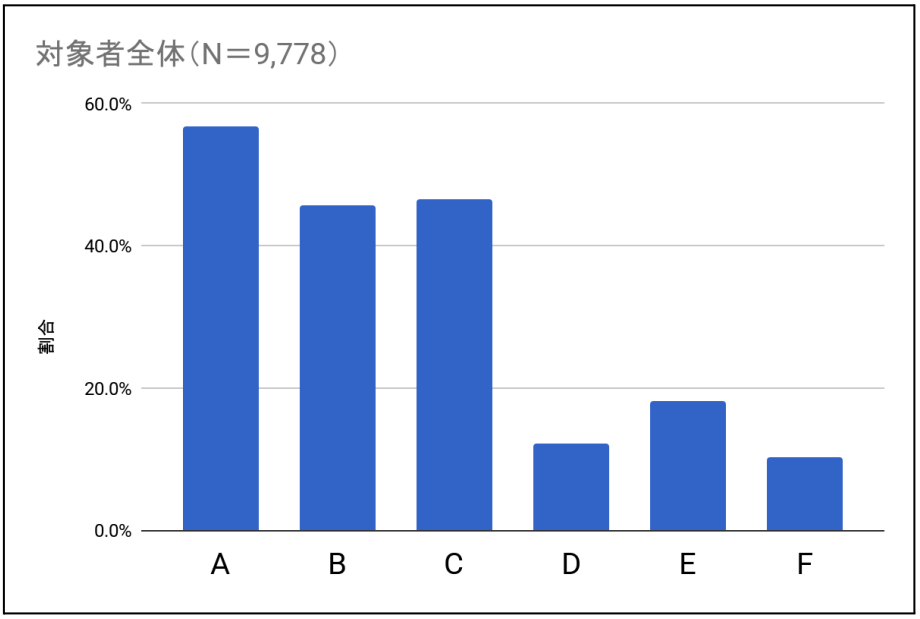
対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【その他意見について（92件）】

職場・業務・除雪関係者からの情報、学校・教育機関での学習、地域活動や人からの口コミ

## 【２．昨冬の大雪の対応】

(2-1)令和８年１月下旬の大雪の際に、あなたがとった行動は何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。

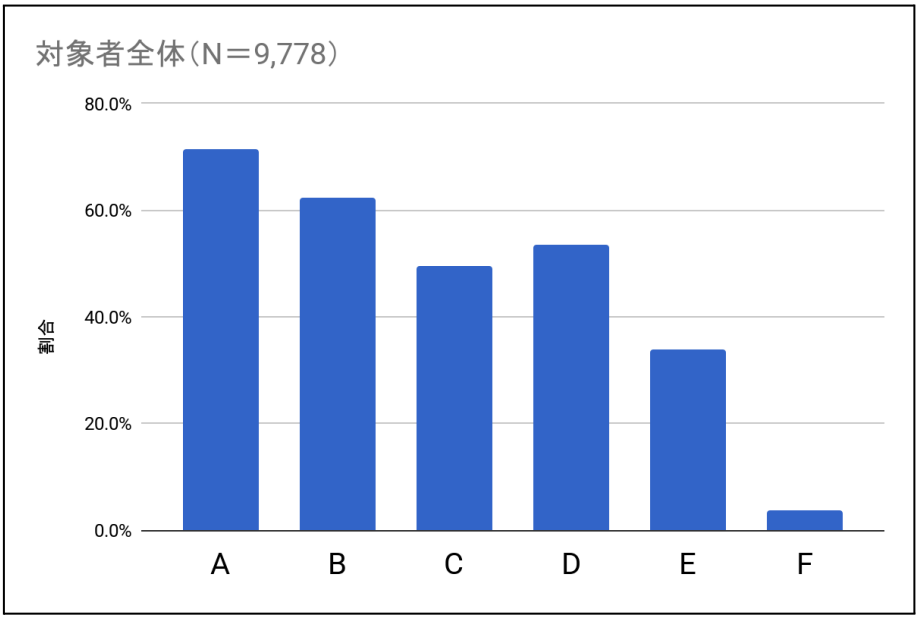



| | | | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 不要不急の外出を控えた | 車による外出を控えた | 通勤・通学時に出発時間を早めるなど時間に余裕を持った行動をとった | 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務や授業の形態を変えた | 地域で協力して除雪作業などを行った | 特に普段と違う行動はとらなかった |
| 対象者全体 | | 9,778 | 56.8% | 45.7% | 46.5% | 12.2% | 18.0% | 10.2% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 56.5% | 17.7% | 40.3% | 14.5% | 16.1% | 24.2% |
| | １８～１９歳 | 18 | 55.6% | 22.2% | 38.9% | 16.7% | 22.2% | 11.1% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 49.8% | 33.5% | 56.7% | 13.7% | 17.1% | 12.9% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 51.0% | 39.0% | 49.7% | 16.1% | 15.2% | 13.4% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 54.5% | 44.0% | 52.9% | 15.9% | 19.2% | 10.2% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 50.8% | 43.2% | 53.9% | 12.3% | 15.6% | 10.3% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 62.5% | 50.1% | 40.5% | 9.4% | 18.7% | 7.9% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 75.1% | 64.4% | 19.9% | 5.4% | 24.7% | 8.1% |
| | ７５歳以上 | 395 | 79.7% | 56.5% | 12.9% | 4.6% | 25.6% | 11.9% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 57.3% | 43.4% | 45.3% | 13.5% | 13.9% | 12.6% |
| | 北区 | 1,585 | 56.2% | 45.4% | 45.5% | 13.2% | 18.7% | 9.2% |
| | 東区 | 1,332 | 56.5% | 48.9% | 45.2% | 11.9% | 21.5% | 9.8% |
| | 白石区 | 863 | 55.5% | 44.3% | 53.1% | 10.1% | 19.6% | 9.6% |
| | 厚別区 | 479 | 63.5% | 51.4% | 41.3% | 12.7% | 19.0% | 8.4% |
| | 豊平区 | 1,051 | 55.4% | 46.4% | 47.3% | 9.7% | 15.2% | 11.8% |
| | 清田区 | 567 | 60.3% | 48.1% | 50.8% | 11.1% | 16.9% | 6.2% |
| | 南区 | 661 | 51.6% | 39.2% | 47.0% | 9.1% | 15.4% | 15.1% |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 西区 | 1,206 | 56.1% | 45.9% | 47.3% | 14.5% | 17.2% | 9.6% |
| | 手稲区 | 782 | 61.3% | 45.0% | 43.1% | 14.1% | 23.1% | 8.3% |
| | 市外 | 34 | 41.2% | 47.1% | 44.1% | 14.7% | 14.7% | 17.6% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 44.0% | 37.9% | 57.5% | 17.5% | 15.4% | 11.4% |
| | 公務員 | 701 | 45.4% | 40.7% | 60.2% | 12.4% | 12.1% | 13.3% |
| | 自営業 | 613 | 61.8% | 47.8% | 33.6% | 17.8% | 31.8% | 10.4% |
| | パート・アルバイト | 1,599 | 62.3% | 48.7% | 57.2% | 6.8% | 16.8% | 7.1% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 84.0% | 64.9% | 24.2% | 5.5% | 21.2% | 4.4% |
| | 学生 | 108 | 55.6% | 19.4% | 47.2% | 15.7% | 15.7% | 23.1% |
| | 無職 | 1,079 | 77.5% | 57.7% | 11.0% | 3.1% | 21.7% | 12.1% |
| | その他 | 393 | 56.2% | 46.6% | 38.2% | 10.7% | 22.6% | 11.7% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 58.3% | 50.0% | 44.6% | 13.1% | 22.0% | 8.6% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 59.5% | 46.7% | 44.2% | 11.1% | 10.0% | 11.3% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 54.5% | 39.4% | 53.7% | 13.9% | 21.2% | 6.5% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 52.4% | 36.3% | 52.1% | 10.7% | 13.3% | 13.5% |
| | その他 | 93 | 52.7% | 32.3% | 39.8% | 8.6% | 21.5% | 15.1% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 56.2% | 51.2% | 47.2% | 12.5% | 19.1% | 8.9% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 53.2% | 28.5% | 45.6% | 18.4% | 12.7% | 14.6% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 60.7% | 17.3% | 43.8% | 10.6% | 12.1% | 17.2% |
| | その他 | 289 | 61.9% | 21.5% | 39.4% | 9.3% | 16.6% | 15.9% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 55.6% | 47.9% | 48.4% | 11.1% | 20.0% | 8.6% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 55.6% | 43.2% | 44.6% | 13.4% | 13.7% | 14.8% |
| | バス | 857 | 61.3% | 40.5% | 45.6% | 15.4% | 18.0% | 9.6% |
| | ＪＲ | 426 | 54.2% | 42.5% | 51.2% | 23.2% | 12.7% | 10.3% |
| | 市電 | 82 | 58.5% | 45.1% | 43.9% | 7.3% | 13.4% | 12.2% |
| | 徒歩 | 901 | 64.0% | 43.5% | 37.5% | 9.5% | 16.3% | 12.3% |
| | 特になし | 11 | 54.5% | 18.2% | 9.1% | 18.2% | 18.2% | 27.3% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 53.2% | 51.4% | 44.3% | 12.6% | 16.8% | 11.6% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 57.3% | 47.5% | 47.5% | 13.8% | 17.9% | 8.8% |
| | バス | 2,028 | 59.2% | 43.6% | 46.6% | 11.5% | 19.0% | 8.8% |
| | ＪＲ | 841 | 58.1% | 44.6% | 45.7% | 14.7% | 18.3% | 9.0% |
| | 市電 | 181 | 54.7% | 40.3% | 42.5% | 10.5% | 18.8% | 13.3% |
| | 徒歩 | 1,627 | 61.0% | 48.1% | 45.8% | 10.1% | 18.1% | 11.1% |
| | 特になし | 430 | 44.4% | 28.8% | 49.1% | 9.8% | 20.2% | 16.5% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 53.6% | 45.7% | 46.8% | 12.3% | 16.8% | 11.5% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 60.9% | 49.3% | 47.4% | 12.5% | 20.1% | 7.6% |
| | バス | 1,484 | 57.9% | 49.3% | 47.9% | 12.9% | 16.6% | 9.5% |
| | ＪＲ | 784 | 61.6% | 46.4% | 43.6% | 13.5% | 20.7% | 8.4% |
| | 市電 | 135 | 57.8% | 40.7% | 48.1% | 17.0% | 15.6% | 11.1% |
| | 徒歩 | 2,299 | 59.0% | 48.9% | 44.2% | 12.0% | 19.0% | 9.4% |
| | 特になし | 1,346 | 49.9% | 36.4% | 47.0% | 11.1% | 16.9% | 14.3% |

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

(2-2)今後、今回（令和８年１月下旬）のような大雪となった際、どのような行動をとるべきだと考えますか。あてはまるものをいくつでも選択してください。

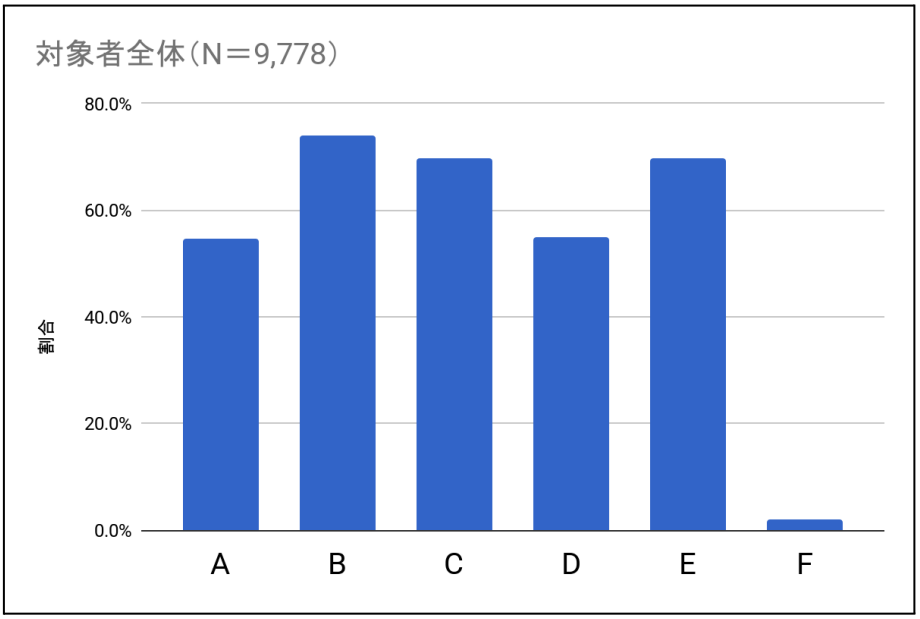



| | | | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 不要不急の外出を控える | 車による外出を控える | 通勤・通学時に出発時間を早めるなど時間に余裕を持った行動をとる | 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務や授業の形態を変える | 地域で協力して除雪作業などを行う | 特に普段と違う行動はとる必要はない |
| 対象者全体 | | 9,778 | 71.5% | 62.2% | 49.5% | 53.4% | 34.0% | 3.6% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 66.1% | 48.4% | 61.3% | 46.8% | 48.4% | 12.9% |
| | １８～１９歳 | 18 | 50.0% | 38.9% | 55.6% | 61.1% | 50.0% | 0.0% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 63.1% | 47.1% | 54.4% | 50.2% | 33.1% | 4.2% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 65.8% | 54.1% | 50.9% | 57.9% | 30.5% | 5.5% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 69.7% | 59.9% | 53.8% | 58.8% | 34.9% | 3.4% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 68.4% | 59.8% | 54.4% | 55.3% | 30.3% | 3.5% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 75.5% | 68.3% | 45.6% | 49.8% | 35.7% | 2.6% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 83.7% | 76.5% | 31.3% | 42.4% | 41.5% | 2.8% |
| | ７５歳以上 | 395 | 88.9% | 75.9% | 28.1% | 35.9% | 43.8% | 4.1% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 71.0% | 62.1% | 50.3% | 56.7% | 35.2% | 4.6% |
| | 北区 | 1,585 | 72.2% | 61.3% | 47.0% | 54.8% | 33.2% | 4.0% |
| | 東区 | 1,332 | 70.4% | 65.4% | 48.5% | 51.4% | 35.2% | 3.2% |
| | 白石区 | 863 | 70.9% | 58.6% | 54.3% | 49.2% | 35.2% | 3.7% |
| | 厚別区 | 479 | 77.7% | 72.2% | 49.1% | 54.1% | 35.7% | 1.9% |
| | 豊平区 | 1,051 | 69.9% | 64.4% | 51.3% | 53.0% | 33.5% | 4.0% |
| | 清田区 | 567 | 74.1% | 62.6% | 50.4% | 53.6% | 31.2% | 2.5% |
| | 南区 | 661 | 68.7% | 53.9% | 51.6% | 51.1% | 30.0% | 4.1% |
| | 西区 | 1,206 | 71.3% | 61.9% | 49.5% | 55.2% | 32.8% | 3.5% |
| | 手稲区 | 782 | 72.5% | 60.9% | 45.8% | 51.5% | 36.8% | 2.7% |
| | 市外 | 34 | 67.6% | 64.7% | 38.2% | 88.2% | 35.3% | 2.9% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 63.2% | 55.4% | 54.9% | 55.2% | 30.5% | 3.9% |
| | 公務員 | 701 | 68.5% | 58.9% | 59.5% | 60.3% | 27.8% | 3.6% |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 自営業 | 613 | 71.3% | 60.5% | 40.9% | 49.4% | 41.3% | 5.4% |
| | パート・アルバイト | 1,599 | 75.6% | 65.2% | 56.7% | 53.3% | 33.9% | 2.0% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 88.3% | 78.5% | 38.1% | 57.9% | 38.9% | 1.1% |
| | 学生 | 108 | 61.1% | 40.7% | 59.3% | 54.6% | 45.4% | 12.0% |
| | 無職 | 1,079 | 85.5% | 75.3% | 28.5% | 42.4% | 41.9% | 4.0% |
| | その他 | 393 | 68.4% | 58.0% | 43.8% | 47.3% | 32.8% | 6.4% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 72.7% | 64.0% | 47.9% | 53.1% | 35.3% | 3.0% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 73.8% | 66.8% | 49.1% | 55.2% | 33.5% | 3.8% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 73.6% | 58.4% | 58.4% | 56.7% | 36.4% | 3.0% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 67.0% | 55.9% | 53.1% | 53.0% | 31.2% | 4.6% |
| | その他 | 93 | 72.0% | 51.6% | 40.9% | 48.4% | 31.2% | 6.5% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 71.2% | 64.4% | 49.4% | 52.7% | 33.5% | 3.3% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 69.0% | 55.1% | 55.1% | 60.1% | 36.7% | 4.4% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 73.4% | 50.9% | 50.0% | 57.7% | 36.0% | 4.7% |
| | その他 | 289 | 72.0% | 51.2% | 48.8% | 53.3% | 38.4% | 6.9% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 70.4% | 61.1% | 49.6% | 50.5% | 33.5% | 3.6% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 71.5% | 64.7% | 51.4% | 58.4% | 34.1% | 4.1% |
| | バス | 857 | 75.6% | 61.3% | 47.3% | 58.9% | 31.7% | 2.7% |
| | ＪＲ | 426 | 70.4% | 59.9% | 48.1% | 60.3% | 30.0% | 4.0% |
| | 市電 | 82 | 76.8% | 63.4% | 50.0% | 48.8% | 34.1% | 1.2% |
| | 徒歩 | 901 | 75.2% | 66.3% | 48.5% | 54.9% | 40.8% | 3.0% |
| | 特になし | 11 | 45.5% | 72.7% | 27.3% | 45.5% | 27.3% | 0.0% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 68.7% | 64.5% | 47.1% | 51.0% | 31.9% | 4.1% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 72.7% | 63.3% | 51.0% | 54.3% | 34.6% | 3.2% |
| | バス | 2,028 | 72.4% | 62.2% | 49.4% | 53.5% | 34.1% | 3.0% |
| | ＪＲ | 841 | 72.2% | 61.4% | 47.2% | 57.0% | 34.5% | 3.4% |
| | 市電 | 181 | 68.5% | 68.0% | 53.0% | 54.7% | 39.2% | 3.9% |
| | 徒歩 | 1,627 | 74.9% | 65.0% | 50.2% | 55.5% | 38.0% | 3.4% |
| | 特になし | 430 | 61.9% | 47.7% | 47.9% | 49.3% | 27.4% | 6.0% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 68.6% | 62.5% | 49.1% | 53.9% | 32.5% | 3.9% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 73.3% | 64.6% | 51.0% | 54.1% | 35.4% | 2.1% |
| | バス | 1,484 | 74.3% | 64.5% | 51.2% | 54.0% | 36.1% | 3.1% |
| | ＪＲ | 784 | 75.9% | 63.6% | 47.4% | 56.9% | 38.1% | 2.8% |
| | 市電 | 135 | 77.0% | 65.9% | 56.3% | 57.0% | 34.1% | 5.2% |
| | 徒歩 | 2,299 | 72.6% | 65.6% | 48.9% | 54.0% | 36.2% | 3.2% |
| | 特になし | 1,346 | 66.9% | 54.4% | 47.0% | 51.3% | 29.6% | 5.6% |

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

(2-3)大雪時などに行動を変えるためにはどのような情報や仕組みが必要ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。

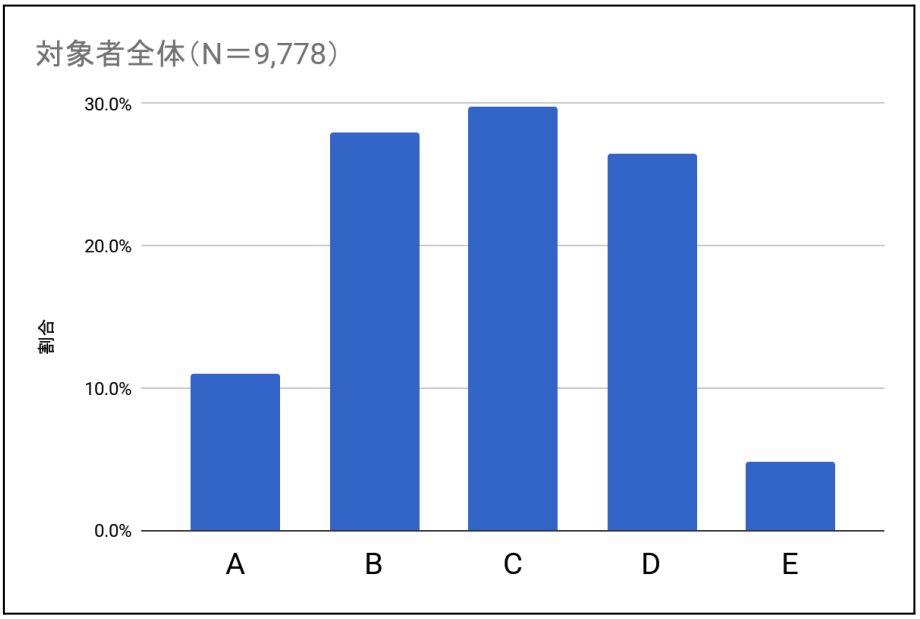



| | | | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 正確な気象予報の情報 | 除排雪作業の予定や実施状況などの情報 | バスや鉄道などの運休情報 | 市民に外出を控えるなどの行動変容を促す、市からの情報 | 企業における出勤抑制を実施するための仕組み | 今の情報で足りている |
| 対象者全体 | | 9,778 | 54.6% | 73.9% | 69.7% | 54.8% | 69.6% | 2.1% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 66.1% | 58.1% | 74.2% | 37.1% | 35.5% | 1.6% |
| | １８～１９歳 | 18 | 50.0% | 55.6% | 72.2% | 61.1% | 55.6% | 5.6% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 46.0% | 75.3% | 66.2% | 52.9% | 68.8% | 2.7% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 48.7% | 75.8% | 66.2% | 54.1% | 78.3% | 2.0% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 48.8% | 74.0% | 69.5% | 57.0% | 76.8% | 2.4% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 54.8% | 71.8% | 71.1% | 53.9% | 73.1% | 1.9% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 59.6% | 75.1% | 70.6% | 53.7% | 63.5% | 1.6% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 64.0% | 76.0% | 67.5% | 55.0% | 48.1% | 3.1% |
| | ７５歳以上 | 395 | 65.8% | 75.4% | 70.1% | 61.5% | 49.1% | 2.8% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 52.4% | 70.8% | 70.4% | 56.0% | 69.5% | 2.8% |
| | 北区 | 1,585 | 54.8% | 75.9% | 71.4% | 54.3% | 68.3% | 1.9% |
| | 東区 | 1,332 | 55.0% | 74.2% | 66.5% | 54.4% | 68.8% | 2.2% |
| | 白石区 | 863 | 52.7% | 75.2% | 66.7% | 56.0% | 68.7% | 1.6% |
| | 厚別区 | 479 | 61.6% | 73.3% | 76.6% | 57.8% | 70.8% | 1.3% |
| | 豊平区 | 1,051 | 54.0% | 73.1% | 67.7% | 54.7% | 70.8% | 2.4% |
| | 清田区 | 567 | 53.4% | 75.7% | 70.4% | 51.5% | 71.1% | 1.2% |
| | 南区 | 661 | 53.6% | 72.8% | 65.7% | 53.0% | 66.7% | 3.3% |
| | 西区 | 1,206 | 55.6% | 73.2% | 70.6% | 55.4% | 70.1% | 1.9% |
| | 手稲区 | 782 | 56.8% | 74.9% | 73.8% | 54.2% | 72.8% | 1.7% |
| | 市外 | 34 | 35.3% | 64.7% | 70.6% | 67.6% | 76.5% | 0.0% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 51.1% | 73.2% | 67.3% | 52.4% | 74.3% | 1.7% |
| | 公務員 | 701 | 53.1% | 64.2% | 68.5% | 52.8% | 75.7% | 2.4% |
| | 自営業 | 613 | 52.7% | 76.2% | 60.0% | 52.0% | 61.2% | 4.2% |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | パート・アルバイト | 1,599 | 56.2% | 74.9% | 77.4% | 58.2% | 75.2% | 1.4% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 59.9% | 77.8% | 76.7% | 65.8% | 68.2% | 1.9% |
| | 学生 | 108 | 65.7% | 65.7% | 78.7% | 47.2% | 46.3% | 0.9% |
| | 無職 | 1,079 | 61.1% | 76.9% | 67.7% | 55.1% | 50.9% | 3.1% |
| | その他 | 393 | 57.0% | 74.3% | 65.9% | 46.1% | 59.8% | 3.6% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 55.8% | 74.9% | 69.0% | 54.9% | 69.0% | 2.2% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 54.3% | 70.7% | 72.5% | 57.1% | 68.9% | 2.2% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 54.5% | 73.2% | 68.4% | 57.6% | 73.6% | 1.7% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 52.2% | 73.8% | 69.8% | 53.3% | 71.3% | 1.7% |
| | その他 | 93 | 55.9% | 64.5% | 72.0% | 41.9% | 63.4% | 3.2% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 54.6% | 75.1% | 67.7% | 54.6% | 69.7% | 2.1% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 53.8% | 68.4% | 76.6% | 58.9% | 68.4% | 1.3% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 54.6% | 66.5% | 79.8% | 56.3% | 70.0% | 2.6% |
| | その他 | 289 | 56.7% | 74.4% | 81.0% | 51.9% | 64.7% | 0.7% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 54.4% | 76.1% | 64.0% | 54.1% | 68.5% | 2.2% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 53.7% | 70.5% | 76.1% | 56.2% | 71.7% | 2.2% |
| | バス | 857 | 55.0% | 71.2% | 83.4% | 58.7% | 70.6% | 1.4% |
| | ＪＲ | 426 | 57.7% | 68.8% | 84.7% | 50.5% | 72.8% | 0.9% |
| | 市電 | 82 | 54.9% | 65.9% | 73.2% | 50.0% | 68.3% | 4.9% |
| | 徒歩 | 901 | 56.3% | 71.7% | 74.3% | 55.6% | 70.4% | 1.9% |
| | 特になし | 11 | 54.5% | 81.8% | 54.5% | 54.5% | 45.5% | 0.0% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 55.4% | 71.4% | 65.9% | 52.6% | 69.4% | 2.3% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 54.9% | 74.3% | 69.2% | 56.2% | 70.2% | 2.3% |
| | バス | 2,028 | 58.8% | 75.1% | 76.4% | 54.3% | 68.4% | 1.8% |
| | ＪＲ | 841 | 54.8% | 75.5% | 76.9% | 54.7% | 71.0% | 1.3% |
| | 市電 | 181 | 52.5% | 72.9% | 71.8% | 54.7% | 68.5% | 1.7% |
| | 徒歩 | 1,627 | 52.1% | 74.6% | 69.3% | 58.1% | 70.2% | 2.2% |
| | 特になし | 430 | 47.4% | 71.4% | 52.6% | 48.4% | 68.4% | 1.6% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 53.6% | 73.4% | 69.3% | 53.9% | 70.5% | 2.1% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 57.2% | 76.3% | 72.5% | 55.0% | 69.1% | 1.6% |
| | バス | 1,484 | 55.7% | 75.4% | 74.2% | 58.7% | 70.2% | 1.8% |
| | ＪＲ | 784 | 59.1% | 74.9% | 76.7% | 60.6% | 72.2% | 1.7% |
| | 市電 | 135 | 55.6% | 74.1% | 68.9% | 56.3% | 72.6% | 2.2% |
| | 徒歩 | 2,299 | 55.0% | 73.7% | 70.6% | 54.4% | 68.7% | 2.3% |
| | 特になし | 1,346 | 50.3% | 70.9% | 61.0% | 50.8% | 69.2% | 2.7% |

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

(2-4)令和８年１月下旬の大雪を踏まえ、市が実施した「生活道路の緊急排雪」後の家の前の道路状況として、車両通行や歩行に支障はありましたか。




| | | | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 全く支障はなかった | 大きな支障はなかった | 少し支障があった | 大きな支障があった | その他 |
| 対象者全体 | | 9,778 | 11.0% | 27.9% | 29.8% | 26.5% | 4.8% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 16.1% | 30.6% | 35.5% | 14.5% | 3.2% |
| | １８～１９歳 | 18 | 27.8% | 27.8% | 33.3% | 11.1% | 0.0% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 7.2% | 26.6% | 31.9% | 31.9% | 2.3% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 11.2% | 21.8% | 28.4% | 33.3% | 5.2% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 11.1% | 26.0% | 29.2% | 29.1% | 4.6% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 11.1% | 27.0% | 29.2% | 27.6% | 5.1% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 9.1% | 30.1% | 31.6% | 24.7% | 4.5% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 14.4% | 35.3% | 30.1% | 14.4% | 5.9% |
| | ７５歳以上 | 395 | 15.4% | 41.5% | 28.1% | 12.2% | 2.8% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 13.4% | 28.0% | 31.4% | 22.6% | 4.6% |
| | 北区 | 1,585 | 11.6% | 29.3% | 26.8% | 28.6% | 3.6% |
| | 東区 | 1,332 | 8.6% | 24.5% | 29.9% | 31.5% | 5.5% |
| | 白石区 | 863 | 7.9% | 24.0% | 33.0% | 30.1% | 5.0% |
| | 厚別区 | 479 | 13.8% | 34.4% | 27.6% | 21.5% | 2.7% |
| | 豊平区 | 1,051 | 9.3% | 27.0% | 31.4% | 27.6% | 4.7% |
| | 清田区 | 567 | 8.6% | 33.2% | 33.2% | 19.9% | 5.1% |
| | 南区 | 661 | 16.0% | 34.3% | 27.7% | 16.8% | 5.1% |
| | 西区 | 1,206 | 11.1% | 27.7% | 30.0% | 26.5% | 4.7% |
| | 手稲区 | 782 | 11.3% | 24.0% | 27.2% | 31.2% | 6.3% |
| | 市外 | 34 | 14.7% | 20.6% | 35.3% | 23.5% | 5.9% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 10.4% | 24.1% | 29.4% | 31.3% | 4.7% |
| | 公務員 | 701 | 15.0% | 32.4% | 25.1% | 23.3% | 4.3% |
| | 自営業 | 613 | 11.7% | 24.1% | 28.9% | 28.4% | 6.9% |
| | パート・アルバイト | 1,599 | 8.8% | 29.8% | 31.2% | 25.7% | 4.5% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 9.7% | 29.7% | 33.3% | 23.7% | 3.6% |
| | 学生 | 108 | 16.7% | 29.6% | 35.2% | 13.9% | 4.6% |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 無職 | 1,079 | 14.9% | 37.4% | 29.3% | 14.4% | 4.0% |
| | その他 | 393 | 8.9% | 28.0% | 28.2% | 26.7% | 8.1% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 11.6% | 29.0% | 28.2% | 25.8% | 5.4% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 10.6% | 29.4% | 32.7% | 24.2% | 3.1% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 9.1% | 19.5% | 32.9% | 35.1% | 3.5% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 10.1% | 25.3% | 31.7% | 29.0% | 3.9% |
| | その他 | 93 | 10.8% | 29.0% | 23.7% | 23.7% | 12.9% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 10.5% | 27.3% | 29.4% | 28.0% | 4.8% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 17.7% | 25.9% | 38.0% | 16.5% | 1.9% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 13.8% | 33.1% | 31.4% | 18.4% | 3.3% |
| | その他 | 289 | 10.4% | 26.6% | 28.4% | 25.6% | 9.0% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 10.2% | 26.2% | 29.8% | 28.8% | 5.1% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 13.9% | 29.9% | 29.5% | 22.6% | 4.0% |
| | バス | 857 | 9.3% | 33.4% | 28.8% | 23.9% | 4.6% |
| | ＪＲ | 426 | 9.9% | 28.2% | 25.8% | 31.9% | 4.2% |
| | 市電 | 82 | 13.4% | 34.1% | 32.9% | 14.6% | 4.9% |
| | 徒歩 | 901 | 12.7% | 30.0% | 32.2% | 20.8% | 4.4% |
| | 特になし | 11 | 18.2% | 36.4% | 36.4% | 9.1% | 0.0% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 11.5% | 25.4% | 27.7% | 30.1% | 5.2% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 9.8% | 28.4% | 29.5% | 27.3% | 5.0% |
| | バス | 2,028 | 10.4% | 30.7% | 29.7% | 24.7% | 4.5% |
| | ＪＲ | 841 | 11.8% | 28.1% | 29.6% | 26.3% | 4.3% |
| | 市電 | 181 | 14.9% | 30.9% | 33.7% | 17.1% | 3.3% |
| | 徒歩 | 1,627 | 12.0% | 26.5% | 32.4% | 24.5% | 4.5% |
| | 特になし | 430 | 13.5% | 27.0% | 27.7% | 28.1% | 3.7% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 10.0% | 28.1% | 28.0% | 28.3% | 5.5% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 9.6% | 29.5% | 31.1% | 25.0% | 4.8% |
| | バス | 1,484 | 11.9% | 28.6% | 29.6% | 25.5% | 4.4% |
| | ＪＲ | 784 | 11.5% | 29.1% | 29.8% | 26.3% | 3.3% |
| | 市電 | 135 | 13.3% | 32.6% | 28.1% | 23.7% | 2.2% |
| | 徒歩 | 2,299 | 10.8% | 27.3% | 30.0% | 27.1% | 4.8% |
| | 特になし | 1,346 | 12.9% | 26.2% | 29.2% | 27.0% | 4.7% |

■ 対象者全体と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【その他意見について（469件）】

実施時期・対応の遅さに対する不満・・・「緊急排雪が遅かったため、急に気温が上がった際に何台もの車が埋まっておりました」「緊急排雪とのことだったが、結局排雪されたのは雪解け間近で全く意味がなかった」

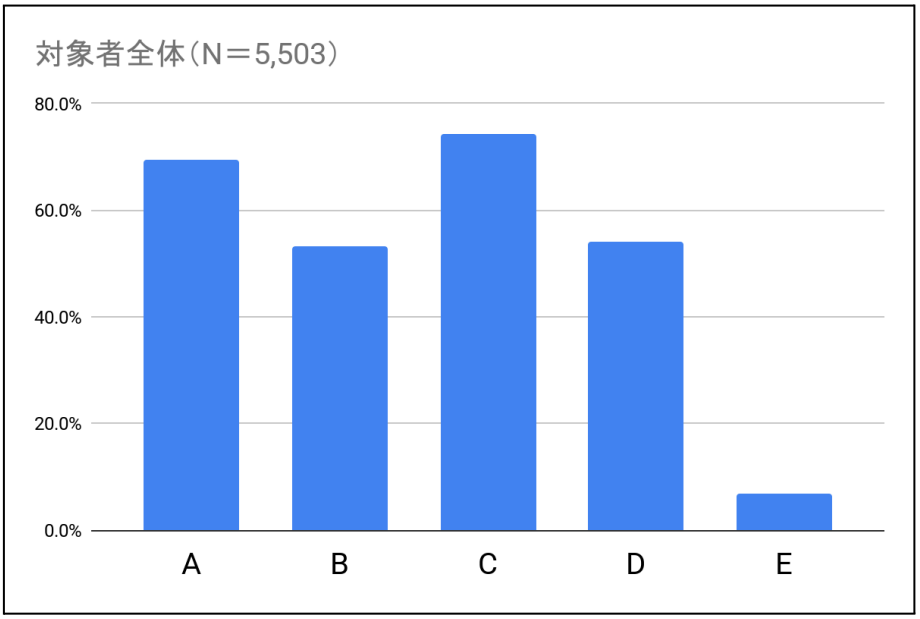
未実施・対象外・地域格差に関する意見・・・「そもそも自宅前の道路には緊急排雪が来ず、強い憤りを感じた」「幹線道路の排雪は進んでいたが、住宅街はいつまでも経っても改善されず非常に支障がでていた」

作業品質・雪の置き去りに対する不満・・・「個別に綺麗に除雪をした後に除雪車が車の出口に多量の雪を置いていくことがあり苦情連絡をしている」「道路はだいたい綺麗になりましたが、車の出入り口に大きな段差が出来てしまい車の前部が外れてしまった」

感謝・肯定的な意見・・・「緊急排雪のお陰で生活道路が通行できるようになってとても助かった」「すぐに対応して下さり、本当に有り難く思います」「本当に助かりました。家の前で何台も車が埋まり、コインパーキングに停めていたご近所さんもいた」

歩行者・通学路の安全に関する意見・・・「歩道の除雪が全くされておらず，大変だった」「通学路の排雪がされていないので、危険だった」「小学生の通学の歩道が排雪が不十分であると感じた」

（2-5）（2-4）で支障があったと回答した人のうち、どのような支障がありましたか。あてはまるものをいくつでも選択してください。




| | | | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 通行幅が狭く、安全に車両の通行ができなかった | 路面状況が悪く、車両が抜け出せなくなった | 車両の左右の雪山が高く、見通しが確保できなかった | 歩行に支障があった | その他 |
| 対象者全体 | | 5,503 | 69.3% | 53.1% | 74.3% | 54.0% | 6.7% |
| 年齢 | １８歳未満 | 31 | 51.6% | 32.3% | 61.3% | 58.1% | 6.5% |
| | １８～１９歳 | 8 | 37.5% | 37.5% | 75.0% | 75.0% | 0.0% |
| | ２０～２９歳 | 168 | 69.6% | 53.0% | 69.6% | 57.1% | 3.0% |
| | ３０～３９歳 | 715 | 69.9% | 56.4% | 74.5% | 54.4% | 6.9% |
| | ４０～４９歳 | 1,247 | 71.7% | 56.7% | 76.1% | 53.1% | 8.3% |
| | ５０～５９歳 | 1,702 | 69.8% | 52.9% | 74.3% | 52.1% | 6.7% |
| | ６０～６９歳 | 1,216 | 68.6% | 50.5% | 76.1% | 56.0% | 6.0% |
| | ７０～７４歳 | 257 | 67.3% | 49.8% | 65.8% | 51.8% | 5.4% |
| | ７５歳以上 | 159 | 56.0% | 43.4% | 67.3% | 63.5% | 5.7% |
| 住まい（区） | 中央区 | 657 | 63.3% | 44.4% | 73.8% | 59.7% | 7.0% |
| | 北区 | 878 | 68.7% | 59.6% | 73.9% | 53.0% | 8.7% |
| | 東区 | 818 | 71.8% | 54.8% | 78.9% | 56.1% | 6.6% |
| | 白石区 | 545 | 70.5% | 58.7% | 71.0% | 54.1% | 5.9% |
| | 厚別区 | 235 | 64.7% | 47.2% | 66.4% | 49.8% | 6.8% |
| | 豊平区 | 620 | 70.2% | 51.1% | 75.2% | 57.3% | 6.8% |
| | 清田区 | 301 | 70.4% | 52.5% | 74.1% | 45.8% | 6.0% |
| | 南区 | 293 | 70.0% | 44.0% | 74.1% | 44.7% | 3.1% |
| | 西区 | 681 | 70.6% | 52.0% | 73.7% | 55.5% | 6.9% |
| | 手稲区 | 455 | 72.1% | 58.2% | 75.8% | 50.5% | 6.6% |
| | 市外 | 20 | 55.0% | 35.0% | 75.0% | 65.0% | 0.0% |
| 職業 | 会社員 | 2,563 | 70.9% | 56.1% | 74.1% | 52.0% | 6.9% |
| | 公務員 | 339 | 69.9% | 55.2% | 73.2% | 46.6% | 6.2% |
| | 自営業 | 350 | 72.3% | 54.6% | 81.4% | 53.4% | 8.0% |
| | パート・アルバイト | 909 | 69.1% | 50.9% | 75.4% | 57.2% | 5.8% |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 主婦・主夫 | 602 | 70.3% | 49.7% | 77.1% | 56.1% | 7.8% |
| | 学生 | 53 | 50.9% | 37.7% | 66.0% | 64.2% | 1.9% |
| | 無職 | 471 | 60.5% | 45.2% | 68.8% | 58.8% | 4.5% |
| | その他 | 216 | 66.2% | 52.3% | 69.9% | 57.9% | 10.6% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 3,017 | 71.4% | 56.5% | 74.4% | 49.5% | 7.2% |
| | 持ち家（マンション） | 823 | 68.5% | 44.2% | 75.7% | 58.6% | 5.7% |
| | 賃貸（一戸建て） | 157 | 71.3% | 52.2% | 77.1% | 54.1% | 10.2% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 1,462 | 65.3% | 51.4% | 73.2% | 60.5% | 5.7% |
| | その他 | 44 | 68.2% | 52.3% | 70.5% | 65.9% | 11.4% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 4,655 | 73.6% | 57.1% | 76.9% | 49.7% | 6.5% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 86 | 50.0% | 39.5% | 62.8% | 68.6% | 4.7% |
| | 利用する機会はほとんどない | 606 | 42.1% | 27.7% | 58.6% | 79.0% | 7.4% |
| | その他 | 156 | 56.4% | 41.0% | 64.7% | 77.6% | 12.2% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 3,400 | 75.6% | 58.2% | 77.6% | 45.6% | 6.8% |
| | 地下鉄 | 887 | 60.7% | 44.0% | 68.4% | 68.0% | 6.0% |
| | バス | 451 | 58.8% | 45.2% | 71.0% | 63.6% | 10.2% |
| | ＪＲ | 244 | 64.8% | 57.0% | 75.0% | 66.4% | 5.3% |
| | 市電 | 39 | 59.0% | 35.9% | 64.1% | 71.8% | 5.1% |
| | 徒歩 | 477 | 53.9% | 41.3% | 66.2% | 71.5% | 4.8% |
| | 特になし | 5 | 40.0% | 20.0% | 40.0% | 40.0% | 20.0% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 908 | 72.9% | 59.7% | 75.7% | 53.4% | 6.4% |
| | 地下鉄 | 1,576 | 68.5% | 52.3% | 76.0% | 56.1% | 7.3% |
| | バス | 1,103 | 66.7% | 51.4% | 73.4% | 53.8% | 6.1% |
| | ＪＲ | 470 | 71.7% | 54.9% | 70.2% | 48.7% | 8.3% |
| | 市電 | 92 | 64.1% | 52.2% | 75.0% | 54.3% | 6.5% |
| | 徒歩 | 926 | 67.3% | 49.1% | 73.8% | 62.5% | 5.7% |
| | 特になし | 239 | 74.5% | 54.4% | 74.5% | 36.4% | 8.8% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 713 | 70.0% | 56.7% | 76.4% | 56.0% | 6.9% |
| | 地下鉄 | 1,021 | 70.3% | 54.0% | 74.1% | 52.8% | 7.0% |
| | バス | 817 | 69.3% | 51.3% | 74.3% | 54.1% | 7.0% |
| | ＪＲ | 440 | 67.0% | 52.3% | 74.1% | 60.0% | 7.0% |
| | 市電 | 69 | 59.4% | 56.5% | 71.0% | 59.4% | 4.3% |
| | 徒歩 | 1,311 | 67.4% | 52.8% | 74.8% | 58.2% | 6.7% |
| | 特になし | 755 | 71.8% | 51.3% | 73.2% | 47.3% | 6.4% |

■ 対象者全体と比較し10ポイント以上高い
■ 対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【その他意見について（370件）】（※緊急排雪の状況に関する意見について抜粋）

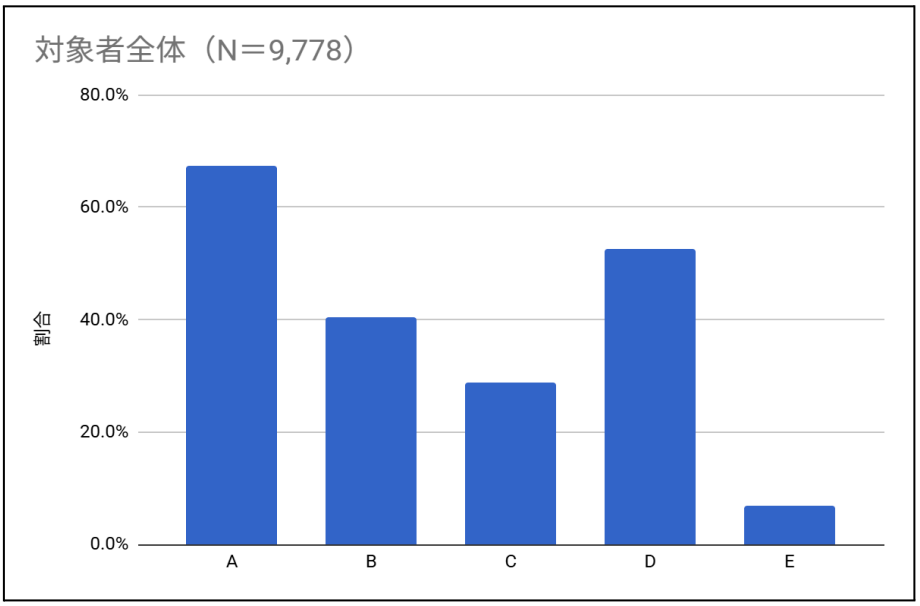
排雪作業のタイミングに関する意見・・・「融雪が進んだタイミングでの排雪となったり残念だった」「パートナーシップ排雪の予定日間近で緊急排雪が知らされ、排雪のタイミングが遅れた」

作業情報の不足に関する意見・・・「排雪日の予定が不明な上になかなか入らず、路駐が増えた」

排雪作業に関する意見・・・「排雪後も大雪が有り何台も車両が抜け出せず道を塞いだ」「残された雪がとても多く苦労した」

## 【３．生活道路除排雪の考え】

(3-1)生活道路除排雪の検討にあたって重要と考えるものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。




| | | | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 対象者数 | 排雪作業の公平性の確保（公共排雪への移行） | 従来制度のような地域の自主性の確保（パートナーシップ排雪などの制度継続） | 地域の費用負担の改善 | 作業後の車両や歩行者の通行環境 | その他 |
| 対象者全体 | | 9,778 | 67.4% | 40.5% | 28.7% | 52.5% | 6.9% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 58.1% | 51.6% | 37.1% | 53.2% | 8.1% |
| | １８～１９歳 | 18 | 55.6% | 44.4% | 33.3% | 55.6% | 0.0% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 55.9% | 32.3% | 27.0% | 59.7% | 4.6% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 65.5% | 39.8% | 29.8% | 56.4% | 6.7% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 66.0% | 40.6% | 31.0% | 55.6% | 9.2% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 67.8% | 41.1% | 27.2% | 51.4% | 7.1% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 69.4% | 40.6% | 27.5% | 52.1% | 5.3% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 71.1% | 41.0% | 27.9% | 43.4% | 4.5% |
| | ７５歳以上 | 395 | 71.9% | 40.3% | 31.6% | 43.5% | 5.8% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 63.5% | 39.1% | 27.3% | 54.7% | 6.9% |
| | 北区 | 1,585 | 65.6% | 44.6% | 29.5% | 50.0% | 6.1% |
| | 東区 | 1,332 | 69.2% | 43.1% | 29.4% | 54.1% | 8.4% |
| | 白石区 | 863 | 68.5% | 38.9% | 32.0% | 54.7% | 6.5% |
| | 厚別区 | 479 | 71.2% | 32.6% | 28.4% | 53.4% | 3.8% |
| | 豊平区 | 1,051 | 67.6% | 38.5% | 28.2% | 54.4% | 6.8% |
| | 清田区 | 567 | 72.1% | 36.5% | 27.0% | 50.1% | 6.3% |
| | 南区 | 661 | 69.4% | 35.6% | 25.4% | 50.2% | 7.6% |
| | 西区 | 1,206 | 65.0% | 43.8% | 29.3% | 51.5% | 7.5% |
| | 手稲区 | 782 | 69.8% | 41.6% | 29.4% | 51.8% | 6.9% |
| | 市外 | 34 | 52.9% | 38.2% | 14.7% | 41.2% | 5.9% |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 66.4% | 41.6% | 28.4% | 53.4% | 7.4% |
| | 公務員 | 701 | 64.9% | 29.4% | 24.1% | 48.2% | 8.0% |
| | 自営業 | 613 | 63.3% | 44.5% | 31.0% | 53.0% | 9.3% |
| | パート・アルバイト | 1,599 | 68.4% | 40.7% | 30.1% | 55.1% | 5.8% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 70.6% | 44.8% | 29.7% | 52.5% | 4.2% |
| | 学生 | 108 | 59.3% | 42.6% | 39.8% | 58.3% | 5.6% |
| | 無職 | 1,079 | 72.4% | 38.6% | 28.0% | 46.4% | 5.8% |
| | その他 | 393 | 65.9% | 35.4% | 27.5% | 54.5% | 9.9% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 68.6% | 41.0% | 28.3% | 49.4% | 7.8% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 66.2% | 40.3% | 26.7% | 53.2% | 4.6% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 63.2% | 43.3% | 29.0% | 58.4% | 8.2% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 66.0% | 39.6% | 30.8% | 58.9% | 5.7% |
| | その他 | 93 | 61.3% | 34.4% | 31.2% | 49.5% | 9.7% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 68.0% | 41.3% | 28.3% | 51.6% | 7.1% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 53.2% | 41.1% | 30.4% | 59.5% | 6.3% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 65.6% | 36.3% | 30.2% | 56.5% | 4.8% |
| | その他 | 289 | 67.8% | 37.0% | 32.9% | 57.8% | 9.0% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 68.0% | 42.3% | 28.8% | 51.9% | 7.3% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 65.7% | 39.3% | 27.7% | 54.2% | 6.5% |
| | バス | 857 | 67.4% | 37.7% | 29.1% | 52.4% | 6.9% |
| | ＪＲ | 426 | 70.7% | 35.9% | 28.4% | 50.2% | 6.1% |
| | 市電 | 82 | 68.3% | 32.9% | 30.5% | 50.0% | 2.4% |
| | 徒歩 | 901 | 65.6% | 36.8% | 29.7% | 55.4% | 5.3% |
| | 特になし | 11 | 45.5% | 36.4% | 18.2% | 27.3% | 9.1% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 68.2% | 41.6% | 28.7% | 53.7% | 6.5% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 67.0% | 40.4% | 28.9% | 51.7% | 7.1% |
| | バス | 2,028 | 69.5% | 42.1% | 29.9% | 52.7% | 7.3% |
| | ＪＲ | 841 | 66.1% | 39.8% | 29.4% | 51.4% | 6.2% |
| | 市電 | 181 | 65.7% | 37.0% | 24.9% | 57.5% | 4.4% |
| | 徒歩 | 1,627 | 66.3% | 38.7% | 28.5% | 55.4% | 6.5% |
| | 特になし | 430 | 63.3% | 41.9% | 27.9% | 46.3% | 6.5% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 66.7% | 41.2% | 29.0% | 51.9% | 7.2% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 69.1% | 40.9% | 28.7% | 53.1% | 7.4% |
| | バス | 1,484 | 66.8% | 39.8% | 31.1% | 53.8% | 6.5% |
| | ＪＲ | 784 | 67.7% | 41.2% | 31.8% | 54.0% | 5.6% |
| | 市電 | 135 | 68.1% | 34.1% | 28.1% | 59.3% | 8.1% |
| | 徒歩 | 2,299 | 67.9% | 40.5% | 27.8% | 53.8% | 6.9% |
| | 特になし | 1,346 | 64.7% | 41.0% | 28.3% | 49.7% | 6.4% |

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【その他意見について（670件）】

排雪の迅速性・頻度・タイミングに関する意見・・・「とにかく素早く排雪、除雪を行えるようにしてほしい」「こまめな排雪で大雪の時の堆雪スペースを確保しておく」

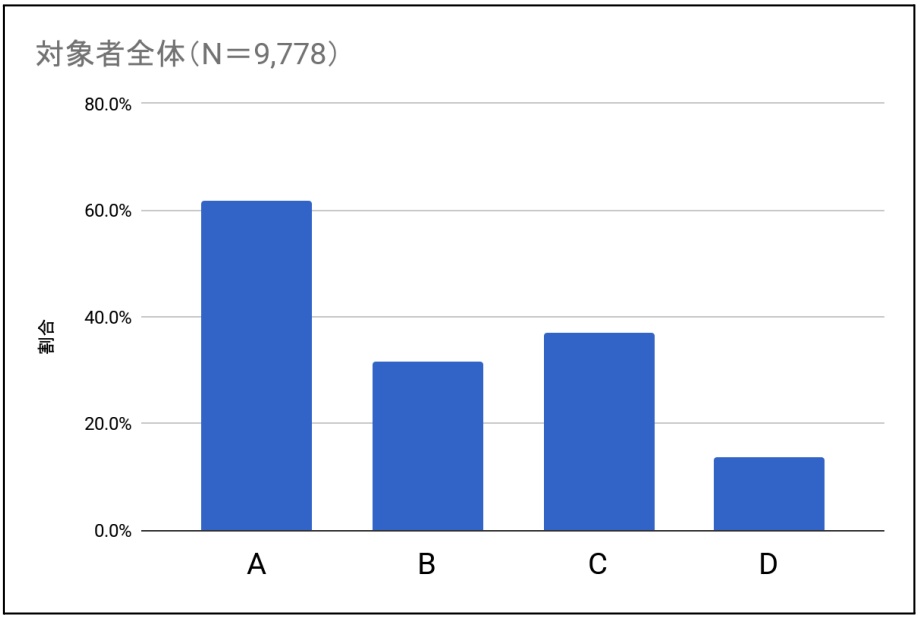
公平性・不公平感の是正に関する意見・・・「する場所、しない場所の不公平を改善しないと意味がない。するなら全部排雪するべき」「町内会でパートナーシップ排雪をすると町内会費用を払っていない地域への不公平が強くなる。金銭負担を平等にしてほしい」

融雪インフラ・雪捨て場の確保に関する意見・・・「各家庭、地域等の排雪場所の確保。融雪槽等の積極的導入」「排雪した雪を一時的にでも貯めておける場所の確保が住宅街にも必要」

情報公開・スケジュール共有に関する意見・・・「いつ除雪が入るのかを住民が知る仕組み」「作業情報・予定をリアルタイムに公開てほしい。車両にGPSをつけるなどこういうのに予算を使う」

費用負担・補助金・税金に関する意見・・・「市民全員から少しずつ除雪費を負担させてどの道路もちゃんと除雪する方が良い」「生活道路の除排雪について、地域で幅を広げるための除雪機の購入補助や排雪費用の補助などを拡充出来ないかと考える」

(3-2)作業可能な全ての生活道路の排雪を行う場合には、市の財政負担の増加が見込まれます。その対応としてあなたが重要と考えるものは何ですか。あてはまるものをいくつでも選択してください。




| | | 対象者数 | A 財政負担の増加を抑制する、効率的な作業方法の検討 | B 財政負担の増加を抑制する、除排雪水準の設定 | C 財政負担の増加に応じて、市民負担を求める仕組みづくり | D その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象者全体 | | 9,778 | 61.8% | 31.7% | 37.0% | 13.7% |
| 年齢 | １８歳未満 | 62 | 67.7% | 32.3% | 29.0% | 6.5% |
| | １８～１９歳 | 18 | 83.3% | 50.0% | 27.8% | 11.1% |
| | ２０～２９歳 | 263 | 69.6% | 34.2% | 25.1% | 8.0% |
| | ３０～３９歳 | 1,158 | 63.3% | 31.0% | 37.2% | 16.8% |
| | ４０～４９歳 | 2,142 | 61.7% | 33.1% | 38.7% | 16.1% |
| | ５０～５９歳 | 2,998 | 59.3% | 28.9% | 37.1% | 14.3% |
| | ６０～６９歳 | 2,164 | 62.0% | 31.2% | 36.7% | 12.3% |
| | ７０～７４歳 | 578 | 63.1% | 36.9% | 37.5% | 8.3% |
| | ７５歳以上 | 395 | 66.1% | 39.5% | 36.7% | 7.1% |
| 住まい（区） | 中央区 | 1,218 | 60.8% | 33.7% | 36.3% | 15.7% |
| | 北区 | 1,585 | 60.4% | 30.3% | 38.1% | 13.4% |
| | 東区 | 1,332 | 62.1% | 30.3% | 38.6% | 13.8% |
| | 白石区 | 863 | 61.8% | 33.6% | 34.1% | 15.3% |
| | 厚別区 | 479 | 68.1% | 33.2% | 36.7% | 9.4% |
| | 豊平区 | 1,051 | 63.9% | 32.7% | 36.8% | 12.4% |
| | 清田区 | 567 | 65.6% | 31.0% | 34.7% | 11.5% |
| | 南区 | 661 | 58.7% | 30.3% | 36.9% | 14.1% |
| | 西区 | 1,206 | 61.9% | 31.8% | 37.8% | 13.9% |
| | 手稲区 | 782 | 58.2% | 30.4% | 37.3% | 14.2% |
| | 市外 | 34 | 70.6% | 38.2% | 35.3% | 14.7% |
| 職業 | 会社員 | 4,228 | 59.7% | 31.8% | 38.2% | 15.7% |
| | 公務員 | 701 | 60.6% | 31.4% | 50.8% | 10.4% |
| | 自営業 | 613 | 57.4% | 27.6% | 38.8% | 18.6% |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | パート・アルバイト | 1,599 | 66.5% | 31.5% | 32.6% | 10.7% |
| | 主婦・主夫 | 1,057 | 65.2% | 30.8% | 31.8% | 10.4% |
| | 学生 | 108 | 73.1% | 39.8% | 29.6% | 3.7% |
| | 無職 | 1,079 | 63.1% | 34.6% | 36.4% | 10.7% |
| | その他 | 393 | 57.8% | 30.8% | 31.8% | 22.4% |
| 居住形態 | 持ち家（一戸建て） | 5,598 | 60.5% | 29.3% | 39.4% | 14.1% |
| | 持ち家（マンション） | 1,446 | 63.8% | 35.5% | 35.3% | 11.8% |
| | 賃貸（一戸建て） | 231 | 59.7% | 35.1% | 37.2% | 12.6% |
| | 賃貸（マンション・アパート） | 2,410 | 63.8% | 34.6% | 32.9% | 13.7% |
| | その他 | 93 | 59.1% | 28.0% | 25.8% | 22.6% |
| 車の利用 | 主に自家用車を利用している | 8,115 | 60.8% | 30.7% | 38.5% | 14.0% |
| | 主にレンタカー等を利用している | 158 | 63.3% | 43.0% | 32.9% | 9.5% |
| | 利用する機会はほとんどない | 1,216 | 67.5% | 37.7% | 30.3% | 10.5% |
| | その他 | 289 | 64.4% | 28.0% | 26.0% | 20.4% |
| 冬の主な交通手段について【１つ目】 | 車 | 5,801 | 59.5% | 30.1% | 38.6% | 14.3% |
| | 地下鉄 | 1,700 | 66.6% | 34.6% | 33.6% | 12.5% |
| | バス | 857 | 63.5% | 35.1% | 36.6% | 12.3% |
| | ＪＲ | 426 | 62.9% | 26.3% | 39.0% | 16.4% |
| | 市電 | 82 | 54.9% | 40.2% | 37.8% | 15.9% |
| | 徒歩 | 901 | 65.8% | 34.9% | 32.1% | 11.5% |
| | 特になし | 11 | 45.5% | 18.2% | 36.4% | 9.1% |
| 冬の主な交通手段について【２つ目】 | 車 | 1,576 | 62.5% | 31.5% | 36.4% | 13.7% |
| | 地下鉄 | 2,772 | 62.3% | 31.0% | 38.0% | 13.9% |
| | バス | 2,028 | 61.8% | 31.5% | 36.7% | 14.4% |
| | ＪＲ | 841 | 59.9% | 35.0% | 38.8% | 13.0% |
| | 市電 | 181 | 64.1% | 32.6% | 38.1% | 13.8% |
| | 徒歩 | 1,627 | 62.7% | 32.8% | 34.7% | 12.7% |
| | 特になし | 430 | 58.1% | 29.3% | 37.0% | 14.4% |
| 冬の主な交通手段について【３つ目】 | 車 | 1,266 | 60.7% | 31.5% | 35.7% | 13.7% |
| | 地下鉄 | 1,821 | 61.1% | 31.3% | 39.2% | 14.4% |
| | バス | 1,484 | 63.3% | 34.2% | 36.7% | 12.5% |
| | ＪＲ | 784 | 63.8% | 31.4% | 40.7% | 12.5% |
| | 市電 | 135 | 58.5% | 37.8% | 44.4% | 11.9% |
| | 徒歩 | 2,299 | 62.8% | 31.6% | 35.0% | 14.5% |
| | 特になし | 1,346 | 60.3% | 31.3% | 36.1% | 13.4% |

対象者全体と比較し10ポイント以上高い
対象者全体と比較し10ポイント以上低い

【その他意見について（1,339件）】

無駄な支出・他予算の削減に関する意見・・・「不必要な公共工事や無駄な箱もの建設を改める」「オリンピック、札幌ドーム等の無駄な予算を無くす」

新たな財源確保・国からの支援に関する意見・・・「国からの除雪補助金の確保が必須」「ふるさと納税など魅力的な返礼品をして税収アップをはかるべき！」「インバウンドなどの観光客から税金を徴収する」

融雪インフラ・新技術の導入に関する意見・・・「目先の雪対策ではなく、トラックが使用できる大規模な融雪溝などの設置を進めてほしい」「AIで効率よく除排雪を行えるメカニズムを構築」

費用負担の公平性・制度見直しに関する意見・・・「町内会で徴収している除雪費を市税として徴収する事によって、不公平がなくなり、従来の除雪作業を維持することができる」「札幌所在企業への規模に応じた負担協力、除雪税」

市長・議員・職員の給与削減に関する意見・・・「市長、副市長、役所の職員の給料、賞与、役職手当などの大幅な減額」「市役所職員の給与、経費等、民間並みにして、経費削減を図るべき」